

# 地方史情報 144

2020年7月

## 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	富山県	74	和歌山県	130
青森県	8	石川県	76	鳥取県	133
宮城県	8	福井県	76	島根県	133
秋田県	10	山梨県	77	岡山県	135
山形県	11	長野県	77	広島県	140
福島県	12	岐阜県	88	徳島県	145
茨城県	14	静岡県	89	愛媛県	146
栃木県	16	愛知県	93	福岡県	149
群馬県	19	三重県	100	佐賀県	152
埼玉県	23	滋賀県	102	長崎県	153
千葉県	25	京都府	104	宮崎県	154
東京都	29	大阪府	110	鹿児島県	155
神奈川県	54	兵庫県	121	沖縄県	156
新潟県	66	奈良県	129	寄贈図書	158

### 北海道

#### ◆アイヌ語地名研究

アイヌ語地名研究会(発売:北海道出版企画センター)

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 TEL011-299-6834

年5000円 1998年創刊

◇22 2019.12 B5 145p 2000円

地名「さつほろ」採録から350年—札幌の語源を考える

『売買川』と『売買村』

「kamuy」はなぜ神であり魔であるのか

アイヌ語地名への漢字の適用について

中野 克良

早田 国光

中野 良宣

木村 博海

地形の特徴から推測されたアイヌ語地名の意味	小林 耕一
地名解試行錯誤(4) アイヌ語地名の中の日本語	伊藤せいち
談話室 なんとく はんどく	伊藤せいち
資料紹介	
アイヌ語地名研究会の行事と活動	
アイヌ語勉強会 毎週木曜日	高橋 和男
アイヌ文化を読む会 毎月第一火曜日	佐賀 彩美
札幌近郊の地名を調べる部会 毎月第三火曜日	土井 勝典
古文書部会 毎月第四火曜日	上野 繁
アイヌ語地名サロンー身近なアイヌ語地名を語り合う会	三好勲/佐藤良子
アイヌ語地名探訪	
沙流川流域のアイヌ語地名にふれる～コタン・チャシ、タブコブ、	
そしてイウォロ～バスツアーの報告	高橋 慎
旭川カムイコタン	梶本 隆
アイヌ語地名DBの整備	打田 元輝
アイヌの拝札について	葛野 大喜
類似のアイヌ語地名(3)	熊谷カネ/藤村久和
松浦武四郎の十勝越え一踏査経路は解明済みだったのか	山谷 圭司

#### ◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 TEL011-299-6834  
年5000円

#### ◇76 2020.1 B5 8p

アイヌの人たちは蝦夷(えびす)	山下 栄光
「アイヌの美しい手仕事 柳宗悦と芹沢銈介のコレクションから」展	
を観て	戸部 千春
旭川カムイコタンと川村カ子トアイヌ記念館を巡る旅	梶本 孝
断章 旭川のアイヌ語地名研究(143) 今年のアイヌ地名探訪	高橋 基
書評 『山の履歴書(第3巻) 山と人との関わり』 渡辺隆・編著	新妻 徹

#### ◇77 2020.2 B5 6p

タブコブ地名に関する議論を深めるために	中野 良宣
新刊紹介	

『赤伏目「富士」はアイヌ語“火の神”だった!』黒川久弘著

#### ◇78 2020.5 B5 8p

第24回アイヌ語地名研究大会・定期総会の予定 発表1「“地名さつほろ”再録350年、札幌の語源を探る」中野克良、発表2「岩見沢

のアイヌ語地名」山下栄光、発表3「“狄言葉”成立の研究」葛野大喜、講義「アイヌ語地名にみられる存在を表す他動詞」切替英雄、発表4「様似町のアイヌ語地名—その4」熊谷カネ・藤村久和  
 「同義語の重層」から読み解く地名の歴史 中野 良宣  
 図書紹介  
 『南極に立った樺太アイヌ・白瀬南極探検隊秘話』 佐藤忠悦著 渡辺 隆  
 『大地よ！』 宇梶静江著 評・谷村志穂(北海道新聞 2020.4.25)

#### ◆浦幌町立博物館紀要

〒089-5614十勝郡浦幌町桜町16-1 TEL015-576-2009 2001年創刊  
[https://www.urahoro.jp/chosya\\_shisetsu/kokyoriyu/museum/](https://www.urahoro.jp/chosya_shisetsu/kokyoriyu/museum/)  
 ◇20 2020.3 A4 46p  
 活平神社に関する一考察 持田 誠  
 活平神社に残る丸岡キサノ奉納の絵馬 持田 誠  
 資料紹介 大正十五年・昭和元年 教育雑件 浦幌村役場(5)  
 三浦直春・大和田努 解説

#### ◆浦幌町立博物館だより

〒089-5614十勝郡浦幌町桜町16-1 TEL015-576-2009 2000年創刊  
[https://www.urahoro.jp/chosya\\_shisetsu/kokyoriyu/museum/](https://www.urahoro.jp/chosya_shisetsu/kokyoriyu/museum/)  
 ◇1月号 2020.1 A4 2p  
 思い出を語り合う場の必要性 「クリスマス讃美歌コンサート」を通じて感じた「歓談」の場での記録性と重要性 持田 誠  
 ◇2月号 2020.2 A4 2p  
 稲穂地区からやってきた「唐箕(とうみ)」博物館はなぜ同じ資料を複数所有するのか? 持田 誠  
 ◇3・4月号 2020.4 A4 2p  
 「木材のまち浦幌」を伝える鉛筆工場の写真 (写真寄贈者の榎雀造氏からの聞き取り) 持田 誠  
 おうちミュージアム とくべつにオープン!

#### ◆標茶町博物館紀要

〒088-2261川上郡標茶町字塘路原野北8線58-9 TEL015-487-2332 2020年創刊  
 ◇1 (通30) 2020.3 A4 31p  
 北海道東部における後期旧石器文化からアイヌ文化の各文化における生業：狩猟・漁労、採集、農耕とそれがもたらした自然環境の生態学的変化 小荷田行男

## ◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11 TEL011-676-6145

年3000円 1985年創刊 <https://tonden.org/>

◇67 2020.5 B5 80p 1000円

表紙絵図 黒田清隆とケプロンの至急伝聞（明治10年、北大図書館北方資料室所蔵）

巻頭言 過去との対話を未来へ

梶田 博昭

子思孫尊 令和の再興、開拓の歴史後世に 剣淵屯田倶楽部が発足 編集部

美唄屯田騎兵 志賀峰吉の奉天余話

志賀 通清

屯田ルーツ情報 新史料 騒乱未遂「西郷書簡」に関連か／消息情報

下野付牛・南部庄太郎氏（明治31年6月、福井県出身）／輪西屯田兵  
家族・田中太三郎氏

歴史探訪 野幌兵村よほろ村の今昔一時空を超えて Day Dream

由利香松樹

屯田兵のデザイン考

無双連子窓（剣淵屯田兵屋） 雪深く格子の向こうに何想う

古地図の散歩道 剣淵用水線之図

明治36（1903）年頃作成・縦39cm横54cm（剣淵資料館所蔵）

兵村の存亡を賭けた水路開鑿

宮内 隆一

表紙から 古文書録 国際至急電報 明治10年・北大図書館所蔵

発信・黒田清隆 受信・ケプロン

編集部

寄稿 北海道における紋羽（下）

一屯田兵作業衣にも使われた幻の木綿織物

北岡 真幸

一節抜粋

山本悠三著『札幌農学校という理念と人脈』

山下幸太郎

望月武司著『敗軍の将 輝く』

(K)

えぞ地開拓の草分け 高畑利宜（上）

北国 諒星

パンデミックは怨霊の仕業？

(K)

## ◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階

TEL011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇377 2020.1 A4 10p

4月オープン 国立アイヌ民族博物館

永野 正宏

第55回 北海道文化財保護功労賞 受賞契機に飛躍を期待

歴史の大切さを学ぶ	尾崎 和男	
次世代へつなぐ	特定非営利活動法人さっぽろ時計台の会会長 谷 征輝	
受賞を励みに	十勝の自然史研究会会長 藤山広武	
これからも後世に伝える	阿寒アイヌ民族文化保存会会長 松田健治	
次の百年に向けて	白糠駒踊り保存会会長 芳澤改治	
偶然の発見から50年	忠類ナウマン象化石発見50周年	鎌田 浩
北海道水稲品種のみなもと「赤毛」の米を食べる	舟山 廣治	
シリーズ・伝える 「下の句歌留多」 子ども歌留多で地域活性化	新田 浩司	
オホヨウ魚のことはじめ 網走のアイヌ人サラビヤと岩田宗晴	山田 雅也	
「近代建築史の縮図」を見るまち・小樽の未来	駒木 定正	
博物館ひろば 化石の発掘から復元・展示まで		
足寄動物化石博物館の挑戦	澤村 寛	
文化庁選定「歴史の道百選」 様似山道・猿留山道が追加選定		

◇378 2020.4 A4 8p

新築移転した北海道立文書館 4月18日閲覧再開	山田 正
令和2年度協会事業 多彩に保護・啓発	
北海道・北東北の縄文遺跡群 世界文化遺産の推薦	

北海道環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室  
 第54回全道高等学校郷土研究発表大会が札幌で開催 郷土研究部門  
 最優秀賞 北広島高等学校郷土研究部『北広島団地から紐解く北広島  
 島の発展』、優秀賞 枝幸高等学校総合文化研究部『枝幸の方言に  
 ついて一方言アンケート調査の報告』・旭川龍谷高等学校郷土部『上  
 川アイヌの研究その54ーアイヌの生活と占い』／郷土芸能部門 最  
 優秀賞 釧路江南高等学校蝦夷太鼓部『道～Ru～』、優秀賞 札幌  
 創成高等学校太鼓部『春告げる銀鱗の浪』、優良賞 札幌大通高等



学校和太鼓・伝承芸能部『北の大地』・中標津農業高等学校農高太鼓局『ナカシベの玉響』、奨励賞 石狩翔陽高等学校石狩太鼓局『浜風』・岩内高等学校太鼓局『虎擲龍掣』・旭川実業高等学校太鼓部『大雪の鼓舞』 本間 愛之  
農業史資料

「北海道廳稲作試験地生産米 貴族院議員への配布」について 舟山 廣治  
「ユウフツ越え 美々舟着場跡」説明板除幕式 山本 融定  
北方四島の歴史・文化を探る 右代 啓視  
博物館ひろば 博物館活動から地域づくりへ

中川町エコミュージアムセンター 疋田 吉識  
\*1985年に赤レンガ庁舎として親しまれている札幌市の北海道庁旧本庁舎内に設置された北海道立文書館が、江別市の道立図書館敷地内に新築、移転し、同図書館北方資料室との複合施設として再スタートを切った。これほどの規模での複合化は例がないのではなかろうか。文書館主任文書専門員の山田正氏は、「archives(アーカイブス)という文書館には、親機関の文書を評価・選別し移管を受けて将来に残す機能があります。当館にとっても、親機関である道の文書の評価・選別は重要な業務です。」と述べている。両者は、北海道関係資料の収集、保存、利用機関として双壁であり、機能面の統合も含め今後の活動に大いに期待したい。

天塩川沿いの山間に位置する人口1500人の小さな町に2002年に設置された「中川町エコミュージアムセンター」の紹介記事も興味深い。センター長の疋田吉識氏は、町全体を博物館とみなし、「地域アイデンティティの集積の場」と位置付けるミュージアムを中枢施設として、55名が宿泊できる施設を活用した中川町恐竜発見調査などの普及事業や展示会を行うことで、地域づくりに寄与したいと記している。素晴らしいことである。

#### ◆北海道立北方民族博物館研究紀要

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1992年創刊

<http://hoppohm.org>

◇29 2020.3 B5

日本人によるアリュート民族の研究(2) :

春日部薫著『アリュート語一斑』(1942年)と注釈 大島稔/野口泰弥  
資料紹介

宮城県丸森町宗眸院所蔵高野雅楽編「仙台藩士クナシリ和歌覚」に  
ついて 宮本 花恵  
北海道湧別町川西オホーツク遺跡の未報告資料について 種石 悠  
資料 のりすと2018—北方研究データベース 笹倉いる美

◆北海道の文化 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階 TEL011-271-4220

1961年創刊 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇92 2020.3 A5 97p

巻頭言 令和元年からの文化財

田山 修三

近代北海道地図の原点—開拓使三角測量鶴川基点を求めて

むかわ町教育委員会 三角測量鶴川基点記念事業等実行委員会

1969年奇跡の夏 忠類ナウマンゾウからマンモスゾウへ

木村 方一

松浦武一郎は、北海道とアイヌを見捨てたのか

富永 勝也

コタンを訪ねて(12)—日本海とオホーツク沿岸に生きた人びと

山本 融定

奥尻島のオットセイとアシカ

西脇対名夫

歴史家奥山亮の草創期—徳富蘇峰への書簡を中心に

鈴木 仁

時代に見るご当地歌謡

山田 雅也

資料紹介 舟山廣治文庫アイヌ絵関連資料

舟山廣治文庫研究会

◆北方民族博物館だより 北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1991年創刊

<http://hoppohm.org>

◇115 2019.12 A4 8p

第34回北方民族文化シンポジウム網走「環北太平洋地域の伝統と文化

4 アラスカ・ユーコン地域」

中田 篤

講座 サミと言語文化復興への取組み 講師：田辺陽子氏

笹倉いる美

講演会 サミの文化と工芸

講師：エリカ・ノルドヴァル＝ファルク氏

笹倉いる美

ロビー展 南隆雄 コレクション・サーベイ—北海道立北方民族博物

館

中田 篤

解説会 アーティスト・トーク 講師：南隆雄氏

笹倉いる美

◇116 2020.3 A4 8p

企画展 北のファーストネーションズ～北米北西海岸の人びと

野口 泰弥

ロビー展 写真展 モンゴルの風景：遊牧世界の子どもたち

種石 悠

解説会 遊牧世界の子どもたち 講師：西村幹也氏

種石 悠

ロビー展 オホーツクシリーズ(13) 北の状景から

中田 篤

講座 サハ共和国での調査から 講師：中田篤

中田 篤

令和元年度(2019年度)博物館収集資料について

宮本 花恵

◆茂呂瀾 室蘭地方史研究 室蘭地方史研究会

〒051-0002室蘭市御前水町3-5-7 関村和義方 TEL0143-24-0872 年3000円

◇54 2020.3 A5 112p 1000円

室蘭にも来た淡路移民	久末 進一
添田家文書を読む(8)	野尻 和朗
路傍の石標(3)	
棧橋と道路の変遷を偲ぶ 重要な史跡 室蘭市道路元標	成田 弘
石川県家臣団による室蘭開拓期資料	
一泉忠廣関連資料について	谷中 聖治
栗林家の歴史紹介 第三回「南洋への進出・南進一路」	花田 敏行
西郷隆盛の生涯	福田 隆三
谷元旦の室蘭画稿	菊谷 彰
お帰り、SL!	平井 克彦
ケプロンの石臼	久末 進一
会員紹介 歴史を踏まえたまちづくりが今後の室蘭を創る	望月 貴文

青 森 県

◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会

〒036-8560弘前市文京町1 弘前大学人文学部日本史研究室内 1956年創刊

◇148 2020.3 B5 78p

弘前藩領の寺社門前について	篠村 正雄
弘前藩の「実高」についての基礎的考察	舘山 誠
大名家在坂役人と上方銀主・その交流と交渉	
一天保飢饉時の秋田藩を通して	金森 正也
研究ノート 細谷十太夫と仙台のハリストス正教会	山下須美礼
書評と紹介	
八戸の歴史叢書『八戸藩遠山家日記』第八卷	清水翔太郎
『「社共同の時代」—戦後革命運動史再考』	北原かな子

宮 城 県

◆国史談話会雑誌 東北大学国史談話会

〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科日本史研究室  
 気付 TEL022-795-6064 1957年創刊 <http://www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/>

◇60 2019.12 A5 91p

## 大島正隆の奥州留守氏研究

—アーカイブズを利用した史学史研究の一事例

家臣団の出向にみる近世大名の本分家関係

近世後期における大名の娘の年齢操作と婚姻

紹介 平川新著『戦国日本と大航海時代』

歴史通信 栃木県立博物館の現在

2019年度国史談話会大会記事

研究発表要旨

日本古代の灌仏会

戦国期における長宗我部氏の外交

三大事業以前の京都市街道路拡幅政策

—「町並一間引退ノ制」を例に

戦前期日本の献納運動—宮城県を事例に

重光葵の戦時政策とソ連観

公開講演

戦国期の蘆名氏と会津

江戸時代の「本位貨幣」

会員の訃報 藤木久志氏

柳原 敏昭

片村 峰雪

清水翔太郎

島崎 晟充

江田 郁夫

内田 敦士

島崎 晟充

高橋 梓

山田 大樹

横山 匡佑

高橋 光

朴 慶洙

柳原 敏昭

## ◆ナジェージダ(希望) 石巻若宮丸漂流民の会

〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23 大島幹雄方 TEL045-773-4643

<http://deracine.fool.jp/wakamiya/>

◇43 (vol.18) 2019.12 A4 32p

特集1 1921年アメリカの邦字新聞に「若宮丸遭難記」を発見

発見者は七ヶ浜在住のラベロさん

新発見の邦字新聞から若宮丸上陸地を探る

央州日報「若宮丸遭難記」

時空を超えて

久野 義文

本間 英一

佐藤三寿夫

酒見 謙三

特集2 「レザーノフの辞書」24年前の発見と増補版

ラジオ番組『われに希望あり』制作ドキュメント

「レザーノフの辞書増補版」ノート

若宮丸漂流民が見たであろう長崎港警備

遭難信号について考える

木村 成忠

大島 幹雄

小松 芳文

佐藤三寿夫

書籍紹介

阿部和夫『石巻の歴史から～江戸時代から現代まで』

神奈川県立歴史博物館『北からの開国』展図録

- 佐藤ミドリ訳『原始漫筆風土年表』第47・48分冊  
 自著紹介 津田光輝編著『二〇年後の若ものに伝える平和へのメッセージ』 80歳で初めて本作りに挑戦 津田 光輝  
 短信・コラム  
 青森深浦・円覚寺の「鬢額」と「高田屋嘉兵衛のシャンデリア」 大野 康世  
 「世界新漫画鳥観図」を復刻しました 本間 英一  
 「語り継ぎのためのワークショップ」 高田 彩

◆史の杜 上 廣歴史資料科学研究部門ニューズレター  
 東北大学東北アジア研究センター  
 〒980-8576仙台市青葉区川内41 TEL022-795-3196/022-795-4140  
 2013年創刊 <http://uehiro-tohoku.net>

- ◇8 2020.3 A4 8p  
 地域との歩みのなかで 仙台藩・地方知行制を考える 野本 禎司  
 古文書のひろば  
 相続をめぐるある農村女性の不遇と苦闘 藤方 博之  
 女子神学校の旧仙台藩出身の教師たち 佐藤和賀子  
 調査の現場から  
 伊達家墓所と向き合って 本間 市郎  
 塩沢家文書調査に参加して 菅原 綾香  
 古文書撮影実習に参加して 扇 明美

## 秋 田 県

- ◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会  
 〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322  
 年4000円 1974年創刊  
 ◇129 2020.4 B5 4p  
 第三十六回東北地方民俗学合同研究会参加報告 丹野香須美氏「女たちの手仕事を受け継ぐー「三和の針仕事おじょんこ伝承事業」の試み」、渡部幸氏「出羽三山信仰と羽黒山伏の妻たち」、齋藤壽胤氏「死後の離婚」その後」、石山晃子氏「近世津軽領における民衆の衣生活と女性たち」、佐藤ひろの氏「垣根をこえてーこれからの郷土芸能に望むもの」、戸邊優美氏「女性集団の経済力と村落社会の性別役割ー牡鹿半島の女講中を事例として」

◆秋田歴研協会誌 秋田県歴史研究者・研究団体協議会

〒010-0811秋田市泉釜ノ町16-5 渡辺方 1996年創刊

<http://akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html>

◇72 2020.3 B5 20p

特集 春の歴史フォーラム 秋田の城跡Ⅱ

檜山安東氏と檜山城

播磨 芳紀

子吉川流域の最上氏の拠点 本荘城・滝沢城

三原裕姫子

用語解説 分限帳(3) (組下分限帳の部 No.1)

半田 和彦

歴史情報 自著を語る『ナマハゲを知る事典』

稲 雄次

文献情報 加入団体会誌、その他の会誌、著作等／催しもの情報

## 山形県

◆山形県地域史研究 山形県地域史研究協議会

〒991-8501寒河江市大字西根字石川西355 村山総合支庁西村山地域振興局

山形県総務部学事文書課分室 県史資料室内 TEL0237-83-1215 年2000円

◇45 2020.2 A5 115p 1000円

《総会・研究大会》

第45回研究大会

講演 村山郡「郡中議定」

梅津 保一

第一分科会報告

山形市の石鳥居(元木・成沢)の歴史的価値と保存について

植松 薫

瀧山・蔵王信仰と石鳥居建立についての私的考察

新関 昭男

山形城絵図「涌谷亘理家本Ⅰ」の検討に関するノート

斎藤 仁

出羽三山信仰と鳥海山一三山の比定を中心に

神宮 滋

第二分科会報告

日本一の紅花商人 山形長谷川家

花谷 賢一

佐倉藩羽州領の成立経過と農政の改革—農政改革及び農民の抵抗

小関 徳雄

佐倉藩出羽飛地領の支配と地域社会に関する試論

藤方 博之

庄内の郷土史家 国分剛二の活動に関する一考察

—国分旧蔵書簡群の分析を通じて

長南 伸治

第三分科会報告

山形県内の資料の行方—民衆資料はどこへゆくのか

阿部 宇洋

『本庄郷土史』の編纂を終えて

木村清三郎

天童市における歴史資料保存・活用等の現状と課題

湯村 章男

第45回総会・研究大会の概要

公文書等の保存・管理・利用に関する要望書  
「公文書等の保存・管理・利用に関する要望」に係わる面談資料  
わがまちの歴史編さん状況について

長井市史編纂事業について  
寒河江市の市史編纂事業

岩崎 義信  
大宮 富善

## 福島県

### ◆郡山地方史研究 郡山地方史研究会

〒963-8876郡山市麓山1-8-3 郡山市歴史資料館内 TEL024-932-5306  
1965年創刊

#### ◇50 2020.3 A5 163p

第50集記念特集 陸奥国安積郡「郡山村(町)上町・下町人別帳」につ  
いて

郡山宿人別帳検討委員会(文責・大河峯夫)

郡山の後・終末期古墳

垣内 和孝

埴輪の種類と並べ方の変遷

佐藤 元彦

御代田合戦

高橋 明

芭蕉「安積山かたびらほして通りけり」と郡山俳壇

安藤 智重

郡山下町人別改帳に基づく 芭蕉の俳諧を唱導した佐々木露秀の実像

庄司 一幸

川島與五右衛門の書状からみた武士の精神と人物像

小林 成子

桑野村の入植者と職業について一特に明治21年の居住者を中心に

柳田 和久

富久山町の地名に関する一考察(3)

高橋 康彦

近・現代の熱海町を地図と温泉物語で辿る

齋藤 誠一

史料紹介 「鶴石記」

松本 和子

### ◆ふおーらむ・F 福島県民俗学会

〒965-0807会津若松市城東町1-25 福島県立博物館内 2011年創刊  
<http://fukushimafolklore.jimdo.com>

#### ◇11 2020.2 A4 4p

研究会報告 令和元年度東北地方民俗学会合同研究会「女性と民俗」  
丹野香須美氏「女たちの手仕事を受け継ぐ～『三和の針仕事 おじ  
ょんこ伝承事業』の試み」、渡部幸氏「出羽三山信仰と羽黒山伏の  
妻たち」、齊藤壽胤氏「『死後の離婚』その後」、石山晃子氏「近世  
津軽領における民衆の衣生活と女性たち」、佐藤ひろの氏「垣根を  
こえてーこれからの郷土芸能に望むこと」、戸邊優美氏「女性集団

の経済力と村落社会の性別役割—牡鹿半島の女講中を事例として」大里 正樹  
 研究会報告 地域持ち回り研究会 テーマ「福島県立博物館・新民俗  
 展示と山口弥一郎調査資料の見学」大里 正樹  
 展示紹介 福島県立博物館民俗展示「雪国・会津の暮らしと祈り」を  
 見て 佐々木長生  
 Announce 展示会のお知らせ  
 福島県立博物館テーマ展「山口弥一郎のみた東北」  
 Column 民俗の「復活」 川邊絢一郎

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8116福島市春日町5-54 TEL024-534-9193 2002年創刊

<http://www.history.fcp.or.jp>

◇56 2020.2 A4 4p

明治時代の日本酒ラベル 清瀧ラベル

(『商標登録他』、「明治・大正期の福島県庁文書」3333所収) 山田 英明  
 宝木村名主文書に残された佐竹義長書状 渡邊 智裕  
 家相家の佐久間家と近世南奥羽での家相伝授 小野孝太郎  
 明治三十年福島県内銀行の経営状況 藤谷 誠  
 発見された白水阿弥陀堂の仏像群の古写真 渡邊 智裕  
 養狸日本一への発展と衰退と陳情書 小野孝太郎

◆福島史学研究 福島県史学会

〒960-8251福島市北沢又字東谷地西3-5 年3000円 1951年創刊

◇98 2020.3 A5 94p

会津における城氏伝承の世界(1)—近世の諸記録の中で 坂内 三彦  
 北田城と北田氏 高橋 明  
 会津の経塚遺物からみた地域の歴史 柳内 壽彦  
 南陸奥における関東公方料所 小豆畑 毅  
 安積開墾の指導者・実戦者 石井貞廉—人物安積開墾史 矢部 洋三  
 「石那坂」をめぐる試論(上) 井戸川方志

2019年度福島県史学会研究報告会 学芸員解説による博物館展示室見  
 学会 ポイント展「戦国武将の花押と印判1—伊達政宗」高橋充氏、  
 企画展「とりもどすきずな つながるみらい」塚本麻衣子氏／報告  
 1 柳内壽彦氏「板碑から中世の会津をさぐる」／報告2 高橋充  
 氏・布尾幸恵氏「宮城県図書館所蔵『会津全図』について」／報告  
 3 栗原祐斗氏「前期的府県の地方制度—若松・福島県を事例に」

◆福島の民俗 福島県民俗学会

〒965-0807会津若松市城東町1-25 福島県立博物館内 TEL0242-28-6000  
年4000円 1973年創刊 <http://fukushimafolklore.jimdo.com>

◇48 2020.3 A5 130p

- |                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 2019年度公開講演会 初市・互市・定期市—南東北の市と商人 | 山本 志乃 |
| 『会津農書』にみる果樹—柿の栽培と民俗を中心に        | 佐々木長生 |
| 特色のある福島県のはやま信仰(2)—中通り・会津の事例から  | 鈴木 昭英 |
| 「下高久の三匹獅子舞」の現状と変化について          | 田仲 桂  |
| 「柳田国男と福島県」関係資料の発掘              | 小澤 弘道 |
| 相馬地方の婚礼習俗—半谷一實氏による記録           | 鈴木由利子 |
| 「浜通りのお浜下り」について                 | 岩崎 真幸 |
| 歌舞伎の「祇園囃子」と二本松の「祇園」の比較譜        |       |
| —福島県内の祭礼囃子の源流(14)              | 相原 達郎 |
| 資料紹介 史料 四家家『定例帳』そのⅡ(二月～八月)     | 四家 久央 |
| 民俗短信 『東日流外三郡誌』の鳴原智右衛門          | 菅野 拓  |
| 書評・書誌紹介                        |       |
| 金山町教育委員会・榎本千賀子編『山のさざめき 川のとどろき』 | 山口 拡  |
| 古川利意『古川利意年賀状版画集』               | 大里 正樹 |
| 菊池和子『福島 芸能の灯消さず—震災を生きる人々』      | 内山 大介 |

茨 城 県

◆現代民俗学研究 現代民俗学会

〒305-8571つくば市天王台1-1-1 筑波大学大学院人文社会科学研究所  
歴史・人類学専攻内 2008年創刊

◇12 2020.03 B5 129p

- 《特集 民俗学的「差別」研究の可能性—「日常」からのアプローチ》
- |                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 特集にあたって                        | 今野 大輔 |
| 「部落産業」をとりまく変化—東京都墨田区の皮鞆し業を事例に  | 岡田 伊代 |
| いかにして「男性同性愛」は「当たり前」でなくなったのか    |       |
| —近現代鹿児島事例分析                    | 辻本 侑生 |
| 訴訟と共生—東京都国立市公民館コーヒーハウスにおける「障害」 | 入山 頌  |
| コメント                           |       |
| 「差別」と「当たり前」を共に解きほぐしていくために      | 川松あかり |
| 「日常」は何を照らすのか                   | 桜木真理子 |
- 祭りにおける性的儀礼の正当性

—伊豆稲取どんつく祭りと素戔鳴神社の夏祭りを通して 深沢佳那子  
 御輿を担ぐことの文化政治—東京圏の御輿渡御・御輿パレード 三隅 貴史  
 漁業の町・枕崎の「1人花嫁」—こっそり、ひっそりした嫁入り 佐々木陽子  
 地域行事への参加し継続の契機

—何をもって参加に転じたか、何が続けさせているか 今井 恵理  
 批評

桜木論文へのコメント（桜木真理子著「国立ハンセン病療養所栗生  
 楽泉園の患者作業運営に見る制度的交渉」『現代民俗学研究』11掲  
 載） 原田 寿真

田邊論文へのコメント（田邊元著「つながりの中で生まれる技—神  
 道香取流にみる技の復元—」『現代民俗学研究』11掲載） 高久 舞

研究会記録 2019年度年次大会

趣意書 民俗学のアジア、人類学の日本 木村周平／武井基晃

第1報告 東南アジア研究者が見た日本宗教 片岡 樹

第2報告 氏神信仰から見た華南少数民族

—中国華南地方の飛山信仰をめぐる一考察 黄 潔

コーディネーター報告 武井基晃／木村周平

研究会記録 第44回研究会

趣意書 民俗学的「差別」研究の可能性  
 —「日常」からのアプローチ 及川祥平／辻本侑生

第1報告 皮革産業は「部落産業」でしかないのか  
 —東京都墨田区の皮鞆し業を事例とした再検討 岡田 伊代

第2報告 いかにして男性同性愛は「当たり前」でなくなったのか  
 —近現代鹿児島事例分析 辻本 侑生

第3報告 訴訟と共生—東京都国立市公民館コーヒーハウスにおけ  
 る「障害」 入山 頌

コーディネーター報告 民俗学的「差別」研究の可能性 及川 祥平

研究会記録 第45回研究会

趣意書 まちをまなざす、まちをかたる—都市をめぐる学際的な対  
 話に向けて 木村 周平

第1報告 「まちづくりのエスノグラフィ」 早川 公

第2報告 『まちづくりのエスノグラフィ』を民俗学から読む 三隅 貴史

第3報告 『戦後東京の闇市』 石博 督和

第4報告 『戦後東京の闇市』を文化人類学から読む 木村 周平

コーディネーター報告 都市と関わる民俗学へ 木村 周平

研究会記録 第46回研究会

趣意書 現代民俗学は「地域」と「むら」をどう捉えるか	
ー〈共〉の民俗学を考える	加藤 秀雄
コーディネーター報告	加藤 秀雄
研究会記録 第47回研究会	
趣意書 写真探して4万キロ・米国調査報告会	菅 豊
コーディネーター報告 新しい写真世界の民俗学的探求	
ーファウンド・フォト(Found Photography)へのまなざし	菅 豊
年次大会発表要旨 2019年年次大会	
枕崎の漁村に存在した「1人花嫁」	佐々木陽子
現代のドイツ民俗学における口承文芸研究についてードイツ民俗学	
会口承文芸研究部会の活動をもとに	金城ハウプトマン朱美

#### ◆長塚節の文学 長塚節研究会

〒300-2707常総市本石下4639 TEL0297-42-2003 年3000円 1994年創刊

◇25 2020.5 A5 97p 1000円

書簡集から読む長塚節 爾来久闊一通の手紙	村上 幸子
令和時代の長塚節の『土』について	飯島 雅行
つゆ草色の愛一節、最後の「恋」	渡辺 保幸
節と平福百穂について	河合 宏
『土』とあわせ読む文学(1)	
ゴーゴリ『死せる魂』(1842)の地主像	山形 洋一
国生での長塚節の葬儀に参列した香取秀真、平福百穂以外のある人について	桐原 光明
長塚節の旅行短歌研究一月、星を詠んだ歌を中心に	山形洋一／飯塚知子
長塚節と竹林栽培について	河合 宏

## 栃 木 県

#### ◆鹿沼史林 鹿沼史談会

〒322-0054鹿沼市下横町1302-5 まちなか交流プラザ 年3000円 1954年創刊

<http://tochigi-vnpo.net>

◇59 2019.12 B5 65p

千万才考ー日光山の田楽法師	竹末 広美
御殿山散策	中島 正
福田弥五郎正名の足跡をたどって	鈴木 和子
医王寺境内社について	国立 恵俊

板荷と粟野の用水堀 続・二宮金次郎と鹿沼 廃寺薬王寺（発光路）の研究 旧・粟野町「龍神山城」と「鞍掛山城」について 講演録「とちぎの知の巨人 丸山瓦全と鹿沼の人々」	富久田滋子 駒場 一男 恩田 浩孝 竹澤 謙
---	---------------------------------

◆史談 安蘇史談会

〒327-0004佐野市赤坂町229 大高八三郎方 TEL0283-24-3232

年2000円 1985年創刊

◇36 2020.4 A4 163p

口絵写真 説明 「吉澤氏家世碑」明治33年(1900) 原寸拓本

(写真提供：佐野市吉沢記念美術館)

巻頭言 貴重な「史料の保存」の取り組みに期待したい

『道忠教団と広智』とは

お姫河原の話

史料紹介 山崎常盤家旧蔵佐野氏忠文書について

栃木山余聞一『探訪栃木山』の忘れもの

史料紹介

森鷗村発行の『文明雑誌』その四 『文明雑誌』に学んだ人々

牧歌舞伎の発生と継承について

菩提寺と十三佛御尊影

唐澤義勇少年団縫田文次郎の第三回国際ジャンボリー遠征記・後編

史料に読む幕末・下野国「出流山事件」(1)一薩摩藩邸浪士糾合から

「官軍先鋒薩州出流山糾合方隊本陣」の結成まで

令和の初詣に参加して

上野三碑や日光例幣使道などを尋ねて

末武さとみ

海老原脩治

永島 正夫

川田 春樹

鴨志田智啓

板橋雄三郎

廣木 雅子

津布久貞夫

大川 圭吾

大高八三郎

海老原脩治

篠崎 澄子

安蘇史談会

◆那須文化研究 那須文化研究会

〒329-2752那須塩原市三島5-1 那須野が原博物館 TEL0287-36-0949

1987年創刊

◇33 2019.12 B5 95p

那須・茂木の青麻碑

海老原郁雄

「東野鉄道サミットー記憶を走る！ロストライン」ー開催における地域

博物館の活用と運用について

堀彰一郎／市村厚子／東野鉄道サミット実行委員会

〈那須町プロジェクト調査報告書〉

那須に分布する岩屑なだれ・流れ山

大滝 孝久

用水の開削年について一金井蛇川用水・辻室用水	渡辺 康廣
那須町の工場誘致のあらまし―戦時中から平成年代まで	高久 久二
江戸時代の情報ネットワーク「寺院本末制度」	
―伊王野正福寺文書を中心として	伊藤 晴康
鎌倉時代的那須及んだ鑄移の善光寺式阿弥陀三尊とその銘文考	藤田 定興
大名家文書(大関家文書)は語る(18)	
―江戸幕府に提出された大関家の由緒書	新井 敦史
地方文書は語る(18)	
―「那須温泉鳥瞰図」と「冥加金受取覚」について	高根沢広之
新刊紹介 『ブックレット 那須をとらえる5』 編者：那須文化研究会	
会/『日本初のオリンピック代表選手 三島弥彦―伝説と史料―』	
編集：尚友倶楽部史料調査室・内藤一成・長谷川怜	中村 悟
那須地区通信	
那須塩原市 西那須野地区	多和田潤治/坂本菜月
大田原市 大田原地区	重藤智彬/長谷川操
大田原市 湯津上地区	木村 康夫
大田原市 黒羽地区	大高 純一
那須町	伊藤 晴康
那須塩原市 黒磯地区	小松 佳史
那須塩原市 塩原地区	君島 守
栃木県文献一覧(2018追録)(2019)	

◆歴文だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313  
年4000円 1991年創刊

◇114 2020.1 A4 4p

《特集 中世下野国の一族》

中世下野国の一族―大田原氏について	重藤 智彬
中世下野国の一族―茂木氏について	大山 恒
中世下野国の一族―小野寺氏について	山本 享史

◇115 2020.5 A4 4p

《特集 とちぎヒストリカルグランドデザイン》

古代下野国のグランドデザイン	山口 耕一
宇都宮氏による宇都宮城から多気山城への本拠地移転	荒川 善夫
とちぎヒストリカルデザイン 都市計画としての塩原新道(三島新道)	
と地域の発展	坂本 菜月

新刊紹介

松本一夫著『中世武士の勤務評定 南北朝期の軍事行動と恩賞給付システム』 新井 敦史  
 倉井耕一・赤星栄志・篠崎茂雄・平野哲也・大森芳紀・橋本智著  
 『地域資源を活かす 生活工芸双書 大麻〈あさ〉』 木村真理子

群馬県

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会

〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県立文書館内 TEL027-226-6246

1993年創刊 <http://www.asahi-p.co.jp>

◇54 2020.4 AB 36p

《榛東村・吉岡町地域特集》

歴史を掘る 茅野遺跡出土の土製耳飾り 角田 祥子

豊かな食文化あってこそ日本人 植木 威行

第27回 石川薫記念地域文化賞 功労賞 大里仁一／研究賞 早田勉  
 ／奨励賞 秋山寛行／受賞者のプロフィール 松田 猛

石川薫記念地域文化賞受賞者特別講座(4)要旨 近世上州の駆込寺 佐藤 孝之

発掘情報 小島田八日市古墳一赤城山南麓の前期古墳 並木 史一

図録ぐんま文化財 北群馬郡の文化財一国・県指定文化財を中心に 白石 光男  
 ぐんまの歴史入門講座

第208講 吉岡町の古墳一終末期が特徴的な南下古墳群を中心に 右島 和夫

第209講 桃井郷と源姓桃井氏 久保田順一

第210講 船尾山柳沢寺と千葉氏伝承 青木 祐子

第211講 榛名山麓に現存するデ・レイケの遺産 大林 和彦

第212講 榛東村・吉岡町の石造文化財 石造文化財の見方(43) 秋池 武

古文書解読入門講座(41)一古文書から歴史を読む

三国街道継ぎ荷物取扱い議定 岡田 昭二

地域づくりと文化遺産 野田宿を活かした地域づくり 森田 均

ぐんまの地名 榛東村の地名 森田 廣士

ぐんまの地名 蕎麦石と新田 樺澤 秋信

ぐんまの人物誌 富沢文明と古文孝経の碑 森田 光昭

ぐんまの人物誌 華蔵寺亮衍上人と無幻上人 二戸 正一

ぐんまの郷土芸能 榛東村の郷土芸能 角田 祥子

ぐんまの郷土芸能 吉岡町の郷土芸能 大澤 弘幸

史料紹介 上毛野国車評桃井里大贄鮎 中村 光一

地域文化Q & A

- 耳飾りはどうやってつけたのですが？ 角田 祥子  
八角墳は天皇陵に多いと聞きましたが？ 深澤 敦仁  
研究・学習サークル活動紹介 耳飾り館ふるさと学芸員 牧島 徹平  
出版情報 地域の刊行物紹介  
『川場村誌』の刊行 藤井 茂樹  
『館林市史普及版 館林の歴史』の刊行 井坂 優斗  
ぐんまの自然と風土 榛名山東麓の獣害の歴史 坂庭 浩之

◆群馬地名だより 群馬地名研究会

- 〒379-2144前橋市下川町6-16 井野修二方 TEL027-265-3859 1989年創刊  
◇98 2020.4 B5 10p  
『新田荘遺跡』について 茂木 晃  
矢田の地名 井野 修二

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

- 〒372-0831伊勢崎市山王町38-38 前澤和之方 年4000円 1957年創刊  
<http://blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/>  
◇338 2019.12 A5 98p  
足尾鉍毒事件と左部彦次郎—その生涯と運動への関わり方 桑原 英眞  
小・中学校社会科における「群馬県学習カリキュラム」の開発 山口 幸男  
令和元年度群馬県地域文化研究協議会総会並びに第35回地域研究会  
(吉岡町)の開催  
総会／地域研究会 編集事務局  
記念講演 古墳から見た七世紀の上毛野地域—吉岡町南下古墳群を  
中心として 右島 和夫  
地域研究報告  
古墳時代の榛名山噴火で埋没した渋川市金井遺跡群の発掘調査成  
果 小島 敦子  
鎌倉御家人漆原氏の西遷—『阿波国徴古雜抄』所収史料の再検討 長谷川明則  
明治前期の地域編制  
—群馬地域における大区小区制の設置をめぐる 佐藤 有  
ぐんま絹遺産紹介 第12回  
(22) 馬場重久の墓—群馬養蚕業近代化の始祖、馬場重久翁につい  
て(吉岡町) 永田 勝治  
(23) 門前春駒(群馬県指定重要無形民俗文化財)(川場村) 宇敷 一郎

新刊紹介

- 関口覺著『高山社の養蚕改革—養蚕農家とともに求めた繭質・糸質の改良』 宮崎 俊弥  
川場村誌編纂委員会編『川場村誌』 岡屋 紀子  
群馬県立歴史博物館編 第99回企画展図録『集まれ！ぐんまのはにわたち』 川口 亮  
口絵 秋山清爽図 金井鳥洲作—群馬県立歴史博物館蔵品資料(139) 森田 真一  
◇339 2020.4 A5 100p  
「沼田記」の史料学研究—伝説と史実のはざま 丑木 幸男  
斎藤玉男 医学博士の生涯—文人としての横顔に着目して 大崎 厚志  
転封後の秋元家と菩提寺の保護—旧家臣松田氏の役割とその背景 松田 猛  
群馬県における歴史的建造物の保存整備  
—歴史的建造物講座「村田塾」の開講 村田 敬一

新刊紹介

- 金井竹徳監修『写真アルバム 北毛の昭和』 丑木 幸男  
小野久米夫著『前橋と利根川 上巻—先史利根川と古代利根川  
下巻—中世利根川と近世利根川』 澤口 宏  
玉村町歴史資料館編『玉村町町制施行六〇周年記念玉村町古写真集  
—残された町の記憶を次の世代に』 松浦 利隆  
口絵 不動山古墳出土円筒埴輪—群馬県立歴史博物館蔵品資料(140) 深澤 敦仁

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154前橋市天川大島町317-1 TEL027-223-2785

年4500円 1973年創刊 <http://www16.plala.or.jp/kuzira226/>

◇261 2020.1 A5 57p

- 口絵 牧野忠成の墓所(長岡市普濟寺) 井野 修二  
「高崎」という地名について考える  
—松ヶ崎・松崎・鷹ヶ崎、そして高崎 田口 正美  
松平大和守家の伊沢県治 井野 修二  
伊能忠敬と吉井宿問屋三右衛門 松田 猛  
群馬の市街地地学ハイキング(12) 安中市コース  
安中市磯部周辺の地形・地質を調べる 中島啓治／矢島祐介／中村庄八  
三月二十六日紀行 斎藤 遙山  
高山彦九郎日記による歴史散歩(66) 『北行日記』(25) 正田 喜久  
令和元年度 新入会員／群馬歴史散歩の会 賛助会員  
歴史散歩の報告(事務局企画) 日光の史跡と文化財 山崎 正

◇262 2020.3 A5 57p

口絵 幻のオリンピック会場	井野 修二
渋沢栄一と鳥村の蚕種業	宮崎 俊弥
群馬の鉾山 西ノ牧鉾山・八幡(中丸)鉾山編 第一回 貴重な史料、発見へ	本多 優二
群馬県大書記官 森醇	井野 修二
詩人豊田勇と父熊次郎	松田 猛
高山彦九郎日記による歴史散歩(67) 『北行日記』(26)	疋田 喜久
埼玉へ歴史散歩 原三溪ゆかりの原家・天神山庭園	富所洋一郎
歴史散歩の報告(事務局企画) 江戸を歩く(23) 上野戦争跡と上野恩賜公園	山崎 正
吉備路をゆく	山崎 正
秩父路と和銅採掘遺跡―三峯神社・秩父神社・宝登山神社	山崎 正

◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町2529-1 永島政彦方 1980年創刊

◇41 2020.3 A5 130p

小栗上野介処刑事件の歴史的位置づけ―「藩」の変容過程を視点に	小嶋 圭
上野府中の千葉氏伝承―移住および寺社建立・再造営について	青木 祐子
母子健康手帳の利用状況から見る母親役割	深津 美希
明治末の暦・季節感と農家の年中行事の検討 ―明治四十二年の農業者休業日調査から	井野 修二
大正・昭和期の群馬・栃木の郷土史家の活動交流と地域意識 ―世良田長楽寺所蔵資料の「発見」と「普及」	大野 秀彰
書 評 歴史実践としての自治体史編纂のこれから―川場村誌編纂委員会編 『川場村誌』の刊行に寄せて	築瀬 大輔
横田雅博著『おきりこみと焼き饅頭 群馬の粉もの文化』	鈴木 英恵

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町2529-1 永島政彦方 1979年創刊

◇160 2019.12 B5 4p

増税に抵抗した酒造業者たち―明治時代の『酒屋会議』	前澤 哲也
「福田啓作日誌」に見える旧館林城三の丸の利用	井坂 優斗
短信 長野市資料保全ボランティアに参加を！	築瀬大輔／青木裕美

◇161 2020.3 B5 4p

吾妻郡中之条町大字入山字引沼の初絵習俗	鈴木 英恵
台風一九号と歴史資料救済活動のこれから	篠瀬 大輔
◇162 2020.6 B5 4p	
会告 四十周年記念事業の延期について／二〇二〇年度総会の開催について	永島 政彦
お七夜の儀礼	板橋 春夫

## 埼玉 県

### ◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂11-1 さいたま市市民活動サポートセンター メールボックスB13 年3000円 1975年創刊  
<http://saitama-chihoshi1952.blogspot.com>

### ◇77 2019.12 A5 52p

自由民権運動期における加藤政之助の代議政体論と地方分権論

一人権保障機能を中心に	諏佐 成紀
埼玉県における維新前後殉難者の合祀・贈位の実態	内田 満
コラム 地方史のひろば 東松山市光福寺宝篋印塔について	高柳 茂
書評／動向	

幕末の忍藩士尾崎石城研究への試み

一大岡敏昭著『新訂 幕末下級武士の絵日記』によせて	澤村 怜薫
『久喜市江面の文化財—久伊豆神社を中心に—』の刊行と文化財保護の取り組みについて	松村 憲治
新刊紹介 分須正弘著『昭和期の埼玉とその周辺』	太田 富康

### ◇78 2020.4 A5 52p

野本氏と押垂氏の周辺—比企氏と連携した利仁流藤原氏一族	山野龍太郎
苦林—その地理と歴史	佐川美加／川島優美子
史料紹介 「熊谷寺書籍一件(武州)」について	菊池 紳一
2019年度埼玉県地域研究発表会報告要旨	
近世の開発と脇街道—台地と低地を結ぶ赤山街道を中心に	出野 雄也
明治前期における社寺の維持保存と地域	
—旛羅郡下奈良村集福寺の事例	木村 遼之
2019年度研究例会報告要旨	
前田綱紀の参勤交代と古物の調査—熊谷宿熊谷寺の調査を中心に	菊池 紳一
旗本相給村落の特質—武蔵国幡羅郡下奈良村を事例に	栗原 健一

◆昔風と当世風 古々路の会

〒343-0027越谷市大房1006-4-410 津山正幹方 TEL048-976-9387 1973年創刊

◇104 2019.12 B5 142p

《青森県東津軽郡今別町袈月・浜名地区合同調査特集》

青森県東津軽郡今別町のカレゴ習俗と「ケガズ」	松尾あずさ
青森県今別町の合同調査を終えて	神 かほり
東津軽の港町・今別の住まい	宮崎玲子／宮崎勝弘／山崎祐子／森隆男
袈月の信仰と人々の生活	河合 久和
袈月のフナゲバと小屋	坪郷 英彦
袈月の年中行事	入江 英弥
食の風土記—青森県東津軽郡今別町袈月	早川美奈子
海からの恵みと暮らし—海藻の採取	西尾 嘉美
海から見る袈月	下境 芳典
袈月の漁業とくらし	溝辺 悠介
袈月の生活様々	谷川 隼也
海峡に抱かれて—袈月の生活諸相とその変遷	菊池 恭平
カヤキミソとイカのスシのある家族の話	神 かほり
浜名町会の組織、テラ、草履の鼻緒を切ることなど	古川 実
東津軽郡今別町の年中行事とお山参詣	
—浜名、大川平地区の聞き書きから	関 廣好
青森県東津軽郡今別町浜名の信仰と生活	鈴木 秋彦
浜名のくらしと海	茶谷まりえ
切る仕事・運ぶ仕事—理容師と土木作業	北河 直子
青森県今別町浜名地区の年中行事・集落境	西連寺 匠
青森県今別町のエンツコ、いまだきのエジコ	むらき数子
津軽今別の家造りと大工道具	津山 正幹
青森県東津軽郡今別町見聞抄	五十嵐 稔
民俗学と研究会活動(5) 地方民俗学研究会の叢生と『南越民俗』	今野 大輔
古々路の会代表退任についての謝辞	五十嵐 稔
会長就任のごあいさつ	森 隆男
豊かな里の海、里の山に抱かれた村 第四六回合同調査から	西尾 嘉美
長月に比内要衝の地へ 第四七回合同調査のお知らせ 調査地：秋田	
県北秋田市綴子地区 調査幹事：松尾あずさ・高橋進(地元幹事)	
	文責・松尾あずさ

## 千葉県

### ◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132我孫子市湖北台5-15-17 岡本方 TEL04-7149-6404

<http://abikosisiken.main.jp>

#### ◇214 (通521) 2020.1 A4 22p

令和の初夢か 古文書とA I 関口 一郎

歴史講演会に期待する！ 演題：「幕末・明治維新期の下総国一下総

知県事から葛飾県の成立へ」 山崎 章藏

ミニ講演会 開催報告 藤和天王台ハイタウン 宮本 研三

2019年度市史研主催史跡バス見学会 中世の豪族結城氏の足跡と伝統

に彩られた袖の里を訪ねる 中嶋 正義

歴史探訪部会 12月例会 市川市行徳の探訪に参加して 中川 健一

歴史探訪部会 12月の活動報告 「市川市行徳」を訪ねる 長谷川秀也

古文書解読日曜部会 12月の活動報告 脇 明子

古文書解読火曜部会 12月の活動報告 加藤 直道

井上家文書研究部会 11・12月活動報告 松本 守

歴史部会 11月の活動報告 第44回研究講座 谷田部隆博

古代史研究グループ 12月の活動報告

「埴生郡」報告者：石井俊子会員 石井 俊子

合同部会 12月の活動報告 中澤 雅夫

我孫子の社寺を訪ねる 社寺調査余話 「十三仏」について(2)

渡会瑞顯編『十三仏の世界』より 中澤 雅夫

関宿城博物館「オビシャはつづくよ400年一年のはじめの村まつり」 近江 礼子

友好団体行事のお知らせ 我孫子の景観を育てる会

#### ◇215 (通522) 2020.2 A4 16p

アビスタ・ストリート展示は大変好評でした!! 資料センター推進会

史跡・文化財の保全をみんなで!! 関口 一郎

歴史探訪部会 1月の活動報告 長谷川秀也

歴史部会 1月の活動報告 逆井 萬吉

古代史研究グループ 1月の活動報告 「印旛郡」報告者：飯白和子

飯白 和子

井上家文書研究部会 1月活動報告 品田 制子

古文書解読日曜部会 1月の活動報告 坂本 功

古文書解読火曜部会 1月活動報告 山本 包介

合同部会 1月の活動報告 中澤 雅夫

我孫子の社寺を訪ねる 社寺調査余話 「十三仏」について(3)

- 渡会瑞顯編『十三仏の世界』より  
中澤 雅夫  
会誌『我孫子史研究』創刊号編集委員による総括討論の報告  
谷田部隆博  
◇216 (通523) 2020.3 A4 18p  
歴史講演会「幕末・明治維新期の下総国」が開催された  
中村 千由  
古文書解読日曜部会 2月の活動報告  
鈴木江里子  
井上家文書研究部会 2月活動報告  
品田 制子  
古文書解読火曜部会 2月活動報告  
谷村 廣子  
合同部会 2020年2月の活動報告  
中澤 雅夫  
中里薬師堂 薬師三尊像および十二神将像の修復完了  
中澤 雅夫  
歴史部会 1月の活動報告  
逆井 萬吉  
歴史探訪部会 2月例会 座学 古代東海道「於賦」の駅家を起点に  
相馬郡の官衙遺跡を考える 宗岡恒雄氏(古代史研究グループ) 長谷川秀也  
古代史研究グループ 2月の活動報告「我孫子古代史再考」 星野 征朗  
友好団体行事のお知らせ  
我孫子の景観を育てる会・我孫子の文化を守る会  
我孫子の社寺を訪ねる(38) 新木地区(4) 長福寺 飯白 和子  
我孫子の社寺を訪ねる 社寺調査余話 「十三仏」について(4)  
渡会瑞顯編『十三仏の世界』より 中澤 雅夫

◆神田外語大学日本研究所紀要

- 〒261-0014千葉市美浜区若葉1-4-1 TEL043-273-1389  
◇12 2020.3 A5 234p  
慶応二年前半の政局と薩摩藩  
—「小松・木戸覚書」以降の動向を中心に 町田 明広  
武士道の混乱、あるいはもうひとつの「創造」  
—『葉隠』から立ち上がるもの 上野 太祐  
桂川甫賢筆長崎屋宴会図について 松田 清  
福喜多靖之助著『CHA-NO-TU TEA CULT OF JAPAN』  
—海外へ伝えられた近代数奇者の茶の湯 櫻庭 美咲  
『日本広東学習新語書』所収仮名音注の特徴(2) 矢放 昭文  
『日本広東学習新語書』及び『明治三十八年 戸口調査用語(広東語)』  
所収の符号仮名(2) 山村 敏江  
口絵 桂川甫賢筆 長崎屋宴会図 神田外語大学附属図書館蔵／葛飾  
北斎『画本東都遊』巻中 日本橋本石町長崎屋図 林忠正旧蔵本  
帰雲蔵

◆佐倉市史研究 佐倉市総務部行政管理課市史編さん担当

〒285-0038佐倉市弥勒町78 TEL043-486-3478 1983年創刊

◇33 2020.3 A5 106p

講演録 ポンペの講義録と佐倉の医学生たち

一新発見オランダ語写本の語るもの

松田 清

下総佐倉藩天保の改革と文武芸術の制

―「増引」と「一術成就」の実態をめぐって

関山 邦宏

近世後期における佐倉炭生産地帯の様相―佐倉牧周辺を事例に

土屋 雅人

甕に描かれた絵画―大崎台遺跡の分析から(上)

菊池 健

洋靴150年の歩み

福原 一郎

資料紹介 西村勝三が雇った中国人靴教師について

―東京都公文書所蔵資料より

小暮 達夫

市史編さん事務局から

『佐倉市史 考古編』(資料編)の一部訂正について

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報

〒285-0843佐倉市中志津6-21-13 田中征志方 TEL043-489-7439

年2000円 2012年創刊

◇24 2020.1 A4 12p

志津の地名について(13)

田中 征志

公園名から歴史が見える―志津地区 字(あざ)名は歴史の語り部

志津公民館祭展示資料

消えた町名・使われなくなった団地名

武藤 敏子

四国歩き遍路(後)

平田恭一郎

「天保水滸伝の世界」平手造酒の生涯をみる(3)

千々和 巖

新刊紹介 宮武孝吉著(志津部会会員) 志津駅ビル内 ときわ書房

『内場幻想』大空社出版

◆西上総文化会報

〒292-0833木更津市貝渕1-11-4 TEL0438-25-2003

◇80 2020.3 B5 138p

巻頭言 会報八十号発刊にあたって

八田 英之

私の歴史散歩 木更津と熱海を結ぶ点と線

廣部 雅昭

旧請西藩主林忠崇侯自筆の「戊辰出陣記」を読む(2)

諏訪 貞夫

木更津船の由緒と裁判について

今井 裕

土屋氏について 土屋二氏の系譜

村田 峯生

松下葵岡 朝川善庵宛書簡	野崎 竜太
京都・靈山護国神社の〈八沢棗之進〉墓碑と当時の鹿島鍋島家	今軍倍みのり
滝口宏先生の「金鈴の歌」と金鈴が出土した日	宮本 敬一
西上総文化会との出会い 箱根での催しを通して	池内 利枝
上杉義隆さんという人	藤平 俊雄
小説 二人直治郎	八田 英之
移動研修レポート 大原幽学記念館などを訪ねて(第656回例会)	河野 良恒
研究発表	
第657回例会 幕末の請西藩一若き藩主林昌之助忠崇と戊辰戦争	諏訪 貞夫
第661回例会 戦国時代の西上総と房総里見氏	岡田 晃司
例会・理事会・報告	
第655回例会 定期総会と懇談昼食会	
第656回例会 移動研修Ⅰ 大原幽学記念館などを訪ねて	
第657回例会 研究発表Ⅰ 幕末の請西藩	
第658回例会 移動研修Ⅱ	
第659回例会 木更津文化祭参加 第七一回西上総文化展	
第660回例会 祝賀と忘年の会	
第661回例会 研究発表Ⅱ 戦国時代の西上総と房総里見氏	
第662回例会 移動研修Ⅲ 西上総の中世	
令和元年度理事会報告	
報告 旧請西藩主林家と西上総文化会有志による交流活動の広がり	
について	諏訪 貞夫
歴史ミニ情報	
「招魂之碑」の書者劉雨伝	藤平 俊雄
渋谷総司と北島秀朝	八田 英之
昔の木更津芸者の芸	今軍倍みのり
稲村喜勢子日記にみる仁右衛門島	藤平 俊雄

◆房総古代道研究 房総古代道研究会会誌

〒290-0073市原市国分寺台中央6-12-3 山本勝彦方 FAX0436-23-1098

2016年創刊

◇4 2019.12 A4 58p

インタビュー 上総国海上郡の「嶋穴神社」・「姉崎神社」について	谷島 一馬
オトタチバナヒメと走水と古代の東海道	前之園亮一
『更級日記』時代の古代の大路	佐々木虔一
東国防人の実態—多視点からのアプローチ	石渡 芳樹

『更級日記』の「いまたち」・「いかだ」を再考する 講演会記録	山本 勝彦
万葉集からみた防人の旅路	小野 一之
十返舎一九の『房総道中記』について	小関 勇次
ドン・ロドリゴの御宿漂着と徳川家康 随 想	岸本 静江
坐禅風瞑想の航跡	西山 勝裕
古代の忌部氏を訪ねて	原田みどり
コラム 鈴木大拙に逢える金沢市の新名所	山本 友子

◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001習志野市東習志野5-30-4-404 木原律子方 TEL047-473-3540  
年3000円 1980年創刊

◇144 2020.1 B5 6p

ご挨拶	早川 正司
十二月見学会参加記 流山の石仏を巡る	渡邊 昌之
君津市戸崎の馬乗り馬頭観音	稲木 章宏

東 京 都

◆アーカイブ通信 ネットワーク・市民アーカイブ

〒190-0022立川市錦町3-1-28-301 TEL042-540-1663 年6000円  
2014年創刊 <http://www.c-archive.jp>

◇18 2020.3 A4 8p

市民アーカイブ多摩の記録冊子作成中

これからの5年を見すえるために 杉山 弘

市民アーカイブ多摩の四季(4) 春 ナシ 邑田 仁

第5期緑蔭トーク報告

第4回 「1970～80年代の日韓連帯運動を読む」李美淑さん 記・李美淑

第6期緑蔭トーク 第1回「オリンピック開催の前と後」いちむらみ  
さこさん、第2回「人を耕す、地域を耕す～ミニコミ発行し続けて  
40年」林喜代三さん、第3回「日本近現代政治史料の収集と公開～  
憲政資料室での経験から」堀内寛雄さん、第4回「自治体社会教育  
機関の地域資料収集・提供・保存の意味～住民自治を支えるために」  
荒井敏行さん

ミニコミ紹介

The Gallery 相模原市議会をよくする会 1999年創刊	赤倉 昭男
ふいふてい 八王子手をつなぐ女性の会 1988年創刊	小野 慶子
市民アーカイブ多摩の資料棚から(12) 社会教育	江頭 晃子
シリーズ“現場”を訪ねる(4) 多磨全生園 国立ハンセン病資料館	町村 敬志
記憶と記録の場をめぐる旅(15)	
今井館 聖書講堂・資料館一内村鑑三の思想を今に生かす	鈴木 清隆

◆明日を拓く／解放研究 東日本部落解放研究所

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1993年創刊  
<http://www.hblri.org>

◇122 (44-2 通205) 2020.2 A5 122p 1000円

特集1 東日本の同和教育

特集にあたって

問われ続けること 問い続けること

島田 一生

東葛同研と私

片桐 哲郎

横浜外支研の取り組み

吉田 浩司

同和教育運動をつないでいくために

石川 享助

人を大切に生き方一目の前の生徒たちから学んだこと

小黒 秀昭

特集2 世代から世代へ、私の部落問題との出会いと解放運動の歩み

特集にあたって

小野崎佳代さん(部落解放同盟東京都連合荒川支部)に聞く 世代か

ら世代へ、私の部落問題との出会いと解放運動の歩み 参加者：

安部武・海野敦彦・川口弘志・岸本萌・光賀裕一・小宮豊・近藤

登志一・本間歩美・吉田勉

古文書を楽しむ(10) 納経(朱印帳)の旅 文政六癸未年六月吉祥日

諸国神社仏閣拝礼帳(「鈴木家文書」一六〇)

古文書を読む会(文責・松浦利貞)

◇123 (44-3 通206) 2020.3 A5 91p 1000円

扉 「平和の碑」(平和の少女像)

特集 東アジアの「隣国」「隣人」—反照される「日本」「日本人」

特集にあたって

井桁 碧

北東アジアの和解により未刊の日本国憲法を補完する

—花岡、西松、三菱マテリアル、和解の経験に学ぶ

内田 雅敏

川越「唐人揃い」復活と多文化共生国際友好パレード

—朝鮮通信使の精神を現代に生かす

江藤 善章

「希望のたね基金」でつかみ取った希望

梁 澄子

◆足立区立郷土博物館だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 TEL03-3620-9393 1996年創刊

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/hakubutsukan/>

◇74 2020.3 A4 4p

特集 資料のネット公開

オープンデータと博物館

画像公開と資料保存／公開の履歴書／撮影から資料研究とネット公開

公開のために必要なこと 資料の調査をつくる—美術資料の場合  
調べるのが公開の第一歩！／どんなことを調べるの？

写真が伝える貴重資料 国立国会図書館デジタルコレクションより／

ホンモノそっくり 昔の優れたコピー方法 影印・模本

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇623 2020.1 A4 4p

明治の名勝世界『墨水廿四景記』

郷土博物館

綾瀬・吉田家文書の紹介(2) 貞享の百姓石高帳

多田 文夫

行政文書に見る足立区の水害記録(11)

山崎 尚之

はい、文化財係です。(16) 荒川放水路の建設と感旧碑

佐藤 貴浩

◇624 2020.2 A4 4p

舎人八景 奉納絵額に見る豊かな地域

荻原ちとせ

元禄検地帳(1)

多田 文夫

新聞に見る綾瀬川の水害

山崎 尚之

はい、文化財係です。(17) じんがんなわ

佐藤 貴浩

◇625 2020.3 A4 4p

はい、文化財係です。(18) 八代目市川團十郎奉納 木造提灯扁額

佐藤 貴浩

綾瀬・吉田家文書の紹介(4) 元禄検地帳(2)

多田 文夫

行政文書に見る足立区の水害記録(12)

山崎 尚之

◇626 2020.4 A4 4p

悪疫退散の民俗

荻原ちとせ

行政文書に見る足立区の水害記録(13)

山崎 尚之

はい、文化財係です。(19) 鷹番廃止の高札

佐藤 貴浩

◇627 2020.5 A4 4p

綾瀬・吉田家文書の紹介(5) 元禄検地帳(3)

となりあう二つの村の石高について

多田 文夫

行政文書に見る足立区の水害記録(14)

山崎 尚之

文化遺産調査案内(1) 人物 酒井抱一と中村芳中

地域文化課文化遺産調査担当係

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇382 2020.1 A4 8p

文部科学省資料 終戦直後の日本の教育改革の原点 第二次訪日アメリカ教育使節団勧告書 要旨(6)

編・堀川和夫

日本橋七福神を巡る 宝田恵比寿神社／榎森神社・恵比寿／小網神社・福祿寿／水天宮・弁財天／松島神社・大黒天／末広神社・毘沙門天／笠間稲荷・寿老人

見聞録 岡山県の史跡旅 紅葉真っ盛りの三日間 閑谷学校／牛窓／備中松山城／城下町・備中高梁／吹屋ふるさと村

唐沢 邦子

「歴史さんぽの会通信」原稿からの借用

渡し船由来記 「なんと！佐野に渡し場？」

雨宮 秀治

平成12年足立16中学校調べ学習レポートから 千寿七福神を調べて

千寿七福神創設者永見富次さんのお話(今井)

西郷の墓地で大久保の法要「待った」 史談会役員の永田俊夫さんからの便りより／勝海舟と西郷留魂碑(矢沢)

「芭蕉像鎮座を記念 俳句と芭蕉の魅力を語る 俳聖の火・分火式も」

(足立朝日 令和2年1月5日(日曜日))

◇383 2020.2 A4 8p

大風で倒壊した橋本律蔵墓

森鷗外全集、河合栄治郎全集、「自由に死す一河合栄治郎裁判闘争記」

文部科学省資料 終戦直後の日本の教育改革の原点 第二次訪日アメリカ教育使節団勧告書 要旨(7)／終了するにあたって

編・堀川和夫

足立の先人譚 その一千住編・1 千住に地縁・周縁を結んだ人々

伊奈備前守忠次、高尾徳右衛門、増田淳、松尾芭蕉、正岡子規、高浜虚子、為成菖蒲園、岡本機柳、中村不折

相川謹之助

鹿児島だより 鹿児島に勝海舟歌碑(史談会だより1月号参照)

永田 俊夫

安藤義雄氏論考 控え

感旧碑に対する再認識(あらかわ学会年次大会'98)

安藤 義雄

「感旧碑」調査その後—荒川改修を追って

(あらかわ学会年次大会論考2001)

安藤 義雄

◇384 2020.3 A4 8p

長野市の時計 長野市若穂郷土史研究会から

戦後の教育改革／日本の教育改革(百年史編集委員会資料)(1) 編・堀川和夫

足立の先人譚 千住編・2 千住に地縁・周縁を結んだ人々 鏝絵の

名人伊豆の長八、大倉喜八郎、中村不折、永井荷風、石田波郷 相川謹之助

5月探訪・予告 行徳塩浜の道を往く 繁栄の跡を探す

安藤義雄氏論考 控え 旧利根川の再認識について(1992.4.22) 安藤 義雄

◇385 2020.4 A4 8p

知らぬ間に「学童疎開の碑」が「伝えたい忘れない 学童疎開の碑

先の大戦で舎人国民学校の児童が当校に疎開していたことを後世に

伝える」長野県南条小学校

日本の教育改革(百年史編集委員会資料)(2) 編・堀川和夫

足立の先人譚 千住編・3 千住に地縁・周縁を結んだ人々 村越辰

之助・撲父子、青山青果、伊能忠敬、貝原益軒、石出掃部介吉胤、

千葉さな、建部巢兆

相川謹之助

外出は自粛で・何をやる 以前の旅を振り返って

「芭蕉と岐阜」唐沢邦子

安藤義雄氏論考 控え 「荒川の舟運を考える」近世から近代の舟運

について(足立法人会報連載)

安藤 義雄

◇386 2020.5 A4 8p

学童疎開二題 学童疎開平和祈念碑／その2・寺地小の疎開碑

日本の教育改革(百年史編集委員会資料)(3) 編・堀川和夫

足立の先人譚 千住編・4 千住に地縁・周縁を結んだ人々

徳島屋忠左衛門、内田銀蔵博士、橋本律蔵、牧野菊之助

相川謹之助

安藤義雄氏論考 控え 「随筆 胞衣壺」

安藤 義雄

江北の不動様(平成9年1月1日・第十三地区だより)／火の見櫓(平成8

年1月1日・第十三地区だより)

小泉 健男

小泉健男氏がプロデュース、千住の商家の「年賀用の手拭」に記した

文章

#### ◆足立の学童疎開を語る会

◇18 2020.4 A4 4p

学童疎開平和祈念碑建立に向けて／戦後75年、長野県からの話題・3題

その1 若穂の「学童疎開」を記録に残す！ 長野市若穂郷土史研究会

その2 野沢温泉村から 信越線に揺られて野沢温泉へ疎開 鈴木 孝

その3 南条小学校に「学童疎開の碑」

◆アメリカ研究振興会会報

〒100-0006千代田区有楽町1-13-1 第一生命館内 TEL03-3201-2010

<http://www.amsf.or.jp>

◇80 2020.2 A4 14p

2018年度出版助成図書「自著紹介」

『外交と移民—冷戦下の米・キューバ関係』 上 英明

『北米先住民作家と〈核文学〉—アポカリプスからサバイバンスへ』 松永 京子

アメリカ研究出版助成図書の社会的反響について 油井大 三郎

『マルセル・デュシャンとアメリカ—戦後アメリカ美術の進展とデュ  
シャン受容の変遷』(ナカニシヤ出版 2015年度助成) 平芳 幸浩

『米国と日米安保条約改定—沖縄・基地・同盟』 (吉田書店 2016年度助成) 山本 章子

『アメリカ政治とシンクタンク—政治運動としての政策研究機関』 (東京大学出版会 2016年度助成) 宮田 智之

『アメリカ大統領と政権革新』(東京大学出版会 2016年度助成) 梅川 葉菜

『障害者雇用と合理的配慮—日米の比較法研究』 (日本評論社 2017年度助成) 長谷川 珠子

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇130 2019.12 A4 8p

表紙 改元を考える その参 〈和銅〉改元…武蔵国府も一役?!  
改元を考える その参 〈和銅〉改元…武蔵国府も一役?! 深澤 靖幸

最近の発掘調査 朝鮮半島、百濟地域との関係がうかがえる土器  
宮島三丁目・本町一丁目 湯瀬 禎彦

NOTE 浅野長政と中世土豪の屋敷 深澤 靖幸

府中の身近な昆虫絵巻(7) テントウムシの冬眠と夏眠 中村 武史

展示会案内 特別展 ご臨終—江戸時代の死・病・あの世— 花木 知子

平成史に残る天文・宇宙イベント(3) 二度の火星大接近! 相澤 南美

◇131 2020.3 A4 8p

表紙 改元を考える その肆 「明治」改元で一世一元制へ  
改元を考える その肆 「明治」改元で一世一元制へ 花木 知子

最近の発掘調査 透かし飾りのある火打金を発見 美好町3丁目 野田憲一郎

NOTE 多摩川は、なぜ玉川か—タマ川の名称由来小考 小野 一之

府中の身近な昆虫絵巻(8) キラわれ者の悲哀	中村 武史
特別展 日本星景写真協会写真展「星の風景」	本間 隆幸
平成史に残る天文・宇宙イベント(4) 記憶に残る彗星	小林 則子

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0075板橋区桜川2-27-3 大澤鷹邇方 TEL03-5398-2682

1966年創刊 <http://www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/>

◇303 2020.2 B5 40p

表紙写真解説 桜川御嶽神社のオビシヤ	写真と文・井上富夫
名づけのフォークロア―「キラキラネーム」をめぐる	松崎 憲三
上板橋第四国民学校助教初任の頃―終戦前後の忘れられないこと	加藤 恵子
緑のカーテン(4・終)―被災地に届く緑と絆のプレゼント	松浦 勉
板橋区文化財情報 旧粕谷家住宅・板五米店	文責・井上富夫
板橋区文化財瓦版 六蔵祠の洪沢栄一扁額	井上 富夫

◇304 2020.5 B5 20p

表紙写真解説 一九六四年のレガシー 新東埼橋	写真と文・井上富夫
板橋史談会行事予定(令和2年6月～9月)	
常盤台天祖神社文書について(1)	
―太平洋戦争(大東亜戦争)奉告祭通知文	小林 保男
板橋区文化財情報 令和元年度板橋区登録文化財の決定について	文責・井上富夫
板橋文化財瓦版	
乗合自動車「円太郎バス」が国の重要文化財指定に	発信・井上富夫

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <https://www.okumusashi.club>

◇431 2020.1 B5 26p

始まりと終わりと誰もが奥武蔵?	小泉 重光
岩殿観音と岡部氏・後編	小泉 重光
北岳のニアミス譚	町田 尚夫
山徒然(9)	関口 洋介

◇432 2020.3 B5 45p

《藤本一美氏追悼号》

追悼 藤本一美氏	
山岳展望を“経験から科学へ”	田代 博
藤本一美さん 山と街で	横山 厚夫

展望スケッチの藤本さん  
終活の段取りが良すぎました  
藤本さん、もう一度会いたかった  
藤本一美さんを悼む  
(一財)地図情報センターで活躍された藤本一美先生  
故藤本一美氏をしのぶ—地理教育研究会との関係を中心に  
藤本一美さんを悼む  
藤本一美さんに感謝を込めて  
“藤本一美先生”であること—藤本先生の追悼に寄せて  
藤本先生へ さようならは言いません  
藤本一美先生とクナーク山の会  
ああ藤本さん 残念です  
藤本さんとの午後のビール  
平成の初三郎・藤本一美さん  
藤本さん 有難うございました—奥武蔵研究会と別の登山活動など

大森 久雄  
打田 鉄一  
高橋 秀行  
水野 勉  
水谷 一彦  
小林 汎  
鮫島 員義  
速見 克美  
石堂 弘  
石川 友子  
日下部俊子  
源田 始  
加藤 恒彦  
成川 茂雄

追悼  
藤本一美先生を偲んで  
思い出はあれこれと  
藤本先生を偲んで  
藤本先生のこと  
追悼 初めてで最後の出逢いと本の奇跡  
その日(10月26日)、偶々手にした「展望の山旅」  
追悼 藤本先生  
藤本先生が危惧されていたこと

町田 尚夫  
遠山 元信  
関口 洋介  
吉田美知子  
大川 満代  
大澤 昭美  
吉野 誠弥  
河野 尚久  
中塚智恵美  
小泉 重光

◇433 2020.5 B5 23p

令和を襲う新型コロナの禍  
野生からのメッセージ—和名倉山  
秩父の迦楼羅  
官ノ倉山周辺の尾根を探る  
2019年 奥武蔵・秩父地域に於ける山岳遭難

小泉 重光  
矢口 益男  
野口 実  
吉田美知子  
町田 尚夫

◆解放研究／明日を拓く 東日本部落解放研究所

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1993年創刊

<http://www.hblri.org>

◇31/124 (44-4 通207) 2020.4 A5 188p 2000円

扉 大宮市域文書「瀬兵衛一件」より	
近代栃木県の部落問題—解放・融和の運動	竹末 広美
一九世紀の皮革国産政策と「革師」	
—「革師」清蔵・清作父子の企図と挫折	浪川 健治
史料紹介 解題「秘系由緒伝」—「乞食頭」の由緒とその論理／解題	
「秘系由緒伝」／解題「天保凶年秋田南部日記—乞食頭丁助報告綴」	
／翻刻「乞食頭丁助報告綴」	浪川 健治
「部落」呼称の定着過程と被差別民呼称	太田 恭治
幕末期 長吏身分・権威主義的小頭支配(内なる身分制)に抗する人々	
	松本 勝

#### ◆北区飛鳥山博物館研究報告

〒114-0002北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133 1999年創刊

◇22 2020.3 B5 101p

特集 北区飛鳥山博物館の展示活動 2

視点1 Translation—研究成果を伝える	石倉 孝祐
視点2 Corporation—博物館と教育現場を結ぶ	鈴木 直人
視点3 Communication—会話を楽しむ	久保埜企美子
視点4 Release—収蔵資料を活用する	安武由利子
視点5 Connection—博物館と地域をつなぐ	山口隆太郎
小山酒店寄贈資料紹介、および小山酒店について	田中 葉子
北区飛鳥山博物館における主体的な学びに関する取り組み	工藤 晴佳

年 報

博物館の概要 沿革／施設・設備／組織

博物館事業報告 平成30年度博物館普及事業の概要(続)／平成31年

度博物館普及事業の概要

文化財保護事業報告

報告1 「旧赤羽台団地」・「稻荷湯」の登録有形文化財(建造物)

の登録について

文責・山口隆太郎

報告2 旧松澤家住宅の屋根修理について

文責・山口隆太郎

報告3 中央図書館赤レンガ棟100周年記念事業

文責・田中葉子／山口隆太郎

平成31年度古文書調査報告(概報)

文責・田中葉子

平成31年度民俗調査報告(概報)

文責・田中葉子

指定文化財一覧表(国・都・区)・台帳登載文化財一覧(区)・文化

財説明板一覧(平成2年3月現在)

◆北区史を考える会会報

〒115-0052北区赤羽北1-3-10 大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊

◇136 2020.2 B5 8p

第38回定期総会 報告・山田美登里  
寄稿 旅券(パスポート)こぼればなし 大澤 栄美  
第442回 月例研究会 第35回赤羽文化センター祭(10月19日～20日)

出店報告 赤羽工兵隊の足跡(Ⅱ)後編 上野 基次  
第443回 月例研究会 滝野川八幡神社の一年とその歴史的経緯 有馬 純雄

◇137 2020.5 B5 8p

第444回 月例研究会 北区制70周年記念DVDの写真を語り合う 黒川 徳男  
第445回 月例研究会 北区の区画整理と区画整理碑 本間 孝夫  
第446回 月例研究会 昭和40年代北区のDVD上映会 榎本 龍治

◆郷土史 八王子市川口郷土史研究会

〒192-0151八王子市上川町3160-9 車田勝彦方 TEL042-654-3101

◇41 2020.3 B5 10p

令和という時代 表紙:上川子ども獅子(撮影・伊藤勝之) 瀬沼 秀雄  
平成三一年度総会・懇親会 創立四〇周年を祝う 車田 勝彦  
平成31年春の見て歩き 大久保長安と産千代稲荷神社 福島 忠治  
第26回透谷祭 句と曲・親子二代の縁 中嶋 丈史  
本の紹介 久保喜一『川口むかしむかし』 郷土史への身近な視点 古坂 容子

「はちとび」市民歴史講座 八王子自由民権運動の底流  
「絹の道」を辿った済民思想 岡村 繁雄

市民自由講座 八王子市生涯学習センター川口分館共催  
地域出版50年 橋本義夫と揺籃社の歩み 清水 英雄

五輪塔破片から見えた郷土の歴史 伊藤 弘一

平成30年度川口中学校の地域学習 地域の誇りを語り継ぐ 齋藤 三男

秋の史跡巡り B29エンジンの残骸に思う 玉利 勝範

活動報告 一年を振り返る 車田 勝彦

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188

◇216 2019.12 A4 8p

儀事スケッチ 新年の祭事 生命が活気づく日本列島の新年の祭 玉  
せせり 福岡県福岡市東区箱崎 宮崎宮、をけら祭 京都府京都市  
東山区祇園町北側 八坂神社 写真・文 渡辺良正

特集 大和の正月行事から

吉川 雅章

会員を訪ねる 祐徳稲荷神社／沼名前神社

レポート

生活芸術講座(第1回)(儀礼文化講座 令和元年度第3回)

茶道 「お茶から探る儀礼の心」 講師：田中仙堂

儀礼文化講座(令和元年度第4回) 神道

「大嘗祭—日本人と稲作文化、皇室の祭祀—」 講師：松尾恒一

儀礼文化講座(令和元年度第5回) 修験道

「修験道の歴史とその修行」 講師：中山郁

◇217 2020.3 A4 8p

催事スケッチ 青柏祭 日本一大きいと自慢の山車を曳き回す

石川県七尾市山王町 大地主神社 祭日：5月3日～5日 写真と文・渡辺良正  
催しものレポート 第二十九回関西支部 秋季学術大会 栗田恵津子

レポート

生活芸術講座(第2回)(儀礼文化講座 令和元年度第6回)

短歌 12月8日(日)「万葉集と大和」 講師：上野誠

儀礼文化セミナー(令和元年第2回) 仏教「天台会拝見」

井上 博也

儀礼文化セミナー(令和元年第3回) 能狂言「能狂言の鑑賞」

龍口 智子

#### ◆記録と史料 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 寒川文書館 TEL0467-75-3691

1990年創刊 <http://www.jsai.jp>

◇30 2020.3 B5 125p

特集 会誌『記録と史料』30号記念

史料保存と文書管理の30年を振り返って

特集にあたって

広報・広聴委員会

公文書管理、平成の30年と今後の課題

梅原 康嗣

阿波根昌鴻資料調査会の活動について

富善 一敏

地方文書館の30年これまでとこれから—徳島県立文書館を素材に

金原 祐樹

和歌山県と河内長野市における資料保存

鎌田 和榮

民間資料の所在調査について—北海道の場合

山田 正

日本のアーカイブの30年を振り返る—公文書と地域史料をめぐって

辻川 敦

アーカイブズとアーキビストに関する覚え書き

—私文書の作成支援からの提案

志度寺／毛塚万里

自治体立文書館における翻刻事業に関する一試論

柴田 知彰

アーキビストの眼 2019年度 公文書館機能普及セミナー in 山形	
“求められる公文書館機能の姿とは”の記録	飯島 章仁
公文書館機能普及セミナー参加記	河津 陽美
令和元年度公文書館機能普及セミナー in 山形に参加して	田中 大輔
世界の窓	
バルト三国のアーカイブズ	加藤 聖文
事例報告：米国の州立公文書館と民間アーカイブズー普及（利用の 促進・連携）等についてのインタビューをもとに	浅野 真知
国際連盟アーカイブにみる1930年代の文書事務ー1933年3月27日付 国際電報@国際連盟アーカイブを考察する	小川千代子
ウィルミントン大学平和資料センターとターニャ・マウス博士につ いて	筒井 弥生
アーカイブズ・ネットワーク	
埼玉県立文書館のリニューアルオープン	太田 富康
愛媛県西予市における水損行政文書レスキューとその後	高木 邦宏
中国四国地区文書館等職員連絡会議について	嶋田 典人
書評と紹介	
上島有著『新しい中世古文書学ーアーカイブとしての古文書(総論 篇)』	福嶋 紀子
新藤宗幸著『官僚制と公文書ー改竄、捏造、忖度の背景』	川田 恭子
長井勉著『公文書館紀行(第二弾)』：取材から見えてきた「今、問 われる公文書」	定兼 学
地方史研究協議会編『学校資料の未来ー地域資料としての保存と活 用』	富岡 勝
吉本先生を偲ぶ	高野 修
会員刊行物情報ー文献案内 Part29	

#### ◆現在学研究 現代学研究会

〒146-0091大田区鶴の木2-33-8 2018年創刊

◇4 2020.3 A5 82p

斬り合いの果て：『明治九年神風党暴動時刀創図』にみる刀創と太刀筋

	吉村 風
作られる女性性：「女らしさ」は誰が作るか	倉石 美都
保育園の年中行事	高久 舞
円寂するイエ：「墓じまい」と「イエじまい」	天地 弘
書評 上野誠著『万葉学者 墓をしまい母を送る』	倉石あつ子

◆交通史研究 交通史学会（発売：吉川弘文館）

〒161-8539新宿区中落合4-31-1 目白大学社会学部地域社会学科  
鈴木章生研究室気付 1976年創刊 <http://www.kotsushi.org>

◇96 2020.3 A5 108p 2500円

- 講演録 古代の交流と文字・信仰—擦文社会と異文化交流 鈴木 靖民  
琉球人往来人馬役の変遷—近江・美濃・三河を中心に 飯沼 雅行  
「満洲国」期の南満運河計画と鉄道輸送 三木 理史  
研究動向 「平成の大合併」後の自治体と大手私鉄経営史研究  
—愛媛県西条市の取り組みを中心に 鴨頭 俊宏  
新刊紹介 青木真美著『ドイツにおける運輸連合制度の意義と成果』山根 伸洋  
例会報告要旨  
2019年度第2回例会  
古代東山道研究の現状—故木本雅康氏の業績紹介を中心に 中 大輔  
2019年度第3回例会  
公用通行を支えた萩藩八幡改方をめぐる議論の再検討 鴨頭 俊宏  
ドイツの運輸連合と公共交通 青木 真美  
巡見報告「暗越奈良街道と天理参考館・企画展見学」 常任委員会

◆城郭史研究 日本城郭史学会（発売：東京堂出版）

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 Tel.03-3967-1948 年6000円  
1968年創刊

◇39 2020.3 B5 120p 2700円

- 近世西尾城の成立と変遷 伊藤 尚武  
陣屋の再検討—二〇一九年度日本城郭史学会大会基調報告を基に 笹崎 明  
調査報告  
北海道島牧村大平川河口に所在するチャシ跡の発見について 田代 雄介  
恵那市明智町所在の城郭遺構調査概要報告 大竹 正芳  
加越国境における一向一揆の守備体制  
—加賀守護富樫政親との決戦に備えて 高井 勝己  
碎玉類題  
常陸 木原城 坂井 尚登  
史跡ユクエピラチャシ跡について—現地での案内の様子から 大鳥居 仁  
城郭史関係文献目録 阿部 和彦

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 Tel.03-3967-1948

年6000円 1993年創刊

◇108 2020.1 A4 8p

首里城正殿等の再築計画—国と沖縄県が復元協議

9月・11月見学記 要害城・熊城／稲村城・館山城 井口 彰

琉球王国のグスクを訪ねて—二〇一九年度日本城郭史学会旅行報告 町田 仁史

最近の城郭ニュースから 駿府城で豊臣期天守台石垣を確認

◇109 2020.4 A4 6p

江戸時代の松本城詳細絵図—長野県生坂村の古民家からみつかると『信濃毎日新聞』2月14日記事より)

最近の城郭ニュースから 坂本城、意外に狭い?／平松城の調査終了

／島原の乱攻防の図／明治初年の江戸城12枚写真見つかると

武蔵 松山城・青鳥城の見学—二月見学会から

#### ◆常民文化 成城大学常民文化研究会

〒157-0066世田谷区成城6-1-20 TEL03-3482-1181 1977年創刊

◇43 2020.3 A5 46p

評判やつきあいという「家産」—千葉県館山市神余の稲作から

玉井 里奈

レヴィ=ストロース予想について—「真正性の水準」とは何か

木下 聖三

#### ◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇279 2020.1 A4 8p 400円

聞き書き「荻窪の昔」(1) 田代弘興さんの話(光明院)(2013年6月)

／峯岸誠さんの話(2016年10月)

新倉 毅

歴史資料の取り扱い

駒見 敬祐

西住戦車隊長を御存知ですか

寺田 格郎

龍土軒

新村 康敏

御大典

新村 康敏

◇280 2020.3 A4 8p 400円

戦時中の国民学校運動会

寺田 格郎

昭和18年10月12日 桃井第一国民学校 運動会(写真9葉)

東京文化財ウィーク二〇一九

御朱印寺妙正寺から天沼熊野神社を歩く

服部 建人

速見融先生 逝去

速見融先生のこと

浅見 雅男

私の本棚から(58)

すごい古書店 変な図書館 井上理津子著 祥伝社新書 木村 輝郎  
◇281 2020.5 A4 8p 400円  
青梅街道のむかし 真板 道夫  
聞き書き「荻窪の昔」(2) 都筑修治さんの話 新倉 毅

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会

〒111-0042台東区寿2-9-9 北村国男方 TEL03-3844-2008 年3000円  
1987年創刊 <http://ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/>  
◇67 2020.4 A4 8p  
はじめに 岡部 恒雄  
隅田川大学公開講座 講演会「リバープール東京と大阪水の回廊」  
講師：平野直樹  
第28回神田川サミットに参加して 藤原 隆  
佐藤武レポート ①隅田川の絶滅危惧種解除 ウラギク／②テラス内  
に伐採禁止の看板 第六建設事務所の創意か  
隅田川大学実践俳句講座 『隅田川大学実践講座「俳句を創ろう」』  
講師：岡部恒雄

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊  
<http://seikouminzoku.sakura.ne.jp>  
◇249 2019.12 B5 27p  
動物園にみる慰霊祭—都立井の頭自然文化園を中心に 松崎 憲三  
茨城県小美玉市竹原のアワアワ祇園祭—御神体漂着再現の祭 近江 礼子  
富山県南砺市利賀村上百瀬の怪異譚 森 俊  
中山太郎収集詫状類の解説—全二一六通の翻刻を開始しての手控え 星野 岳義  
◇250 2020.3 B5 33p  
コトヨウカのササガミと堆肥塚の祭祀 久野 俊彦  
ササガミと福神 立石 尚之  
群馬県下における「地神信仰」について  
—「地神様の春秋の往来」伝承を中心に 井田 安雄  
神津島の正月二十四日行事 大島 建彦  
弥三郎婆と十二月八日—会津地方の事例から 石本 敏也  
清めの雨追加 小池 淳一  
大杉大明神の飛来と法民俗学—神なき時代の神去来として 星野 岳義

◆戦国史研究 戦国史研究会（発売：吉川弘文館）

1981年創刊 <http://www.sengokushi-kenkyukai.jp>

◇79 2020.2 A5 50p 682円

天正期における白河一族善七郎と南陸奥の地域秩序 戸谷 穂高  
本願寺・加賀一揆と上杉謙信一敵対から和睦・提携への道程 竹間 芳明  
大阪歴史博物館所蔵「伊勢貞孝等連署状」紙背について 木下 昌規  
小牧合戦における「民部少輔」の人名比定とその動向 小川 雄  
戦国史関係論文目録(平成31年1月～4月、令和元年5月・6月)  
例会報告要旨

第475回例会 戦国期鷹図の贈答をめぐる文化構造 水野 裕司  
第476回例会 山梨県立博物館所蔵文書見学 文責・事務局  
第477回例会 戦国期の公家権門と荘園制—九条家を中心に 廣田 浩治  
第478回例会 織田信長の平氏改姓 島田 裕司  
第479回例会 戦国前期の庄内と上杉氏 中村 亮佑  
第479回例会  
天正年間における上杉景勝と南奥羽一取次をめぐって 阿部 哲人  
第479回例会 致道博物館所蔵文書見学会 文責・事務局

◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報

〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 寒川文書館 Tel.0467-75-3691

<http://www.jsai.jp>

◇107 2020.3 B5 64p

《第45回 安曇野大会特集号》

大会テーマ「『文書館』をつくる一市町村が拓くアーカイブズ活動」

開会行事

会長あいさつ 高木 秀彰  
開催地あいさつ 中山 栄樹  
共催者あいさつ 笹本 正治

記念講演会 時を貫く記録を活かす—令和の時代に公文書館が望まれること 加藤 丈夫

委員会報告 基礎自治体における公文書管理の実態調査について

嶋田典人／嵐大二郎

大会テーマ研究会「『文書館(ぶんしょかん)』をつくる一市町村が拓くアーカイブズ活動—」

大会趣旨説明 大会・研修委員会  
報告

安曇野市文書館の開館について

—公文書館機能ミニマムモデルの活用 青木 奈保

長野県内市町村の「公文書館機能ミニマムモデル」を活用した実  
態調査について 新井 浩文

市民要望としての公文書館設置  
—上田市公文書館の設置などについて 小平 千文

ポスターセッション

研修会

視察1(松本市文書館・安曇野市文書館) 末次 啓子

視察2(真享義民記念館・安曇野市文書館・豊科郷土博物館) 松野 准子

アーカイブズ入門 小松 芳郎

戦後社会運動のアーカイブズとして

～立教大学共生社会研究センターの経験と課題 平野 泉

市町村の公文書管理—アーキビストの前方進出の視点から 櫛原 直樹

地域史料の危機管理—長野県における史誌編纂事業との関わり 村石 正行

大会参加記

安曇野大会に参加して 吉岡 徹

全史料協長野大会参加記 金子久美子

第45回全史料協全国(安曇野)大会を終えて 煙山 英俊

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://daidogei.info>

◇338 2020.1 A4 2p 100円

江戸の正月 初日の出／新年の祝い／恵方参りと年籠 初縁日詣／鳥  
追いと小鱈の鰯売り／扇箱買いと餅網売り／節分の太鼓

◇339 2020.2 A4 2p 100円

江戸の春

◇340 2020.3 A4 2n,i9p 100円

『熙代勝覧』が載せる生業(10) 「室町二丁目」／傘持ち仲間と武士／  
棒手振／巡礼者？／笹屋／鷹匠／箍屋／僧侶一行と辻駕籠／瓶・壺  
／本屋？／振り売り／盲目者／十軒店雑市(『熙代勝覧』)／二八蕎麦  
と二八饅頭

◇341 2020.4 A4 2p 100円

『熙代勝覧』が載せる生業(11) 「室町二丁目北側」／小間物売り／太  
神楽(丸一派)／薦を着た乞食／たばこ売り／調合売り／乞食芸人／

琵琶法師(以上『熙代勝覧』)  
居合拔きの熊胆丸売り(『絵本艶庭訓』)  
◇342 2020.5 A4 2p 100円  
わいわい天王  
津島牛頭天王社

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊  
<http://tamatiken.web.fc2.com>

◇139 2020.1 B5 6p

第106回例会報告 第106回例会「古代の武蔵国府と大國魂神社、近世  
の府中御殿を探る」を終えて 梶原 勝

◇140 2020.2 B5 8p

第107回例会報告 多摩の中世城館を歩くXII 滝山城 西俣 総生  
地域史情報室 稲城市 第12回ふるさと郷土芸能まつり 情報提供・進藤重孝  
新刊紹介 アジア国際切手展 THAILAND 2016 大銀賞 受賞作品  
近辻喜一著『多摩の郵便の歴史 近辻喜一コレクション「多摩の郵  
便印」』 梶原 勝

訃報 池田昇さんの逝去を悼む 梶原 勝

◇141 2020.4 B5 8p

研究ノート 西多摩における美術品、重要文書等の戦時疎開について  
一日の出町羽生地区を中心に 羽生 謙五

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊  
<http://www.tamashin.or.jp>

◇177 2020.2 A5 104p

グラビア 赤色立体地図で空中写真を立体的にみる

《特集 多摩の昔話》

檜原村の不思議な災害伝承 高津美保子

小平の昔話 小平民話の会

国分寺の昔話 岩崎 文子

八王子地方に伝わる昔話 吉田 美江

奥多摩の昔話との出会い 荒澤 弘

洋風建築への誘い(66) ブルーノ・タウトとアンティークの部屋  
—旧南多摩郡(八王子市)にて 伊藤 龍也

- 建物雑想記(61) 日本家屋の文化複合施設・百才母屋 酒井 哲  
 古文書は語る(54) 宝暦箱訴事件と農民たちの決意  
 一北島家文書「運上増永免除出願連判状」より 馬場 憲一  
 多摩の金融史(11) 立川信用組合の設立と発展 伊藤悠／小西雄大  
 多摩の歴史を立体視！一赤色立体地図の風景(4) 戦争末期の調布飛  
 行場、深大寺界限一赤色立体地図で空中写真を立体的にみる 大里 重人  
 本の紹介  
 久保田幸司編『青梅市の山車』 村野 公一  
 都筑区ふるさとづくり委員会編『図説 都筑の歴史』 望月 一樹

#### ◆調布市郷土博物館だより

〒182-0026調布市小島町3-26-2 TEL042-481-7656 1978年創刊

◇81 2020.3 A4 8p

- 平成から令和へー調布市の三十年を振り返る 土井 昭穂  
 平成三十一年度の展示から「たからおはち」と電極式炊飯体験 企  
 画展「お米にまつわる調布ものがたり」、昭和の電極式炊飯を体験  
 市川鏡琅の木彫制作～「星取り機」の使用 移動展「市川鏡琅・  
 悦也 父子展」、「星取り機」を用いた木彫制作 芝崎由利子  
 ラグビーワールドカップ2019 関連資料の収集について 芝崎由利子  
 新収蔵資料から  
 神代村に疎開した子供たちの手紙(平成三十一年度寄贈資料) 小堀 槇子

#### ◆調布の文化財 調布市郷土博物館

〒182-0026調布市小島町3-26-2 TEL042-481-7656 1986年創刊

◇60 2020.3 A4 8p

深大寺慈恵大師坐像が都有形文化財に指定されました！

表紙：深大寺所蔵・木造慈恵大師坐像

新指定の文化財

- 東京都指定有形文化財(彫刻)「木造慈恵大師坐像」 立川 明子  
 調布市指定有形文化財(典籍)「紺紙金字法華経開結共」 長瀬 出  
 文化財講演会抄録 菱沼沙織氏(深大寺教化部学芸員)「深大寺の文化  
 財ー深大寺文書と吉田包春資料を中心にー」

#### ◆伝え 日本口承文芸学会

〒168-8508杉並区大宮2-19-1 高千穂大学 立石展大研究室

TEL03-3317-4077 年4000円 1987年創刊 ko-sho.org

◇66 2020.2 B5 4p

昔話の語りと研究の今後

佐々木達司

第77回日本口承文芸学会 例会報告

シンポジウム：野村純一論—その研究手法と業績

内藤 浩誉

日本の新しい語り手たち

樋口 淳

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548/  
〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇200 2020.1 A4 6p

重要な提案ですので必ずお読みください

当学会の名称変更についての提案

八木 司郎

産業遺産を訪ねて(24) ベンベルグ紡糸機

一東京農工大科博所蔵のハンク式紡糸機

文・写真 平井東幸

報告 講演会「鉄鉱石利用のたたら製鉄に成功」

文・原田 喬

報告 研究会「化繊工業の歴史とその産業遺産」

文・平井東幸

報告 講演会「コレラの薬盛衰記」

文・写真 奥原一三

文献紹介 『博物館と観光—社会資源としての博物館論』 青木豊・中

村浩・前川公秀・落合知子編著

多田 統一

茨城県古河市の赤煉瓦建築物(2) 「青木酒造煉瓦塀及び煉瓦蔵」

文・写真 八木司郎

◇141 2020.3 A4 6p

報告 2020年度総会・研究大会・記念講演会の概要

文・奥原一三

報告 講演会「碓井峠の鉄道遺産とパイプライン」

文・写真 奥原一三

文献紹介

『日本の神社博物館』 青木豊編 雄山閣発行

多田 統一

『東京カイシャハッケン伝 GUIDE 18』 東京都産業労働局雇用就業

部就業推進課編集・発行

多田 統一

報告 見学会「ニコプロ2019」

文・多田統一

産業遺産を訪ねて(25) 樫尾俊雄発明記念館—カシオ計算機創業者の

一人・樫尾俊雄のプライベート記念館

文・写真 平井東幸

茨城県古河市の赤煉瓦建築物(3) 「古河市立第一小学校赤門」

文・写真 八木司郎

◇142 2020.5 A4 6p

訃報 小山徹前会長を偲んで

文・奥原一三

- 文献紹介 『図説精読 日本美の再発見—タウトの見た日本』 沢良子  
 編 ブルーノ・タウト著 篠田英雄豊訳 多田 統一  
 富山県初の鉄道、路面電車化へ—J R城端線と氷見線 文・写真 奥原一三  
 「いらぬものは造らぬ、大切なものは壊さない」 橋上かおる  
 文献紹介 『東京カイシャハッケン伝 GUIDE 18』 東京都産業労働局  
 雇用就業部就業推進課編集・発行 多田 統一  
 茨城県古河市の赤煉瓦建築物(4) 「関善商店煉瓦蔵」 文・写真 八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース

〒136-0073江東区北砂1-5-4 政治経済研究所 TEL03-5857-5631

年2000円 2002年創刊 <http://www.tokyo-sensai.net>

◇36 2020.2 A4 8p

館長ごあいさつ 吉田 裕

東京大空襲を語り継ぐつどい

東京大空襲・戦災資料センター開館18周年

夏休み特別企画の報告 比江島大和

さまざまなイベントの取り組み 特別展パネルディスカッション(7

月) 特別展「遺品が語る沖縄戦」/体験者が語るシリーズ企画「今

だから伝えたい、空襲・戦争のこと」(12月)

リニューアルオープン目前!! リニューアル小委員会

センターで体験を語って 佐藤 昌男

ガイドボランティアを体験して 尾辻 美枝

◆日本民俗音楽学会会報

〒190-8520立川市柏町5-5-1 国立音楽大学 山本幸正研究室気付

TEL042-590-0223 <http://www.s-jfm.org>

◇52 2020.3 B5 18p

巻頭言 民俗音楽の多様性 星野 紘

第33回埼玉大会報告 テーマ「民俗音楽の多様性—常民・在日朝鮮人  
 ・華僑華人」

第33回埼玉大会を終えて 島添貴美子

基調講演とシンポジウム

「多文化共生」における文化と人 有澤 知乃

在日朝鮮人、華僑・華人コミュニティと音楽への問い 磯田三津子

コメンテーターとして 岡部 芳広

研究発表余話

研究発表を終えて	岩井正浩／川内由子
民俗芸能「藤波の餅つき踊り」(上尾市)を観る	大西 敏仁
奥飯石神楽を守る	上西 律子
5年ぶりに大会での発表を終えて思ったことは	河瀬 彰宏
カメラレポート	福岡 正太
2019年度日本民俗音楽学会総会報告	岡部 芳広
会員の広場 福島の民俗芸能のいま 福島県民俗芸能復興サポート事業	
業：継承者研修会「出雲系神楽を学ぶ」	上西 律子
常置委員会からのお知らせ	
機関誌編集委員会	山本 陽子
調査・研究委員会	萬 司
行事企画委員会	河瀬 彰宏
事務局からのお知らせ	
小林公江副会長の御逝去にあたって	星野 紘

#### ◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TEL03-3977-3091 1956年創刊

##### ◇375 2020.1 A4 4p

豊島氏関係史料を読む 番外編 平安末～鎌倉期の豊島氏(4) 伊藤 一美

高札場 9月例会 東京二十三区を歩く(2) 中央区銀座界限／11月

例会 東京二十三区を歩く(2) 中央区銀座界限

練馬の城を往く(23) E大門(だいもん)、石神井台、練馬、高松 八巻 孝夫

三宝寺池の歴史(2) 葛城 明彦

##### ◇376 2020.4 A4 2p

三宝寺池の歴史(3) 葛城 明彦

5月例会 5月20日(水) 新緑の秩父札所巡り(3) 新型コロナで開催中止

高札場 1月例会及び令和2年度総会

5月例会 新緑の秩父札所巡り(3) 新型コロナで開催中止 神門寺  
／龍石寺／岩上堂／観音寺(矢之堂)／永福寺(童子堂)／音楽寺／法泉寺／久昌寺(御手形寺)／円融寺(岩井堂)

#### ◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014練馬区豊玉南3-24-4 飯塚芳男方 TEL03-3992-0264

年2500円 1987年創刊

##### ◇127 2020.3 B5 4p

第129回例会 練馬の寺社とその歴史  
第128回例会 地名と和歌等(前号続き)

葛城 明彦  
土屋 正孝

◆練馬古文書研究会会報

〒176-0022練馬区向山3-21 保戸塚太地方 TEL03-3999-8871 1985年創刊  
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/>

◇特集号 2020.1 B5 12p

《40周年記念特集号》

四十周年を迎えるに当たってのご挨拶  
練馬古文書研究会の活動について

栗山 格彰  
柴辻 俊六

「練馬古文書研究会」四十年の歩み(2020年2月現在)

「練馬古文書研究会会報」総目次

第1号(1985年6月)～第63号(2019年11月)

刊行物一覧 『西中山妙福寺文書』、『武蔵国豊島郡土支田村 小嶋家  
文書目録』、『御府内并村方日記』、『千川上水 今と昔』、『橋戸村五  
人組帳前書にみる江戸近郊の遺存のくらし』、『練馬ふるさと事典』  
会員の声

古文書研究会との出会い

長坂 淳子

古文書を学んで

中村 澄雄

古文書会のおもいで

安西 久

在籍の頃

蜷川 葉子

古文書の解読は過去の人と出会いである

保戸塚太地

◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1986年創刊  
<http://www.hblri.org>

◇97 2019.12 A4 14p

第33回研究・交流集会開催 9月7日～8日 埼玉県本庄市  
全体会《地元報告》埼玉の部落解放運動の現状と課題

小野寺一規さん

文責・宮崎海子

全体会《記念講演》埼玉水平社と児玉婦人水平社 吉田勉さん 文責・村田浩治

第1分科会 歴史

幕末期・権威主義的小頭支配に抗する 松本勝さん 「内なる身分  
制の解体」を主題化—松本勝さんの報告「幕末期・権威主義的小  
頭支配に抗する」に寄せて

文責・吉田 勉

神事舞大夫の職分と由緒 橋本鶴人さん

文責・井内秀明

第2分科会 教育 差別と向き合う一人権・同和教育の現状と課題

責任者：石川享助・片桐哲郎・篠崎剛・松浦利貞 報告1「fight or flight～南葛での1年」榎本雄弥さん、報告2「横浜外文研の取り組み」吉田浩司さん、報告3「同和教育運動をつないでいくために」石川享助さん

文責・松浦利貞

フィールドワーク 萬霊供養塔と猪俣百八燈

ガイド：中澤明子さん

文責・平嶋彰彦

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 大日方研究室内

1962年創刊

◇98 2020.2 B5 98p 1500円

《特集 うごかし、まなざす身体 1930～40年代における「運動」の諸相》

特集にあたって

民衆史研究会委員会

1920～40年代のスポーツ史像と民衆

坂上 康博

戦時期の体育政策における対象者の区分と奨励種目

一厚生省の四三年方針を中心に

鈴木 楓太

総力戦体制における人的資源としての朝鮮民衆

一スポーツの否定と兵動員の正当化へ

金 誠

江戸内湾東部の地場の海産肥料一貝肥料を中心に

長島 光二

書 評

春田直紀著『日本中世生業史論』

錦 昭江

白水智著『中近世山村の生業と社会』

小酒井大悟

小酒井大悟著『近世前期の土豪と地域社会』

谷 徹也

岩田真美・桐原健真編『カミとホトケの幕末維新 交錯する宗教世界』

佐野 智規

新刊紹介

海老澤衷編『よみがえる荘園一景観に刻まれた中世の記憶』

山口 啄実

朝幕研究会編『論集 近世の天皇と朝廷』

相良海香子

◆昔話伝説研究 昔話伝説研究会

〒150-0011渋谷区東4-10-28 国学院大学文学部 花部英雄(1107)研究室

TEL03-5466-0224 1971年創刊 <http://mukaden.tiyogami.com>

◇39 2020.3 A5 124p

鶴の機織り―「鶴女房疑義」に寄せて

中村とも子

説経『あいごの若』の善と悪

内藤 久義

長野県白馬村切久保諏訪神社の「七道の面」の伝説

一三種類の伝説集を比較して	西座 理恵
絵馬から馬が抜け出す伝承の諸相	玉水 洋匡
昔話「藁しべ長者」の主題と形式	花部 英雄
報告 飛鳥の「昔語り」	清野 知子
平成31年度・令和元年度日々の俗信・世間話	永島 大輝

◆明治維新史研究 明治維新史学会

〒261-0014千葉市美浜区若葉1-4-1 神田外国語大学 町田明広研究室

2004年創刊 <http://www.ishinshi.jp>

◇18 2020.3 B5 91p

横井小楠における「議論」と世界認識—道理・武威・一致	伊故海貴則
將軍後見職辞表にみる一橋慶喜の政治行動	加藤 弘之
公開講演記録 近世後期、堺の鉄砲ビジネス—鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門家資料調査によせて	藪田 貫

書 評

中元崇智著『明治期の立憲政治と政党—自由党系の国家構想と党史編纂』	長井 純市
吉岡誠也著『幕末対外関係と長崎』	若松 正志

新刊紹介

菅原彬州著『岩倉使節団と銀行破産事件』	刑部 芳則
岩田真美・桐原健真著『カミとホトケの幕末維新一交錯する宗教世界』	笹部 昌利
友田昌宏著『東北の幕末維新一米沢藩士の情報・交流・思想』	天野 真志
尾脇秀和著『刀の明治維新一「帯刀」は武士の特権か?』	落合 弘樹
後藤敦史・高久智広・中西裕樹編『幕末の大阪湾と台場—海防に沸き立つ列島社会』	神谷 大介
杉本史子編『幕末の大阪湾と台場—海防に沸き立つ列島社会』	平良 聡弘

大会記録 2019年度第49回明治維新史学会大会記事

岩本和恵氏「幕末期の政治と「御国益」論—盛岡藩と新渡戸十次郎を事例として」	天野 真志
安部玄将氏「文久期伊勢神宮の動向—朝廷との関係を中心に」	吉岡 拓
伊故海貴則氏「明治初年の「三河国十藩集会」と「公儀」	三村 昌司
濱田恭幸氏「三新法体制下における道路開鑿事業—府県域の変遷と府県土木事業の成立」	今村 直樹

◆郵便史研究 郵便史研究会

〒112-0011文京区千石2-42-7 田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円

1995年創刊 <http://www.yuubinshi.sakura.ne.jp>

◇49 2020.3 B5 58p 2000円

通信遺産巡検の旅とその可能性 板橋 祐己

日本軍事郵便の1次資料探求 鈴木 孝雄

郵便事業と公社化、民営化—郵政事業特別会計からグループ経営まで  
藤本 栄助

資料紹介

旧刊紹介(23) 『郵便讀本』 鈴木 克彦

郵政博物館収蔵 1964年東京オリンピック切手等の下図 星名 定雄

近刊紹介

稲敷市立歴史民俗資料館 常陸国・下総国・稲敷の便り～稲敷の郵

便史を紐解く 近辻 喜一

Mike Sullivan *MAIL RAIL From beginning to end* Oxfordshire 星名 定雄

伊藤真利子 郵政民営化の政治経済学 小泉改革の歴史的前提 星名 定雄

立原繁・栗原啓 欧州郵政事業論 星名 定雄

文化庁国立近現代建築資料館

吉田鉄郎の近代 モダニズムと伝統の架け橋 星名 定雄

2019年度総会・研究発表会の報告 板橋祐己氏「郵政遺産の旅—オーラルポスタルヒストリーの可能性」、鈴木孝雄氏「軍事郵便史研究の一次資料」、藤本栄助氏「郵便事業と公社化、民営化—郵政特会からグループ経営まで」 上遠野義久

## 神奈川県

◆厚木市史たより

〒243-0018厚木市中町3-17-17 厚木市教育委員会文化財保護課

TEL046-225-2060 2010年創刊

◇22 2020.3 A4 4p

厚木にも前方後円墳があった！ 望月 幹夫

古代愛甲郡の豪族 永井 肇

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0021小田原市早川160 青木良一方 TEL0465-22-8852

年3000円 1961年創刊 <http://odawara-shidan.hustle.ne.jp>

◇260 2020.1 A4 28p

講演録 小田原藩の藩政改革—中興の祖 大久保忠真

講師：馬場弘臣

聞き書き 山口隆夫・居原田邦男

小田原脚気事件をめぐるって

荒河 純

二宮尊徳と『論語』(10)

岩越 豊雄

片岡日記 昭和編(19) 昭和4年10月～12月

片岡永左衛門

中世の本佐倉城と近世の佐倉城を歩く

松島 俊樹

私の先祖調べ(未完篇)

鳥越銚之助

◇261 2020.4 A4 28p

岩倉使節団の女子留学生・永井繁子の生涯

武田 和文

小田原史談会・郷土文化館共催講座 「地域の歴史を調べよう一足柄

平野の梨業調査から」 講師：遠藤孝徳氏氏

『明治小田原町誌』に記録された明治二十年代までの伝染病関連記事

文責・荒河純

小田原市立図書館・閉館一長年のご利用ありがとうございました

野村 和弘

「小田原叢談」発刊によせて

石井 敬士

画家・井上三綱の芸術についてⅢ 筑後・井上三綱のルーツを訪ねて

田代 勉

活動予告 「現代の伝統行事を記録しよう」

保坂 匠

東国三社を巡る初詣

田中 豊

片岡日記 昭和編(20) 昭和5年1月～4月

片岡永左衛門

報告 北條五代記を読んだことがありますか

勝 四郎

岩越豊雄さん、論語の素読普及で文科省表彰

追悼文 「勝俣淳一郎さん—長い間の役員有り難うございました。」 鳥居泰一郎

◆鎌倉 鎌倉文化研究会

〒248-0016鎌倉市長谷3-11-2 観音ミュージアム内 TEL0467-22-6100

1959年創刊

◇127 2020.1 A5 122p 1500円

口絵 鎌倉の至宝(27) 鎌倉市指定文化財 石造 宝塔 一基 鎌倉

時代後期／十四世紀／別願寺蔵

三浦 浩樹

相武における白幡(白旗・白旗)神社

篠原 幸久

北条氏と阿蘇三社

河田登志夫

「見越の崎」考—万葉の歌枕を求めて

馬淵 和雄

足利持氏願文は「血書」か

谷口 雄太

『鹿山公私諸般留帳』(52)

三淵美恵子

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26  
2013年創刊

◇73 2020.1 A4 2p

女性が「手に職をつける」ことーモンタナ修道院の前史から 多和田真理子  
『平塚ゆかりの先人たち 第二集』を読んで (横松)  
女性史の会蔵書200冊のゆくえ (曾原)

◇74 2020.2 A4 2p

「かく子の家」で思い惑う(2) 前田 セツ  
平塚市博物館・藤沢浮世絵館を訪ねて (石崎)

◇75 2020.6 A4 6p

《コロナ特集号》

新型コロナ時代の出産事情 石崎 和子  
神奈川県医療従事者たちを応援する「がんばれコロナファイターズ」  
のステッカー (神奈川県HPより)

人への思いを抱いて 浦野 昭子  
「恬として恥じない」お上の下で Stay home 曾原 糸子  
コロナ禍の中で 清田 千佐  
自粛生活と10万円給付 高階志津江  
遠隔授業の日々 多和田真理子

疫病に関わるとされる妖怪「アマビエ」江戸時代後期の木版画 (京  
都大学貴重資料デジタルアーカイブ「新聞文庫・絵」より)

アマビエをモチーフにした厚生労働省のアイコン (厚生労働省HPより)

女性指導者の国では 西 弘子  
この間のこと 本多 順子

約90年前の、マスク着用を呼びかけるポスター (「スペイン風邪」流  
行期) (内務省衛生局編『流行性感冒』1922 より)

コロナ禍真只中 前田 セツ

新型コロナウイルスと私 山根 信子

「三密」回避を呼びかける厚生労働省の啓発資料 (厚生労働省HPより)

「三密」回避啓発のためのピクトグラム (厚生労働省HPより)

コロナと生活習慣 横松佐智子

今 私に出来ること 渡邊 公子



\*新型コロナウイルスの蔓延で、全国の研究団体の活動が休止を余儀なくされている。かまくら女性史の会も3月以降の例会は全て中止し、会員同士会うこともなく、また、図書館が休館やサービス縮小となったため、調査・研究にも支障を来しているという。毎月発行していた『Newsletter』も滞っていたが、12名の会員がこの間どのような日常生活を送り、何を考えていたかを、いわば手記として短く綴った「コロナ特集」により、通常の2頁から6頁に増頁して3か月ぶりの発行となった。

息子夫婦が出産したクリニックの様子。幼い頃の戦争中の様子と重ね合わせて平和へ思いを寄せたこと。朝食を済ませて新聞に目を通し、孫の宿題の手伝い、友人知人から送られて来た論文などを読んで過ごした一日。コロナに負けなための体力づくりには栄養バランスが大事と食事に気を付けているうちに、かえって2キロも太ってしまったこと。調停委員であった経験から、困窮者への思いに欠ける給付金政策への憤慨などである。また、いわれなき差別を受ける医療従事者と家族を支援するための神奈川県のステッカーなど、関連する資料画像6点も登載している。手記、画像資料共、同時代の社会・生活史資料として貴重である。一堂に会しての例会などが困難な状況の中でも、こうした活動、記録ができるのだと考えさせられ、敬服する。各地で広範に行われることを期待したい。

◆郷土誌 葉山 葉山郷土史研究会

〒240-0112三浦郡葉山町堀内1874 葉山市立図書館内 葉山まちづくり協会  
Tel046-876-0421 2004年創刊

◇14 2020.4 B5 119p 1000円  
《『葉山町の歴史とくらし』拾遺その4》

巻頭言

御用邸と葉山町民一令和になってふりかえる

内藤 範子

編集部(池田京子)

特別寄稿 商店の広告「ふきん」と葉山―「てぬぐい」の商業化をめ	
ぐって ふきん提供：山本三津子／収集：鈴木雅子	内海 孝
太平洋戦争末期から戦後の長柄 石井重太郎「農業日誌」(3)	鳥居 信吉
講評 『郷土誌葉山』第13号を読んで	三澤 勝己
「浦回章綴」の紹介(町保有古文書から)	濱岡 辰紀
大正関東地震(大震災)の葉山の被害―新資料紹介(町保有古文書から)	鈴木 雅子
旧村井家葉山別荘「嶺秋荘」	関 和明
日露戦争中に葉山村が購入した国債(町保有古文書から)	小形 克宏
明治時代のある役人の交遊録 古文書講座への持参資料より	藤波勝次郎
味の素創業者二代目鈴木三郎助を支えた女性たちと「耕餘塾」	加畑千鶴子
当世風のトラブル明治の葉山にも	
放蕩息子、未決囚逃走、酒酔い喧嘩(町保有古文書から)	藤波勝次郎
上地の記憶(葉山の地名散策)―私の地名散策(2)	松元 岑生
葉山のお不動さん(不動明王)	今井 俊夫
船村徹と葉山の歌	寺山ルリ子
水留家(本家・分家)所蔵史料目録について	塚越 俊志
特別寄稿 古文書を読み続けること	樋口 政則
一枚の写真から―曾祖父・矢嶋林蔵のこと	矢嶋 道文
町保有古文書整理事業の概要	鈴木 雅子
葉山郷土史研究会の紹介	編 集 部

#### ◆県央史談 県央史談会

〒243-0033厚木市温水342 内藤佳康方 TEL046-247-1751 1961年創刊

◇59 2020.1 A5 40p

猪俣弥八、その追悼集『落葉』にみる人物群像・覚書	岩崎 稔
愛甲郡厚木町下河原の変遷	橘川 明
今年担当した史跡めぐり資料	荻田 豊
令和元年度事業報告 絵会・史跡めぐり	

#### ◆クロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二方 年1000円 1979年創刊

◇160 2020.2 B5 6p

三遠信美流れの結節点―限界の山村暮らしから(8) 農政官僚の訪れ	
た奥三河の断片―豪農古橋家と柳田國男の接点から	西海 賢二

◇161 2020.5 B5 6p

三遠信美流れの結節点—限界の山村暮らしから(9) 報徳思想の実践  
と周縁社会～三河尊徳(今尊徳)と称された古橋義真の人的交流から

西海 賢二

◆寒川町史研究 寒川文書館

〒253-0106高座郡寒川町宮山135-1 Tel.0467-75-3691 1988年創刊

◇31 2020.3 A5 75p

口絵 『寒川弘報』創刊号(昭和24年6月27日発行) 真田耿子家文書  
／旗本杉浦氏の旗印(当館所蔵「旗本杉浦家八阡石」より)

特集 広報にみる昭和と平成

特集にあたって	高木 秀彰
講演録「くらしにみる時代の変化」	加藤 厚子
展示記録「広報ちがさきにみる昭和と平成」	松隈 雄大
展示記録「広報さむかわの70年」	鳥養 圭美
資料紹介「弘報委員会関係資料」	鳥養 圭美
資料紹介「旗本杉浦家八阡石碑立御料地」	平尾 直樹
展示記録 県営住宅と岡田遺跡	高木 秀彰
表紙解説 相模川附高座郡村々庵絵図面(文政七年=一八二四、当館蔵、皆川邦直家文書)	

◆寒川文書館だより

〒253-0106高座郡寒川町宮山135-1 Tel.0467-75-3691 2007年創刊

<http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

◇27 2020.3 A4 8p

表紙 寒川駅前店舗のマッチ箱(当館蔵「三枝惣治氏マッチラベルコレクション」より)

資料紹介 寒川駅前店舗の広告マッチ	高木 秀彰
寒川文書館第30回企画展「県営住宅と岡田遺跡」	
資料保存ワークショップ 錆や傷みから記録を守る	

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下1階 Tel.045-251-3260

2008年創刊 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishioryo/>

◇37 2020.3 A4 12p

横浜における綴方教育	金 耿昊
横浜の旧日本軍施設(続)	羽田 博昭

伊勢佐木のお菓子屋さん(2)	平野 正裕
昭和初期の市民農園	百瀬 敏夫
開架資料紹介 乳幼児の福祉を求めて四十年	羽田 博昭

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044藤沢市辻堂太平台2-3-19-104 寺田兼方方 1980年復刊  
<http://shounankouko.jimbo.com>

◇157 2019.12 B5 20p

考古学が人を育てる	榊原 智之
Histrip ぶらり歴史遺産の旅(1)	榊原 智之
伯耆で暮らして(6) 国史跡上淀廃寺跡について	浜野 浩美
「発掘された日本列島2019」見学記	鯉淵 義紀
夏の勉強会	
『長柄桜山古墳群の築造背景について』を聴いて感じたこと	道前あや子
『三国志』見聞録	澤田大多郎
20世紀の第4四半期における遺跡の保存(1)一素描	中田 英
2018年藤沢市隣接市町考古学関係主要出版物一覧(1)	伊藤郭・編

◆地名と風土 日本地名研究所

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10 川崎市生活文化会館4階  
 TEL044-812-1106 1984年創刊 <http://chimei.people.co.jp>

◇13 (復6) 2019.3 B5 1800円

特集 消えた地名 陸奥・陸の奥の風土と地名

◇14 (復7) 2020.3 B5 206p 1800円

表紙写真 南砺波市相倉合掌造り集落。一九九五年に世界文化遺産に

登録。二〇棟の合掌造りの家庭が現存。／グラビア	写真・文 谷井進
巻頭言 地名を読む海辺の散歩—三百五十歩の小さな宇宙	金田 久璋
近江の大將軍	岡谷 公二
谷川健一先生の思い出	松橋 由雄
律令国家によるエミシの全国移配と蕨手刀	荒竹 清光
昆虫地名の由来—当て字と伝説地名解をめぐって	築根 照英
特集 越中—越中の中の国の地名と風土	
利賀村のはつうま行事—ハルコマ・門付け・来訪神	金田 久璋
富山県の「谷」地名を探る—富山県南砺市利賀村を中心に	森 俊
五箇山と利賀の地名の由来	浦辻 一成
万葉歌に残された地名—越中万葉歌を中心に	関 隆司

砺波地方の城館と地名	野原 大輔
越中高岡町の町名由来と高岡市	晒田 和子
加賀藩における十村組と郷庄保	野積 正吉
曼荼羅風土記—立山信仰と地名	佐藤 武彦
富山の山の神と山の怪異	石垣 悟
廃村した山村の地名—富山県南砺市(旧福光町)刀利の場合	加藤 享子
富山の自然地名を歩く	
—富山の海・野・山に見る難読・難解地名から	中葉 博文
富山のくすり、その歩み—「反魂丹売り」から医薬品産業まで	二日市 健一
富山のLRTと地域再生の取り組み	小山 昌矩
柳田国男ゆかりの富山の土地と人	小田 富英
地名研究の先達(7)	
我が恩師、池田末則の人物像と「地名論(地名伝承学)」	中葉 博文
アイヌ語と地名(7) ヘロキカルシ〈鯨場所〉をめぐって	児島 恭子
地名談話室	
台風被害をきっかけに知った栃木の災害地名	相場 紀子
アイヌ語の「濁音」について	井口 利夫
「飯沼丹保」の「ホ」について	岡田 正彦
わが姓と地名について	水津 幸一
縄文アニミズムと人体語地名	永田 良茂
ハートロックは洋名か	延島 冬生
コラム	
追悼 関和彦先生のおもいで	犬丸慎一郎
砺波の「不風堂」	菊地 恒雄
布橋灌頂会の白い道	久保田 宏
黒部川物語—黒部四十八ヶ瀬から黒部川扇状地湧水群へ	村瀬 紀生
城端線はなぜ建設されたのか	福田 行高

#### ◆日本地名研究所通信

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10 川崎市生活文化会館4階

TEL044-812-1106 1993年創刊 <http://chimei.people.co.jp>

◇95 2019.12 B5 6p

地名の三題噺—現代歌枕考・災害地名・研究員制度	金田 久璋
「春日市の地名」発刊に寄せて	平田 善積
「日本橋川・神田川地名周遊」乗船記	相場 紀子
緑(みどり)は危険信号	菊地 恒雄

第三九回 全国地名研究者利賀村大会への誘い  
『谷川健一コレクション』資料収集の協力依頼

小田 富英

◆日本の石仏 日本石仏協会（発売：青娥書房）

〒224-0037横浜市都筑区茅ヶ崎南1-3-10-409 TEL0452-943-4409 年8000円

1977年創刊 <http://sekibutukyokai.jp>

◇169 2019.12 A5 64p 2000円

表紙 片木の観音さん 佐賀県藤津郡太良町

写真と文・中野高通

巻頭随想 現在の活動をお知らせしたい

坂口 和子

《特集 近世磨崖仏》

群馬県の磨崖仏

金井 竹徳

若越八十八ヶ所めぐり内にある磨崖仏

大久保 修

福島・大名倉山(大玉村)の消えた磨崖仏

田中 英雄

広島県尾道市周辺の磨崖仏

中森 勝之

佐渡・相川の平田磨崖仏

門田 春雄

石仏論考 丸石道祖神ノート(3)

一丸石信仰の展開(1) 江戸時代とそれ以前の形態

岡田 均

石仏探訪 宮亀年こぼれ話(2) 木遣會真棒

嘉津山 清

誌上講座 石仏入門(23) 月待塔・I

門間 勇

誌上講座 名号塔の知識(34) 名号ア・ラ・カルト

岡村 庄造

会員の広場

北限の磨崖仏 岩手県平泉町

梶田 道行

豊玉姫石像

殿南 直也

台風19号の爪痕 小剣神社織織姫立像災難?

門間 勇

主尊が柄香炉を持つ日蓮宗系庚申塔

伊東 英明

道しるべ

光野志のぶ

岩のほとけ

久野 秀晴

第123回石仏見学会報告 埼玉県所沢市 所沢市の石仏見学会 案内

者：門間勇氏（本文・写真 門間氏配布資料より）

日本石仏協会主催 一泊見学会報告 静岡県志太地域を中心とした石

仏及び神社仏閣を巡る 案内者：佐野雅基氏

三代川千恵子

第41回 石仏公開講座を終えて 第一講「石仏との出会いが私の人生

を変えた」榎村修治氏、第二講「安曇野の道祖神に人々が魅かれる

理由は？」窪田雅文氏、第三講「地域文化と石仏分布」浜田弘明氏、

第四講「熊本の石造物ーくまモンもビックリ！」前川清一氏

本の紹介 坂口和子著『裸足の訪問ー石仏の源流を求めて』

岡田 均

◇170 2020.7 A5 64p 2000円

表紙の写真 福袋を引く親子鼠 神奈川県横浜市泉区岡津町 永明寺

写真と文・長島誠

巻頭随想 令和二年(2020)創刊四十四年目の春

- 新型コロナウイルス禍のなかで 坂口 和子
- 《特集 熊本の石造物+九州》
- 第41回石仏公開講座より 熊本の石造物—くまモンもびっくり！ 前川 清一
- 御船眼鏡橋 嘉津山 清
- 「六地藏に観世音菩薩と阿弥陀如来」多久市内石仏調査より 藤井 信幸
- 大分県豊肥地区と臼杵市の石幢 高野 幸司
- 博多の石仏 清水 亨桐
- 鮎返り(ヤギヤイ)の滝へ—佐賀県藤津郡太良町・里山の秘仏探訪記 中野 高通
- 石仏論考 薩摩の石工 海老原源左衛門の狛犬
- 旧薩摩藩領に狛犬は少ないのか？近世石造物から眺める 川野 明正
- 石仏探訪 京都北西部における庚申塔 殿南 直也
- コラム 姫路市夢前町塚本の千体地藏 中森 勝之
- 本の紹介 川野明正監修『東京周辺 神社仏閣どうぶつ案内 神使・  
眷属・ゆかりのいきものを巡る』 中野 高通
- 第124回石仏見学会報告 東京都江戸川区東葛西の庚申塔めぐり
- 案内者：蔵由美氏
- 誌上講座
- 石仏入門(23) 月待塔・II 門間 勇
- 名号塔の知識(35) 熊野万歳峠の一遍名号 岡村 庄造
- 会員の広場
- 飛ばされた房総山頂の風神雷神山門 田中 英雄
- 「長須賀の地藏」私見 三明 弘
- なんとも哀れな墓石二題 門間 勇
- 日本石仏協会主催「石仏写真展2020」報告 中森 勝之

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852

年2500円 2003年創刊 <http://hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/>

◇66 2019.12 A5 136p 500円

足柄明神の神曲『足柄』から宮中雅楽『東遊』まで 田代 道彌

信長と秀吉は 今川 徳子

小田原藩領曾我部所村の太兵衛の仕法 尾上 武

酒匂だより 「棟(おうち)」	文と絵・町田紀美子
続・ボクの映画館(20) 「大列車作戦」	
略奪名画を巡るナチスドイツとの死闘	平倉 正
出合いの妙	石川 和彦
三木露風とマトン神父	下田 勝也
関東十八檀林記(9) 上総から常陸へ向かう道中	青木 良一
聲	芳賀喜久雄
失われた日本人(1) 増賀上人	茂木 光春

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊

◇622 (52-10) 2020.1 A5 24p 350円

韓国の統合データベースの普及と博物館協力網 上	松田 睦彦
描かれた野州鋏の資料性—図像は民具研究に資するのか(下)	石井 和帆
書籍紹介	

『三浦半島の漁撈用具 コレクション』 横須賀市自然・人文博物館  
編・発行

安室 知

『市川市の民家と町並み・家作職人』 市川市史編さん事業調査報告  
書 市川市発行

鈴木 通大

◇623 (52-11) 2020.2 A5 24p 350円

砺波平野の民具—田祭りと田楽あんどん	東出 紘明
東日本の牛馬耕普及と朝鮮牛(1)	桂 眞幸
書籍紹介	

名久井文明著『生活道具の民俗考古学—籠・履物・木割り楔・土器』

浜野 達也

名久井文明著『食べ物の民俗考古学—木の実と調理道具』

鈴木 通大

◇624 (52-12) 2020.3 A5 24p 350円

中山恒三郎家資料について	小林光一郎
韓国の統合データベースの普及と博物館協力網 下	松田 睦彦
第52巻総目次	

日本常民文化研究所 二〇一九年度活動報告より

◇625 (53-1) 2020.4 A5 24p 350円

中世舞楽面と雨乞儀礼	
—相模国大住郡下糟屋村の高部屋神社を事例に(上)	渡邊 浩貴
東日本の牛馬耕普及と朝鮮牛(2)	桂 眞幸

書籍紹介 『明石型生船 調査資料集・生船写真帖』	昆 政明
◇626 (53-2) 2020.5 A5 24p 350円	
女性が使用した乗物・駕籠の多様性	落合 里麻
一九六四年東京五輪の聖火台	宇田 哲雄
民具短信 疍の虫封じに用いられた木造鬼の念仏像	浜野 達也

◆悠久 鶴岡八幡宮悠久事務局

〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31 TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊

◇160 2020.4 A5 134p 680円

《特集 水運と信仰》

口絵 川絵図・海路図・船絵馬 関東川々絵図(東京国立博物館蔵)・  
西海海路図絵巻(愛媛県歴史文化博物館蔵)・船絵馬(青森県鯉ヶ沢  
町白八幡宮蔵)

エッセイ 天下一の香木	三條西堯水
特別寄稿 今上陛下と水	高井 和大
『万葉集』に見る古代の航海と信仰	尾崎 富義
河川水運と水神信仰—関東内陸部、荒川水系をめぐって	柳 正博
廻船と祈り—近世讃岐廻船の事例から	織野 智子
外来の航海信仰—媽祖信仰を中心に	藤田 明良
海上信仰と船絵馬	昆 政明
レポート 風待ち港の日和山	茂木栄／風早康恵

八幡宮紹介 前橋八幡宮(群馬県前橋市本町)

新刊紹介 『時代を動かした天皇の言葉』 茂木貞純・佐藤健二著／『事  
典 古代の祭祀と年中行事』 岡田莊司編

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会

〒232-0022横浜市南区高根町2-8-12-1001 木村高久方 1984年創刊

<http://www.yokoreki.com>

◇80 2020.5 B5 72p

《創刊80号記念》

巻頭言	木村 高久
令和二年度定期総会・新春発表会・新年祝賀会開催 平成31年1月8日(13時～19時10分)	高尾 隆
特別寄稿 疫病の流行—律令国家の天然痘への対処法	松尾 光
大迫皇女～ひたすらに神に仕えて	遠田千代吉
慶長遣欧使節団、伊達政宗の夢の支倉常長の悲劇	長谷川憲司

長篠(設楽ヶ原)合戦の真相に迫る	真野 信治
中世以降の征夷大將軍は有名無実	加藤 導男
藤原鎌足と本墓	石原 祐之
歴シル鎌倉幕府400晴れて鎌倉80	高尾 隆
「弥生時代は殺し合いの時代」は事実か	木村 高久
「蓮の糸」と「蜘蛛の糸」	武田 収功
古歌を訪ねて(10 「君が代」)	丹下 重明
目白の杜から(3) 愛子内親王と閑院宮家	忌部 守
官邸のタケノコ・第9話	近藤 政次
江戸のこぼれ話(宗教戦争)	瀬谷俊二郎
一月三舟(いちげつさんしゅう)を思う	鈴木美恵子
三介殿(信雄)のなさることよ(宇陀雑感)	榎 良生
蘇った翁草原本	高橋 正一
みうら・ブラ・ぶら	雨宮美千代
横浜「根岸・掘割川」の物語	森 彩子
どこのだれ?	真野 信治
色葉匂へど(3) 歴史に想う事	宮下 元
横歴秋期歴史散歩「海洋日本の歴史の変遷と共に歩んだ港町『浦賀』」	高尾 隆
思い出ピンナップ/2022年 横浜歴史研究会は創立40周年を迎えます	

## 新潟県

### ◆観賞 新潟文化財観賞会

〒950-0852新潟市東区石山3-12-19 斎藤寿一郎方 TEL025-286-1740 年4000円

◇41 2020.2 A5 81p

越佐文人研究二十五年	岡村 鉄琴
国指定史跡新津油田金津鋸場跡と新潟県埋蔵文化財センター	倉地 一則
戦国時代の金山遺跡、高根金山へ行こう	横山 勝栄
近世上野村周辺の諸産業	富井 秀正
王政御一新と朝廷の条里一明治初年の御触書紹介	中村 義隆
令和元年文化財観賞研修旅行について	
埼玉県の文化財を訪ねて	野本 健一
五泉市の文化財を訪ねて	藤井 保男
第11回越佐地方史談話会報告	野上 正栄

◆郷土史燕 燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会

〒959-1262燕市水道町1-3-28 燕市教育委員会社会教育課文化振興係

TEL0256-63-7002 2008年創刊

◇13 2020.3 A5 238p

寺泊の商家に婿入りした地藏堂富取元左衛門と糸七と、ゆかりの家々

良寛の伝記上の諸課題について	竹内 登
蒲原郡の古代遺跡と延喜式内社	本間 明
燕市の遺跡巡り(1) 幕島遺跡一六十年前に発掘調査された遺跡	春日 真実
阿部定珍の四国、西国の旅のまとめ	本間 敏則
吉田地区の狛犬を尋ねて(8)	阿部 玲子
村・庄屋役の整理ノート	大江 登
燕市 野中才に流れ着いた龍神像	塚本 智弘
一新潟市本町通りの白龍権現のご神体に 史料紹介	平澤 陽一
慶應四年 越後路戦場風聞写	
一尾州の従軍庶民が見た戊辰戦争の初期	亀井 功
大正政変と第十二回衆議院議員選挙	
一理想選挙を実現した鳥居錦次郎という男	亀井 功
笈ヶ島赤坂神社奉納句額	西海土寿郎
分水近隣の戊辰戦争と戦争遺品	平澤 陽一

◆郷土新潟 新潟郷土史研究会

〒950-2021新潟市西区小針藤山15-15 伊藤善允方 TEL025-266-3076

年4000円 1963年創刊

◇60 2020.3 A5 116p

表紙 県立新潟医学校創立の礎となった四人の外国人医師たち『顕彰

碑』(ヴィダール・ヘーデン・フォック・ホルテルマン)(県医師会館

内『顕彰碑』解説文より)

新潟の医学史を顕彰する会会長 丸山友裕

／顧問 蒲原宏／顕彰碑制作者 村木薫

「伊藤記録」にみる五十嵐浜村庄屋の褒賞と幕末・維新の世相

菅瀬 亮司

地理学者・草間文績と漂流者・由蔵の屋敷地跡

一新潟町洲崎町に生まれた二人の歴史的人物

亀井 功

親鸞の鳥屋野布教についての覚書(後)

井上 慶隆

宣教師P・K・ファイソンの新潟伝道

本間 誠

二つの新潟

本間 誠

小特集「昭和・平成—私の思い出」

二人の叔父	小川 千代
五感を大切に	小熊 英雄
昭和、平成—私の思い出	齋藤 義明
昭和・平成—私の思い出	桜井 ミツ
地藏様ごもり	笹川 玲子
昭和・平成—私の思い出	佐藤 節子
私の思い出	高橋 優太
夏が来ると思い出すこと	土田 澄子
資料紹介 伊藤家『諸日記帳』(7)	伊藤 雅一
令和元年度春の史跡探訪旅行『木食上人・河井継之助の足跡に触れ、 古代の新潟を発見する旅』	井上 昇
令和元年度秋の史跡探訪旅行『胎内・村上の史跡を訪ねて』	竹内 公英

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101 金田文男方 TEL025-241-9402

1935年創刊 <https://fsnp.mints.ne.jp>

◇415 2020.3 A5 78p

《食生活特集 その1》

食と味の思い出	佐藤 和彦
近世越後の鴨肉とその猟法—赤塚坂鳥を主として	鶴巻 武則
信濃川中流の川漁と食の民俗	広井 忠男
行事食・特別食と器 わが家と周辺に残る食と器より	丸山 久子
田畑と食物を交換した話 —佐藤国雄太郎二宮村の「にぎりめし田」を交えつつ	星野 岳義
高田の川渡餅	金田 文男
鬼を食う伝承	石本 敏也
箸の素材とお粥の食文化	池田 亨

◇416 2020.5 A5 68p

《食生活特集 その2》

新潟県の昆虫食文化	鈴木 秋彦
本県唯一 日本農業遺産認定地 越後二〇村郷の食の民俗	広井 忠男
全国区になった栃尾油揚げ	星野 紀子
かて飯—ウツギの利用を中心に	大楽 和正
海藻の食文化—新潟県柏崎と青森県今別の比較から	早川美奈子
盆に鏡エゴを供える—加茂市皆川家の盆行事	岩野 笙子

令和元年秋の談話会発表要旨

海苔の大きさを決めるもの—柏崎市沿岸の海苔簀と杵の調査から	渡邊三四一
えごをめぐる飢えの記憶—西日本のえご食調査から	大楽 和正
小報告	
新潟の鮭—鮭のオオスケコスケ	高橋 郁子
年取魚など	金田 文男

◆長岡郷土史 長岡郷土史研究会

〒940-0065長岡市坂之上町3-1-20 長岡市立中央図書館文書資料室内  
TEL.0258-36-7832 年3500円 1960年創刊

◇57 2020.5 B5 327p

《特集 60周年記念号》

口絵 長岡郷土史研究会 創立60周年—令和元年度の活動

60周年記念特集

講演録 長岡郷土史研究会創立六十周年に思う	内山 弘
内山喜助という長岡人	井上 慶隆
長岡郷土史研究会に育てられた私	古田島吉輝
郷土史研究とは何か	小林 宏
長岡郷土史研究六十周年に想う	中島 榮一
長岡郷土史研究の六十周年にあたって	長谷川健一
私の郷土史研究	
私と長岡郷土史	青柳 保子
悠久山公園一〇〇歳	飯高 潤
郷土史について思うこと	今井 崇
藍澤南城と目崎徳衛	小片 莊平
郷土出身の人物研究	金垣 孝二
『長岡郷土史』から見る定例研修	菅原 茂生
原点としての長岡市史双書	田中 洋史
「若草の頃—古志女の寧楽逍遙—」	遠山 典子
長岡郷土史研究会六十周年随想	広井 忠男
長岡郷土史研究会と私	星 榮一
私を変容させた史料と長岡郷土史研究会	堀井 實
60年の蓄積を WEB サイトで発信しませんか？	目黒 公司
連合艦隊司令官山本五十六を偲ぶ(温故知新一先達に学ぶ)	山谷 恒雄
これからの郷土史研究に想う	湯本 泰隆
「ながおか学」を補説する	米山 忠彦

長岡郷土史研究会 六十年のあゆみ一略年表	
火焰土器研究のあゆみ一平成編 越後長岡・火焰土器の話(6)	小熊 博史
「検証」国譲り後、出雲族は海路出雲崎へ逃避行	
一信濃・千曲川を遡り上田に滞留後、諏訪入り	鷺尾 謙治
伝説からみる古代の越後(上)	遠山 典子
越後真宗史研究への試み(前) 一越後七不思議と越後一族	井上 慶隆
地蔵峠・妙法寺峠と御堂山城の縄張	目黒 公司
蔵王堂城主・堀直寄と妙徳院 その一	
一長岡開府前夜に築かれた蔵王権現の礎	石田 哲彌
『糸柳燕之章』嘉永五年の脇野町心中	河内 純一
伊藤東岸の未開紅記について	樺澤與志雄
宮本宿駅(3)	長谷川清司
河井継之助の経済学(上)	土田 和弘
山本帯刀と宇都宮六道の辻	小熊よしみ
戊辰戦争から百五十年(3)	太田 修
戊辰戦争から一五一年、変化する河井継之助評価	広井 忠男
「海を渡った白峰駿馬」五年間の留学軌跡	廣瀬 剛
小学校長から郡長へー旧長岡藩士井上幹二郎の生涯(2)	古田島吉輝
桐谷洗鱗画業研究 志ざすところ(上)	深見 寶夫
小金井博士洋行通信ー良精からの絵はがき	新田 康則
富島に残された地券預かり手形	山岸 利光
第六十九国立銀行史料『潰レ金控』にみる知られざる歴史の一面(上)	井辺 吉伸
石油の仮株式券について	内山 弘
史料紹介『長岡工業史料』より 渡邊祐吉談「名物煙火の話」(上)	長谷川健一
「品川林作之碑」空を飛ぶーヘリコプター空輸による東山油田の歴史	
を刻んだ石碑の移設保存	板垣 恒夫
関原専売局の移り変わり(1)	林 昇
山本元帥の搭乗機	小泉 秀也
荒川次郎吉に関する資料二点	湯本 泰隆
三宅正一の無上菩提塔と胸像	星 榮一
草創期における長岡青年会議所についての一考察	
一覚張良次と細貝幸也の足跡を中心に	松本 和明
図で見る・蔵王橋と北部工業地帯	長谷川浩一
「なががおか学」補説(3)ーおじいさんの時代の長岡を調べる	米山 忠彦
小復刻 『長岡郷土史』編集後記	稲川 明雄

地域探訪報告

街なか金属記念物めぐり	林 朋子
新発田の歴史散策を楽しむ	池津 正榮
巡見バス旅行報告 魚津城・上杉の悲劇と薬売り・北前船の富山を訪 ねて一日本海の景色と海の幸を味わう旅	長谷川久志
開催報告 令和元年度 古文書解説講座	安達 良平
資料紹介 令和元年度の長岡市委託事業から	長岡郷土史研究会事務局
五反田新田文書(近世の地方文書)について	林 朋子
五反田新田文書(近世・近代の証書類)について	樺澤 幸子
五反田新田文書(近代の紅茶製造に関する文書)について	西 和美
牛ヶ島村文書について	小熊よしみ
安禅寺文書の翻刻作業について	岡田佐輝子



\*1959年の設立で60周年を迎えた記念号である。60周年記念講演会で内山弘氏は、会設立の経緯について次のように推測している。1931年に『長岡市史』が刊行されているが、1950年代半ばに第2回目の市史を編さんすることになり、編集委員が任命され、執筆されたにも拘わらず、日の目を見ずに幻となった。その際に収集した資料の散逸に危機感をもった今泉省三氏や内山喜助氏らによって研究会設立の気運が高まったのでないか。1959年に今泉氏会長、内山氏を事務局として、会員数32名をもって発足した。その大多数は小中高の教員であったという。現在の会員数は250名で、会設立の翌年に創刊された機関誌『長岡郷土史』は年刊で57号を数え、ほかに2009年からは『郷土史だより』も刊行している。

『長岡郷土史』の第57号は記念号ということもあってB5判327頁という大部なものだが、通常号でも300頁近くあり、いつもながらそのボリュームに圧倒される。それだけ活動が活発な証拠であろう。例会、市委託の地域調査、地域探訪会、古文書解説講座、講演会、展示会など、60年間の活動の様子は「長岡郷土史研究会

六十年のあゆみ—略年表—」に詳しい。

◆ふるまち良寛てまり庵通信

〒951-8063新潟市中央区古町通2-538 TEL025-378-2202

<http://www.kokodo.co.jp/ryokankai/temarian/>

◇27 2020.1 A4 6p

私の最も心魅かれる「良寛像」

涌井 茂

付録 良寛遺墨シート 「道好亭」良寛書

解説・小島正芳

良寛百態

高橋郁丸・画

言霊 人生浮世間 忽如陌上塵

◆まきの木 巻郷土資料館友の会

〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1 TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊

◇112 2020.4 B5 28p

天保十三年 角海浜村へ「高機」禁止令通龍(2)

一長岡藩の高機禁止令と農村の実態

亀井 功

新発田連隊出生兵士の手紙の紹介—和納区有文書の中から

山上 卓夫

「藤見座」—芝居小屋から映画館へ—そして隆盛から衰退へ

土田 年代

「炭」のはなし

近 武郎

坂田俊三郎のその後

山上 健

令和元年 秋の研修旅行

山賀 誠

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内

TEL025-222-2262 1978年創刊

◇167 2020.1 A4 16p

「一息—冬夜五合庵」(富川潤一・画) とみかわ・じゅんいち(明治40

年~平成7年)(出雲崎町・良寛記念館蔵)

リレーエッセイ 良寛つれづれ(16) 巻菱湖、亀田鵬斎と良寛和尚

磯島 瑛俊

良寛遺墨鑑賞(15) 書簡 およしさ宛 ぬのこー

小島 正芳

折々の良寛(56) 良寛「法華讃」のすすめ(3)

長谷川義明

良寛190回忌記念 第43回全国良寛会玉島大会(予告)

各地良寛会だより(8) 巻良寛会の巻

参禅会や研修視察等で良寛さまの心を学ぶ

坂井 弘

相馬御風の良寛(16) 「愚人」から「大愚良寛」へ

金子善八郎

良寛 草庵の詩歌 素描(下)

吉田 福恵

早世の俊秀・洲尾と良寛	山上 健
国民文化祭「詞フェスティバル」の優秀校に「全国良寛会賞」を授与	本間 明
明治時代の良寛の本一『良寛文献総目録』に載っていない珍籍	岡田 守
「良寛椿」を元気に姿に	安藤 瑞子
自費出版文化賞特別賞を受賞して	器楽堂ゆう子
良寛の歌を研究、人物像紹介に尽力 加藤億一氏に新潟日報文化賞	吉井 清一
良寛の書風の変遷と生き様に迫る 小島正芳副会長が新潟出版文化賞	柳本 雄司
良寛を訪ねて(16) 寺泊 子陽とむらの墓(下)	吉井 清一
◇168 2020.4 A4 16p	
「洗足のすり鉢」(山口八九子・画) やまぐち・はちくし(明治23年 ～昭和8年)(出雲崎町・良寛記念館所蔵)	
リレーエッセイ 良寛つれづれ(17) 良寛の出会いと文化賞受賞	加藤 億一
良寛遺墨鑑賞(16) 和歌 さにつろう	小島 正芳
折々の良寛(57) 良寛「法華讃」のすすめ(4)	長谷川義明
第43回全国良寛会玉島大会(予告) 玉島大会見学会のご案内	
各地良寛会だより(9) 歌碑建立を三基 観光にも一役	石田 武
全国から温かな反響続々 『良寛逸話館絵本』を寄贈して	曾根 英一
外国人に伝わった良寛さんの魂 「良寛さんの書 カナダにて」	寺本祥祥鳳
良寛さんによる国際交流	涌井 茂
相馬御風の良寛(17) 「最期」をどう迎えるか	金子善八郎
良寛さまは、十日町にも来られていた	
祇園寺の良寛の書(偈)について	金山 有紘
国民文化祭にいたがた「詞フェスティバル」	
良寛関係の入賞・入選作品の紹介 その一 俳句	本間 明
良寛没後190年 新潟の3館で作品展 良寛の里美術館は木村家所蔵	
品を中心に／良寛記念会は、現代の蒐集家秘蔵の遺墨や古美術など	
一堂に／雪梁舎は名古屋で展示の遺墨や生家橘家にかかわる作品	小島 正芳
ふるまち良寛てまり庵で	
良寛さんの遺愛の品：辻美佐夫(復刻)展	宮迫 勇
「良寛茶会」主催団体が倉敷市文化連盟賞に輝く	
新刊紹介 『良寛 貞心尼 こころの唱和』渋谷ひとし著／『良寛 貞 心尼 こころの唱和』小島正芳著	柳本 雄司
会報・会誌紹介	
にいがた良寛第71号、良寛第107号、良寛さま第99号	吉井 清一
良寛を訪ねて(17) 即身仏の寺 西生寺(寺泊)	吉井 清一

## 富 山 県

### ◆高岡市万葉歴史館紀要

〒933-0116高岡市伏木一宮1-11-11 高岡市民文化振興事業団

TEL0766-44-5511 1991年創刊 <http://www.city.takaoka.toyama.jp/manreki/>

◇30 2020.3 A5 72p

大友家持と坂上大嬢、夫婦愛の軌跡(3)

—平群氏女郎歌群の配置の意味と編纂意識

田中夏陽子

《あらたな》家持歌—『秘蔵抄(古今打聞)』と『萬葉集』・小考

新谷 秀夫

展示余滴 大伴家持と源順の居所—元禄九年の記録

関 隆司

人文学についてのレポート—日本古典文学研究の立場から

鈴木 崇大

越中国府跡の発掘調査成果

杉山 大晋

### ◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TEL076-434-4050

1954年創刊

◇190 2019.12 A5 96p 1300円

五福とは何か—越中国御服荘の考察

熊谷 隆之

室町幕府外様衆畠山氏について—日向守家の系譜と所領

松山 充宏

戦国末の両越国境における上杉・佐々の攻防

—越後勝山城(糸魚川新城)と「越中牢人衆」を中心に

高岡 徹

江戸時代後期加賀藩における測量体制の展開

野積 正吉

補遺 越中の平田派門人—人物紹介を中心に

栗三 直隆

令和元年度研究発表大会発表要旨

圧痕資料からみた不動堂遺跡の植物利用について

川端 典子

室町時代における越中国の所領と支配—その構造的特質

高森 邦男

加賀藩と富山藩の神仏分離について—芦峯寺と合寺令を中心として

森山 義和

最近の地方史情報

中条 充子

◇191 2020.3 A5 80p 1300円

両部神道が息づく祭礼—越中国射水郡を中心に

松山 充宏

資料紹介

五箇山より新出の白山曼荼羅

—南砺市白山宮本《白山本迹曼荼羅図》の概要と若干の考察

杉崎 貴英

砺波・浄蓮寺の木造五劫思惟阿弥陀如来(法蔵菩薩)坐像

尾田 武雄

追 悼

楠瀬勝先生に導かれ	米原 寛
深井甚三先生	鈴木 景二
研究余滴 「多知夜麻」をめぐる若干の考察	米原 寛
令和元年度特別講演会要旨	
列島の漢字文化の展開—古代越中史への照射	川崎 晃
最近の地方史情報	中条 充子

#### ◆とやま民俗 富山民俗の会

〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民俗資料館内 年4000円  
1974年創刊

◇93 2020.1 A5 22p

「郷土を拓いた 佐伯安一展」を実施して	安ヶ川恵子
富山県魚津市古鹿熊における犬の民俗	森 俊
小矢部市興法寺地区の「憩いの館」	島田 章代
南砺市(旧福光町)宗守の位置から考察する村の伝承と史跡について	尾川 裕樹
終戦直後、カイニヨ(屋敷林)の木から箆笥を作る	
—旧西砺波郡若林村(現小矢部市)西中の場合	加藤 享子

#### ◆北陸石仏の会会報

〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772  
年3000円 1993年創刊 <http://www1.tst.ne.jp/odatakeo/>

◇59 2019.12 A4 6p

地藏半跏像と石動修験	尾田 武雄
石川県旧志雄町の半跏地藏	滝本やすし
富山市東猪谷「男女宮」の双体道祖神	平井 一雄
富山市婦中町田屋の「聖徳太子二歳像」	松井 兵英
第58回例会報告 福井県旧金津町の石仏めぐり	尾田 武雄

◇60 2020.4 A4 8p

頭部に鶺鴒・弘の文字がある墓標	平井 一雄
血の涙を流す法蔵菩薩(阿弥陀如来)	尾田 武雄
石川県羽咋市の半跏地藏	滝本やすし
特集 疫病退散のご利益がある石仏	平井一雄/尾田武雄/滝本やすし

#### ◆「北陸石仏の会」通信

〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772  
年3000円 2016年創刊

◇4 2020.4 A4 4p

「無限軌道を発明 富山の偉人 高松梅治の功績に光 平井さん(大沢野)が石碑・碑文調査」(『北日本新聞』2020年(令和2年)4月16日)

## 石 川 県

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館

〒920-0963金沢市出羽町3-1 TEL076-262-3236 1986年創刊

<http://ishikawa-rekihaku.jp>

◇132 2020.1 A4 6p

表紙：壁土細工菊文様付短冊箱

企画展「れきはくコレクション2019 REKIHAKU COLLECTION 2018」壁土細工菊文様付短冊箱／人物花木鳥獣図色紙帖交幅／村上九郎作の作品

学芸員コラム 金沢おでんの歴史を味わう 大門 哲

教育プログラム 秋季特別展関連ワークショップ「刀の鏝でコースターを作る！」 永井 浩

◆日本学研究 金沢工業大学日本学研究所

〒921-8501石川郡野々市町扇が丘7-1 TEL076-248-1100 1998年創刊

◇22 2019.12 A5 160p

祭神別神社分布図による諸信仰の考察(1)

一分布図の提示を中心として 平泉 隆房

皇室費と政教分離に関する制度史的研究 川田 敬一

「長屋王の変」における「藤原四子」について 大友 裕二

古典嫌い軽減を目途とした単元づくり—各講義内に伏線を廻らせる 石川 倫子

石川のものづくり現場における改善事例 中野 真

史料 熱田神宮編年史料(稿本) 中世十四 藤本 元啓

## 福 井 県

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会

〒918-8113福井市下馬町51-11 福井県立図書館内 TEL0776-33-8860

年3500円 1956年創刊

◇309 (64-2) 2020.3 B5 70p

日本中央運河計画と今立吐辭 青木 孝文

「南越雑話」(6)一翻刻と現代語訳  
稀覯本との出会い二題—『今立郡誌』編纂と『越路草』を中心として  
松原信之先生 略歴・業績目録

「南越雑話」輪読会  
池田 正男  
長野 栄俊

## 山 梨 県

### ◆地域と社会 佐藤弘

〒402-0005都留市四日市場902-3 2017年創刊

◇6 2019.12 B5 32p

山梨県史跡勝山城跡における史跡利用の近現代史

—東照宮建立・移転と再建を中心に

森屋 雅幸

研究ノート 在日朝鮮人の北朝鮮帰国事業と山梨県

鮎澤 譲

「甲府空襲による犠牲者名簿」について

佐藤 弘

明治期における山梨県の細民生活の状態

—1898(明治31)年の調査を基に

深澤 竜人

### ◆MARUBI ふじさんミュージアムだより

〒403-0005富士吉田市上吉田2288-1 TEL0555-24-2411

<http://www.fy-museum.jp>

◇47 2020.3 A4 16p

博物館Report ふじよしだのたからもの～富士吉田市の文化財 富

士吉田市文化財マップ／有形文化財(46件53点)／民俗文化財(13件)

／記念物(28件)／富士吉田市の文化財内訳

## 長 野 県

### ◆飯島陣屋だより 飯島町歴史民俗資料館

〒399-3702上伊那郡飯島町飯島2309-1 TEL0265-86-4212 1993年創刊

◇19 2020.3 A4 4p

平成から令和へ 飯島陣屋のイベント 6連発! 飯島陣屋こどもの

日! /伊那県150年を記念しておはぎを作ろう! /菊の花が咲く飯

島陣屋で体験しよう! /まゆ玉&書初め羽子板づくり /まゆ玉&書

初め表札づくり

飯島町生涯学習センターとの連携 ことぶき学級、参加者の声(一部

抜粋) /いいちゃん名所めぐり散歩

文化財保護強調週間のできごと 陣嶺館は秋に特別無料開館していま

す／文化の秋を体で感じる一町内文化財めぐり(七久保地区)  
 学校との連携 昔の道具と暮らしとあかりの体験と豆まき…とお餅／  
 総合学習で「陣屋に泊まる」  
 伊那県150年記念関連イベント 伊那県150年記念講演会開催！ 青木  
 隆幸先生「伊那県から考える『西郷どん』の時代」／信州いいじま  
 伊那県ウォーク、完結！

◆飯田市美術博物館研究紀要

〒395-0034飯田市追手町2-655-7 TEL0265-22-8118 1990年創刊  
<https://www.iida-museum.org>

◇30 2020.3 A4 119p

口絵 菱田春草《六歌仙》 明治32年(1899) 永青文庫蔵  
 第三十号に寄せて

滝沢 具幸

第20回記念展をむかえた《現代の創造展》

一地域展覧会の歩みと試み

槇村 洋介

子ども美術学校の運営とその成果

手塚 俊尚

菱田春草《六歌仙》に見る「装飾」と「写真」

松井 美保

明治初期飯田市下伊那地価軽減運動史序論

青木 隆幸

史料紹介 興禅寺蔵「南豊大和尚遷化之際書簡集」

岩永 紘和

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670  
<http://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html>

◇103 2019.12 A4 2p

飯田アカデミア2019第90講座 歴史をめぐる新たな事実と新たな視点  
 一ジャーナリストの視点で歴史を見直す 第1講 日本人の歴史観  
 はどう変化したのか、第2講 私たちは何を知っているのか 講  
 師：渡辺延志さん

古城佐々木徹家文書の調査を行いました

◇104 2020.2 A4 4p

建築史ゼミの活動紹介

福村 任生

高木恵一氏撮影写真の紹介

福村 任生

新刊案内 『飯田下伊那の少年たちの満州日記』飯田市歴史研究所編  
 集・発行

特集 歴史と私 歴史研究所での仕事と学び

向山 敦子

研究活動助成報告会を開催します 「幕末から明治期における薪炭生

産と入会地の管理」伊藤悠さん／座光寺ワークショップを開催します!! 「近世座光寺村の村社会を考えるー阿波の山里社会との比較から」羽田真也・町田哲さん

◇105 2020.4 A4 4p

寄託史料紹介 「伊那養蚕合名会社史料」を読み解く 田中 雅孝  
地域史講座を開催しました 「天竜川をめぐる村の争いー旧川路村文書を素材に」 羽田 真也  
特集 歴研と私 アメリカで思う歴研のオリジナリティ 竹ノ内雅人  
地域史ゼミの紹介とゼミ生募集 担当者：太田仙一

### ◆伊那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 TEL0265-22-6017 年5500円

◇1100 (68-1) 2020.1 A5 50p 550円

《民俗学特集号》

口絵 新野の雪祭りにおける天火 櫻井 弘人  
百姓一揆伝承と遠山霜月祭(上) 櫻井 弘人  
南信州の煙火ー豊饒を願う、神への煙火 岡庭 圭佑  
花火の話ー小塩禄郎氏の講演より 宮下 英美  
飯田下伊那のほんやりーその意味を探る 渋谷 幸雄  
昔の風呂事情 平栗 豊久

◇1101 (68-2) 2020.2 A5 50p 550円

口絵 下野国烏山城絵図一堀氏飯田入封の居城 山内 尚巳  
「いわゆる飯田事件」は『信州飯田の民権事件ではなかった』(上) 三河田原の民権家村松愛蔵執筆ー『檄告』の出版計画と植木枝盛の著作

北原 明文  
百姓一揆伝承と遠山霜月祭(下) 櫻井 弘人  
文久年間、磐城国折口原新田の開拓と白河藩信州領 前澤 健  
天竜川流域の御社宮司神(4)ー伊那谷南部の小字から(15) 今村 理則  
第465回郷土巡礼 阿智村 古代東山道と中馬街道を巡る

◇1102 (68-3) 2020.3 A5 50p 550円

《神村透先生追悼号》

口絵 神村透先生ー伊那谷で最初に大学で考古学を専攻 小林 正春  
神村透先生 長い間ご指導いただきありがとうございました 小林 正春  
神村さんとの出会いに 桐原 健  
写真でうかがう出会いの場 宮沢 恒之  
神村透君を偲ぶ 山田 博章

神村透先生と出会い	岡田 正彦
神村透先生と押型文土器	馬場 保之
弥生時代研究の先達として	山下 誠一
透は先にいった	松島 信幸
神村透兄の思い出	松島 義章
父との思い出	栗原 寿理
遺稿 夢?考古学が好きになって70余年 私は考古学が楽しく大好き 心底にある故郷は下伊那 肉付けしてくれたフィールド外の発掘調 査	神村 透 市澤 英利
岐蘇山道と吉蘇路考	
◇1103 (68-4) 2020.4 A5 50p 550円	
口絵 重要文化財松道家住宅一太鹿村大河原引の田地区	北村 尚幸
江戸時代、ある豪農の子への思い—雲雀沢村伊藤治左衛門の遺書から	塩澤 元広
座光寺村瓦産業の歴史—座光寺黒川製瓦所五代目当主に聞く	濱島 敏彦
日露戦争と下伊那の学校	竹村 雄次
戦中派、語り残しのことごと一敗戦に伴う黒塗り教科書のこと	吉澤 健
下伊那の稲作の様相—昭和の民俗歳時記	岡田 勉
「弥陀四十八願桜」の歴史と私の好奇心	橋本 悦子
◇1104 (68-5) 2020.5 A5 50p 550円	
口絵 新羅明神の本地仏 安布知神社神宮寺旧蔵の三尊像	織田 顕行
第9回「文化財の保護保全を考える会」(報告)	
吉澤健会長挨拶	
来賓祝辞 久保友二松川町副町長	
開催趣旨	
講演 文化財の保存・管理・活用について	上田 典男
事例報告 ツツザキヤマジノギクの保護活動	塩倉 智文
事例報告 文化財が人と地域をつなげる	岩田 義雄
全体討論	青木 隆幸
全体のまとめ	原董 会員
高須藩の御用金譜課と村方騒動(2)	伊坪 達郎
「いわゆる飯田事件」は『信州飯田の民権事件ではなかった』(下) 三 河田原の民権家村松愛蔵執筆『檄告』の出版計画と植木枝盛の著作	北原 明文
各町村史学会の動き 竜丘史学会の総会	
◇1105 (68-6) 2020.6 A5 50p 550円	

《災害特集》

口絵 文化財の活用方法の一例

一飯田市美術博物館所蔵「聖徳太子絵伝」	織田 顕行
過去の災害に学ぶ～地質からみた伊那谷の災害リスク	村松 武
江戸時代飯田町の消防体制整備	伊坪 達郎
災害に直面した寺院の文化財	織田 顕行
太平洋戦争中、伊那谷に被害を与えた地震について	下平 勉
下伊那日録 2014(平成26年)11月・12月	寺田 一雄

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4501伊那市西箕輪3180 山口通之方 TEL0265-73-5538 年5000円

◇756 (64-1) 2020.1 A5 40p 500円

民家に陸軍演習兵士が泊まる

一歩兵第五十九聯隊機動演習における飯島村での宿営	伊藤 修
シンポジウム「大本営の移転計画(本土決戦準備)と登戸研究所の疎開」	

一“歴史の教訓を次の世代に 資料を地域の財産に” 登戸研究所調

査研究会の取り組み報告(2)

松久 芳樹

伊那市が取り組む古い地名調査(17)

竹松 亨

中央アルプス地名考(4) ヒゲスリ岩

吉田 保晴

古文書の窓(149) 高遠藩と清内路関所(2)

小池 悟志

徒然さんぽ(6) 天台宗羽広山仲仙寺 伊那市

吉田 勝美

◇757 (64-2) 2020.2 A5 40p 500円

《井月特集》

第7回井月さんまつり 高木俊輔氏講演「幕末維新の文学と真実」	宮澤 宏治
高津才次郎作の『浜松市行進歌』について	

一「井月」と出会う前に経験した作詞をめぐる不本意な結果	小粥 章司
伊那谷の校歌検索(3)	

旧制伊那中学校(伊那北高等学校)と富県小学校	春日利比古
------------------------	-------

中央アルプス地名考(5) 黒川に流れ下る滝	吉田 保晴
-----------------------	-------

思い出の人・思い出の事(30) 美術史家 原彰一先生	桃澤 匡行
----------------------------	-------

古文書の窓(150) 大満水につきお願い	下平すみ子
----------------------	-------

忘れ去られそうな東春近「柏坪」の地名	北原 昌弘
--------------------	-------

文化短信 伊那の百年企業 伊那バス株式会社	中崎 隆生
-----------------------	-------

図説・上伊那の民俗(32) 簗竹細工(伊那市美簗上川手)	三石 稔
------------------------------	------

徒然さんぽ(7) 鉦持神社だるま市 伊那市高遠町	吉田 勝美
--------------------------	-------

◇758 (64-3) 2020.3 A5 40p 500円

《高遠町特集》

「進徳館の日」記念講演 内藤家の「若殿」と最後の枢密顧問官

—最高裁判所創設に関わった二人の高遠人 那須 弘平  
新高遠小学校校歌をめぐって—一作詞者 北原作英を中心として 春日 博人  
伊那市が取り組む古い地名調査(18) 竹松 亨  
第2回「高遠石工」石造物フォトコンテスト 山口 通之  
中央アルプス地名考(6) 千畳敷 吉田 保晴  
文化短信

伊那市立美篤小学校開校118周年 児童の感想—資料館企画展 矢島 信之  
図説・上伊那の民俗(33) かにかや(松川町上片桐上町) 三石 稔  
徒然さんぽ(8) 熱田神社 伊那市長谷溝口 吉田 勝美  
書籍紹介 駒ヶ岳ファンクラブ創立30年記念『全国駒ヶ岳の民俗誌』中崎 隆生  
◇759 (64-4) 2020.4 A5 40p 500円

上伊那の入定塚・行人塚・山伏塚 伊藤 和也  
上伊那にある、奥三河石工が彫った石仏・石塔について(一)

奥三河型庚申塔 伊折 俊夫  
片桐氏嫡流系図についての考察(2) 片桐 充昭  
伊那電「唐木停留所廃止」後日譚 北原 昌弘  
文化短信 『地形図でたどる長野県の100年』の紹介 小林 辰興  
古文書の窓(151) 村の子どもと山のおきて 三浦 孝美  
文化短信 飯沢勘六「懐中和」を特集した『辰野町資料』第120号発行

森下 春  
図説・上伊那の民俗(34) 事始めのお念仏(伊那市高遠町引持) 三石 稔  
徒然さんぽ(9) 天台宗宝積山光前寺 駒ヶ根市赤穂 絵と文・吉田勝美  
◇760 (64-5) 2020.5 A5 40p 500円

上伊那における人口減少の様相と対応

—箕輪町の人口について 上伊那教育会郷土研究部地理班  
伊那市の人口問題—少子化・高齢化・人口減少 丸山敏一郎  
十王像のこれから 宮下 明子  
中央アルプス地名考(7) 島田娘 吉田 保晴  
思い出の人・思い出の事(31) 人形師 岡本芳一氏 桃澤 匡行  
文化短信 第7回井月忌俳句大会報告 春日利比古  
古文書の窓(152) 満水で流失した渡船の造立願い 下平すみ子  
図説・上伊那の民俗(35) 代掻き(伊那市富県) 三石 稔  
徒然さんぽ(10) 日蓮宗妙朝山遠照寺 伊那誌高遠町山室 絵と文・吉田勝美  
書籍紹介 駒ヶ根市立博物館『館報第4集』

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

年3000円 1990年創刊 <http://inaminkenhome.blogspot.jp>

◇119 2019.12 B5 8p

表紙 平瀬の稲荷の森／平瀬の窓木（マドギ） 今井 啓

「桜井伴民俗学」の特色—その人生と業績 寺田 一雄

報告 第3回伊那民俗研究集会

残された写真から地域の民俗を読み解く 北原いずみ

報告 2019年9月通常例会 寺田一雄会員「桜井伴—その人と民俗」

発表要旨、小山田江津子会員「長野県における婚姻入家儀礼」発表  
要旨 文責・今井啓

上郷飯沼の民俗 第2回合同調査を開催 今井 啓

部会報告 柳田国男研究会 叢書『信州随筆を読む』

編集の現状と今後の取り組み 宮下 英美

◇120 2020.3 B5 8p

表紙 父親手染めの着物で／飯沼の織物工場 今井 啓

飯沼機染業の盛衰—産業の歴史と人々の記憶 今井 啓

報告 12月・2月通常例会 湯澤直人会員「飯田下伊那における『無

尽』」、片桐みどり会員「上郷飯沼の機織り」／宮下英美会員「平谷

村の盆行事『たいとほし』」、岡庭圭佑会員「南信州の奉納煙火」 松上 清志

報告 第4回特別例会 折口講座「若水の話」(大正2年)を読む

講師：小川直之所長 文責・今井啓

探訪会報告 古戸の白山祭り見学の記

修験色の違い「高嶺祭り」／神秘的な「お珠の舞」 吉田 成己

◆伊那民俗研究 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655-7 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

年3000円 1990年創刊 <http://inaminkenhome.blogspot.jp>

◇27 2020.4 A5 178p

2019年度 総会記念講演会 柳田国男と昔話研究 小澤 俊夫

第2回伊那民俗研究集会「コト八日行事と神送り」特集

コト八日と神送り行事研究の諸課題 小川 直之

スペイン風邪などの疫病と民俗 櫻井 弘人

研究発表

北信地域の人形送り行事 細井雄次郎

松本のお八日行事 木下 守

伊那谷のコト八日行事	櫻井 弘人
新野の踊り神送り	今井 啓
早稲田の人形神送り	岡庭 圭佑
伊那民俗学研究所 創立30周年記念特集	
歴代所長挨拶	
野に根ざす一つの光源	野本 寛一
研究所の三十周年を祝い、原点を考える	福田アジオ
研究所の活動は自発的参加者の力	小川 直之
研究所創設の経過	
創刊の言葉 自己認識としての伊那学の広場	
「柳田記念研究所」創立の経過と構想	後藤総一郎
「伊那民俗研究」の創刊に寄せて	松澤 太郎
「野の学」の殿堂へ（再録 後藤総一郎著『柳田学の地平線—信州伊那谷と常民大学』2000年3月 より）・野へでよう（再録 『伊那民俗』第17号、1994年6月30日 より）	後藤総一郎
研究所三十年のあゆみ	
柳田國男伊那民俗学研究所	文責 松上清志・寺田一雄
柳田国男研究会	文責・宮下英美
伊那近代思想史研究会	文責・松上清志
民俗調査特別部会	文責・今井 啓
年譜 柳田國男記念伊那民俗学研究所のあゆみ	
紀要『伊那民俗研究』分野別目次一覧(創刊号～27号)／所報『伊那民俗』分野別目次一覧(創刊号～120号)	

◆市誌研究ながの 長野市公文書館

〒380-0928長野市若里6-6-2 1994年創刊

<http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>

◇27 2020.3 A4 227p 1500円

令和元年度 長野市公文書館移転記念講演

中世の善光寺と善光寺信仰	牛山 佳幸
松代藩「寛保改革」の前提—一元文年間の史料の分析を通して	小林 佳枝
大本願蔵『善光寺五重塔図』の建築的・彫刻的内容について	水野 耕嗣
中御所村岡田組百姓重助の苦闘	宮下 秀樹
善光寺地震による土砂災害に関する史料研究	山浦 直人
赤田村奨新学校物語(前編)—明治初頭の「近代」を探る	田中 薫
長野中央道路竣工直後の沿道の建物について	宮澤 政太

長野県北部の自然石道祖神	倉石 忠彦
善光寺大地震で生じた三池と深見池の珪藻類	落合 照雄
研究ノート 旗塚一覧—長野市・上水内郡と東信の旗塚	町田ゆかり
史料紹介 佐久間象山とキリスト教伝道師松本総音	北澤 忠雄
GRAVURE	
松代天王祭絵巻	米澤 愛
八幡神社神橋設計図	宮澤 政太
初穀焼き用煙突	樋口 明里
4ヵ所の池で見いだされた珪藻類	落合 照雄
長野市公文書館移転開館&新収蔵資料	関 秀延
平成31(令和元)年度 新収蔵資料目録	

#### ◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇840 (73-1) 2020.1 A5 80p 1150円

《民俗学特集号》

長野県内の人形神送り

三石 稔

「被災地」となったある集落の模索

—長野県北部地震の栄村小滝の取り組みの土台と展開

中野 紀和

天竜川上中流域の水神信仰—九頭龍の石碑と戸隠信仰

伊藤 修

都市祭礼における若者組織の結成—熊谷うちわ祭の祇園会を事例に

市東 真一

見学記 『戦国 小笠原三代』 観覧之記

前澤 健

◇841 (73-2) 2020.2 A5 80p 1150円

平安時代の信濃の渡来系氏族について

川崎 保

古代の善光寺について考える(下)

石川 勝義

折口信夫『大嘗祭の本義』再考

福澤 昭司

報告 例会 穂高神社御船祭／第4回地方史講座 戸隠信仰と高距御

師集落／第104回セミナー 近世の災害とその復興

市川 包雄

◇842 (73-3) 2020.3 A5 80p 1150円

明智光秀の丹波支配と家中定書

柴辻 俊六

潮神明宮「日岐盛直神田寄進状」の日付をめぐって

逸見 大悟

伝承と史実の間—「古代寺院」の創建と廃絶

関口 功

参加記 第45回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

全国(安曇野)大会に参加して

全史料協大会に参加して

山中さゆり

- 全史料協全国大会に参加して  
 一時を貫く記録を「活かす」ということ  
 村石報告「地域史料の危機管理」をきいて  
 全史料協全国大会と上田市公文書館の開館  
 第四回全史料協全国(安曇野)大会参加記  
 受贈図書紹介 小林茂喜著『仁科盛信と武田氏』  
 ◇843 (73-4) 2020.4 A5 78p 1150円  
 奥信濃の中村藩一万石と藩主岩城貞隆  
 松本市城山公園における遺構の現状  
 我田引鉄と地方自治—諏塩直行鉄道と大平野市構想  
 松本城若宮八幡跡は馬出か  
 ◇844 (73-5) 2020.5 A5 80p 1150円  
 《考古学特集号》  
 県主塚古墳の出土遺物  
 諏訪市一時坂遺跡出土の円環境板付轡について  
 近世信濃における近江商人についての考察—保知煙管の出土から  
 牛伏寺骨堂跡の調査をめぐる—近世の納骨遺跡をめぐる—  
 書誌紹介 青木廣安著『川の風土学—須高地方における河川の原風景  
 を求めて』
- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 小林 茂喜 | 後藤 芳孝 | 倉澤 正幸 | 高原 正文 |
| 樋口 和雄 | 小山 泰弘 | 清水 一明 | 後藤 芳孝 |
| 平林 大樹 | 児玉 利一 | 竹内 靖長 | 原 明芳  |
|       | 村石 正行 |       |       |

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会

〒386-0024上田市大手2-7-13 上小教育会館内 TEL0268-24-2182  
 年3000円 1974年創刊

- ◇171 2020.2 A5 63p  
 信濃国分寺の立地について  
 『信濃国小県郡年表』について  
 上田城の創建と復興をめぐる(2)  
 郷土史随想 塩田郷土史研究会の活動から  
 『文化八年鈴子村御用廻文書留帳解説書』の紹介  
 窓 塩田平に伝わる話の創作  
 連載講座 古文書解説講座 第162回  
 扉写真と解説 大行満願海上人が俳書の「幟旗」二本ほか
- |       |        |       |       |
|-------|--------|-------|-------|
| 尾見 智志 | 児玉 卓文  | 寺島 隆史 |       |
|       | 長谷川 晶子 | 神田 愛子 | 宮坂 尚敏 |
|       |        | 西澤 恒幸 |       |

◆長 野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7 TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊  
<http://www.janis.or.jp/users/kyodoshi/>

◇314 2019.12 A5 72p 800円

口絵・表紙解説 口絵 聖徳社(長野市妻科)の祭／表紙 石祠に安置

- |                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| される聖徳太子像(長野市妻科)                  | 小林 玲子 |
| 一茶の宿泊日数を数え直す(続)                  | 小林 一郎 |
| 北信濃の俳諧を指導した小林迎祥(4)               | 矢羽 勝幸 |
| 宗良親王と信濃村上氏について                   | 志村 平治 |
| 共和、川中島の両国民学校に駐屯した「水戸の工兵隊」について(2) | 土屋 光男 |
| 長野と全国各地の繋がり(12) 聖徳太子信仰を伝える妻科の聖徳宮 | 小林 玲子 |
| 読んで歩いた長野(2) 津村信夫の「雪」             | 栢木 希望 |
| 生きた町の歴史を知ろう(19)                  |       |

インターネット・AI時代の郷土史・地方史雑誌への提言 小林竜太郎  
出版 『そば学 sobalogy 食品科学から民俗学まで』井上直人著

◇315 2020.4 A5 72p 800円

表紙解説 東日本台風の水害に耐えた石造物(長野市長沼)

- |                               |       |
|-------------------------------|-------|
| (2020年2月1日撮影)                 | 小林 一郎 |
| 徳本の巡錫と一茶                      | 小林 一郎 |
| 善光寺巡礼の道一「歴史の道百選」に選定されて        | 小瀬 佳彦 |
| 初期長野市ゆかりの四十九区と、神社・小中学校        |       |
| 一子どもたちが育つ地域の現状と課題             | 小林竜太郎 |
| 終戦時の安茂里村の軍事状況について—『自由日記』が語るもの | 土屋 光男 |
| 孝子善之丞の故郷、福島県桑折町を再訪            | 小林 玲子 |
| 郷土史の視界(15) 長沼と一茶・徳本           | 小林 一郎 |
| 読んで歩いた長野(3) 宮本常一の「私の日本地図」     | 栢木 希望 |

#### ◆長野県民俗の会会報

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円 1978年創刊  
<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇42 2020.2 A5 78p

- |                                   |       |
|-----------------------------------|-------|
| 現代神社・絵馬事情～神社を取り巻く環境に関する予備的考察      | 松崎 憲三 |
| 穂高地区道祖神碑石分布考                      | 倉石 忠彦 |
| 飯山市西大滝のサイトロメン                     | 浦山 佳恵 |
| 有明山における現地宗教団体について                 | 石原 溪介 |
| 岡谷市小井川のだるま祭り                      | 中崎 隆生 |
| 「狼落とし」(いぬおとし)についての一考察—退治する心、信仰する心 | 下平 武  |

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇275 2020.1 B5 10p

書誌紹介 福澤昭司著『民俗の変化と視点』

板橋 春夫

穂高神社御船祭り―第217回例会参加記

太田 真理

令和元年度総会参加記―記念講演「中世の諏訪信仰」を拝聴して

市東 真一

◇276 2020.3 B5 12p

大嘗宮観覧記

福澤 昭司

諏訪社の御柱の意義

木下 守

小さな博物館の生き残り戦略

下平 武

葉書でつぶやくコーナー

道祖神石祠―『長野県道祖神碑一覧』を読む(4)

倉石 忠彦

◇277 2020.05 B5 12p

木祖村のしょうゆ豆

中崎 隆生

上田市真田下原の道祖神祭り

田澤 直人

しづかのアマビエのお札

市東 真一

第218回例会参加記

田澤 直人

葉書でつぶやくコーナー 祭祀対象としての“自然”

―『長野県道祖神碑一覧』を読む(5)

倉石 忠彦

◆長野市公文書館便り

〒380-0801長野市箱清水1-3-8 長野市城山分室内 TEL026-232-8050

<http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>

◇40 2020.1 A4 4p

長野市若里に移転 11月20日開館しました。1階の様子／2階の様子

長野市公文書館移転記念講演会「中世の善光寺と善光寺信仰」 信州

大学名誉教授 牛山佳幸先生

岐 阜 県

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111 年2800円

1973年創刊 [http://www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosilen/k\\_index.htm](http://www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm)

◇133 2020.3 B5 28p

写真集『岐阜市の昭和』の発行

丸山幸太郎

本城山城城主斎藤八郎左衛門入道宗雄について(1)	古田 憲司
池田輝政室「岐阜様」について—中川清秀娘・絲のこと	入江 康太
西国三十三観音塔巡り(関市上之保)	土屋 一
書窓の風	
岐阜城調査で三つの新発見	内堀 信雄
絵本『えげんさん』の刊行	可見 光生
ふるさとの良さを伝えようⅣ～昔ながらの民俗行事「大念仏」を地域の子ども達が「なんまいだ!」と唱え、七日間かけて区内を練り歩いています	小嶋 司
郷土関係新刊書目録(118)	
郷土関係逐次刊行物文献目録(116)	

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園内 TEL058-265-0010

1985年創刊

◇104 2020.2 A4 8p

表紙 われらも麒麟!!!プロジェクト

歴博セレクション「ぎふ歴史物語 伝統の技と美」

歴博セレクション「豊臣 vs 徳川」

歴博セレクション「れきはく名品展—寄託品を中心に」

われらも麒麟!!!プロジェクト/第一弾 表彰者

静岡県

◆赫 夜一カグヤ 富士山かぐや姫ミュージアム博物館だより

〒417-0061富士市伝法66-2 TEL0545-21-3380

<http://museum.city.fuji.shizuoka.jp>

◇75 2020.2 A4 4p

春のテーマ展「揺する!富士市のお天王さん」

秋山 裕貴

秋のテーマ展「瑞林寺地藏菩薩坐像と富士市のお地藏さま」調査ノート

展示室(2) 富士山の玉手箱

「明治の富士ブランド 佐野熊ナブキンと富士山」

佐野あさ沙

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室

年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇496 2020.1 A4 4p 100円

1月例会レジュメ 浜岡原子力発電所と佐倉対策協議会：立教大学共  
生社会研究センター「浜岡原子力発電所関連資料」から 中澤 高師

2019年度 静岡県近代史研究会予算案 会計担当：清水実・村瀬隆彦  
読後感：田辺聖子「道頓堀の雨に別れて以来なり一川柳作家・岸本水  
府とその時代 上・下」 羽間 昭夫

◇497 2020.2 A4 4p 100円

2月例会レジュメ 印旛沼開墾事業をめぐる金原明善の思想と行動 伴野 文亮  
薩埵峠の蹄石(1) 北村 欽哉

◇498 2020.3 A4 4p 100円

3月例会レジュメ  
昭和戦前期における落語の様相 清水 寛磨  
植民地樺太の地方都市—北海道拓殖銀行資料を用いて 石子 智康  
近代におけるアイシャドウ使用状況の相違  
—1920年代のモガ化粧と、1930年代の眼化粧 増渕 美穂

◇499 2020.4 A4 4p 100円

4月例会レジュメ 『戦後女性員史—日教組婦人部の労働権確立運動  
と産休・育休の制度化過程』を刊行して 跡部 千慧  
薩埵峠の蹄石(2) 北村 欽哉

◇500 2020.5 A4 20p

《会報500号記念特集》  
会報500号に寄せて 橋本 誠一  
友好団体からのメッセージ

『静岡県近代史研究会々報』500号発行を祝します 熊本近代史研究会  
(無題) 郡内近代史研究会 佐藤弘

『静岡県近代史研究会々報』第五〇〇号に寄せて  
近現代史研究会・初代事務局長 今村直樹  
会報500号おめでとうございます

静岡平和資料館をつくる会事務局長 土居和江

会報500号に寄せて  
(無題) 岡田 泰平

会報500号に寄せて 長谷川尚美

会報500号に寄せて 松下 夏子

近代史研究会の過去・未来  
研究会活動と会報 小池 善之

静岡県近代史研究会は何故継続できたか、その雑感	清水 実
静岡県近代史研究会の魅力とは？	沼尻 昇伸
静岡県近代史研究会の過去・未来—ネット空間の活用を求める提案	村瀬 隆彦
私の研究・関心	
二つの百年史	足立洋一郎
“後進国ニッポン”を解き明かす鍵—1980年代をいかに捉えるか	跡部 千慧
枝垂桜の今は？	大塚佐枝美
(無題)	奥田 利子
原口清先生所蔵の民科静岡支部資料のこと	加藤 善夫
公文書管理とアーカイブズ	川上 努
私の研究と関心	高木 敬雄
私の関心	竹内 康彦
護国記念館	野澤 和俊
500という数字	羽間 昭夫
静岡藩の苗字帯刀	樋口 雄彦

◇501 2020.6 A4 4p

オンライン例会を行います。	静岡県近代史研究会事務局
6月例会レジュメ 静岡県におけるアーカイブズ(歴史資料の保存・公開)の現状～全国的な潮流との比較から	青木 祐一
年季売と質入—鷲山恭彦家文書調査だより	橋本 誠一

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇228 2020.1 B5 4p

『吾妻鏡』の記述に関する疑問	土屋比都司
10月例会報告要旨 『吾妻鏡』への疑問と三島社祭礼銭問題	土屋比都司
11月例会報告要旨 中世駿河の荘園公領制と鎌倉幕府	廣田 浩治

◇229 2020.2 B5 4p

金原明善研究と金原家文書を守るということ	杉山 容一
12月例会報告要旨	
戦国史における興国寺域の歴史的位置	小和田哲男
1月例会報告要旨	
打死したのは誰か—大福寺文書から見た舟方山合戦	森田 香司

◇230 2020.5 B5 4p

清水船手の造船に関する六人衆覚書	小川 雄
------------------	------

捨馬札と「お馬様」  
『静岡県近代史研究』会報五百号発行を祝う

橋 敏夫  
森田 香司

◆静岡平和資料センターだより

〒420-0858 静岡市葵区伝馬町10-25 中央ビル90 2階 TEL054-271-9004  
<http://www.shizuoka-heiwa.jp>

◇65 2019.12 A4 2p

小学校 教材セットを貸し出します／「日米開戦の日」イベント／戦  
争体験記・手記」の収集にご協力ください  
静岡平和資料センター 企画コーナー展示「ものが伝える子どもの暮  
らしの中の戦争」／静岡平和資料センター所蔵資料展示「静岡の戦  
争と空襲6」

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇174 2020.1 A4 4p

令和2年 年頭のあいさつ

大嶋 善孝

オットノタカタカ、オトウトコイシ

大嶋 善孝

方言短信によせて 『小笠方言番付』

大嶋 善孝

◇175 2020.4 A4 8p

令和2年度総会・大会の中止について

大嶋 善孝

令和2年度静岡県民俗学会総会資料

御殿場市川柳の行事にみる共同体意識

松田香代子

令和元年度第2回例会報告

大嶋 善孝

◆静岡歴史研究会 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55 篠原旭方 TEL054-286-8659

◇156 2019.12 B5 16p

雨の間に間に、緑の高原を走る車に乗って 六〇〇〇年前・縄文の旅

一泊二日史跡見学会 山梨県・長野県方面

大川 誠一

第125回研究会 中村典夫氏の「『雲雀百話の進上物』考について」の

概要／大畑緑郎氏の「十返舎一九について」の概要／森田幸雄氏の

「台湾で最も愛された日本人 八田與一」について～真心は海を越

えて～の概要

天皇即位パレードの秋日和

1万歩の静岡市史跡巡り 日帰り史跡めぐり

大川 誠一

◇157 2020.3 B5 12p

第126回研究会 桜井明氏の「徳川家康埋葬地論争一日光説の検証」の概要／福島隆氏の「稲荷古墳(さきたま古墳)の謎」の概要／篠原旭氏の「今川義元とかぐや姫 その2」の概要

第127回研究会 早川和男氏の「建福寺の概要」～仏像及び観音堂について～の概要／赤池隆義氏の「蘇我入鹿は何故中臣鎌足に殺されたか」の概要／大川誠一氏の「二本のオノゴロ島線」の概要

◆駿河 駿河郷土史研究会

〒417-0061富士市伝法66-2 富士山かぐや姫ミュージアム内

TEL0545-35-6250 1965年創刊

◇74 2020.4 B5 169p

表紙解説 石水門の碑

巻頭言(令和元年) 伊能忠敬と生涯学習

永代日記万年帳で膨らむ吉原宿

絵図に見る江戸時代の東海道(6) 災害により所替えをした宿場

耐え難きを耐えた富士地方の人(2)

潤井川・水垢離の伝統復活と龍巖瀨の今と昔

日常生活の数字(7)

「田子の古道」の写本の系譜

舟場(水神)の投げ松明一盆の行事からかりがね祭へ

徳川家康の駿河平定

大淵村小山家の研究―植松樋代官が祖

咸臨丸と清水の次郎長

「田子の古道」の作者について

駿河郷土史研究会創立五十周年記念式典

加藤 昭夫

加藤 昭夫

渡邊 誠

田辺 泰弘

和田 嘉夫

中島 正和

渡邊 照好

荒川 辰美

加藤 昭夫

篠原巳津夫

高田 國義

矢崎 巖

福澤 清

事務局

愛知県

◆愛知県史研究 愛知県総務部法務文書課県史編さん室

〒460-8501名古屋市中区三の丸3-1-2 愛知県自治センター 8階

TEL052-972-9171 1996年創刊 <http://www.pref.aichi.jp/kenshi/>

◇24 2020.3 A4 153p

口絵 『愛知県史』全58巻の集合写真

史跡公園の成立と「三英傑」

近世における小田井表の広がり

石川 寛

半田 実

## 資料紹介

明治十年代における明治用水聯合水利土功会の資料若干

一旧溜池掛地と民権運動 伴野 泰弘

愛知県護國神社文書『回議録 愛知神社 自昭和十六年 至昭和廿四年』について

西 秀成

愛知県総務部調査課『昭和二十四年三月 調査事務概要』について

宇佐美正史

資料紹介 伊藤圭介収集の古瓦について

金子 智

書評 羽賀祥二・名古屋市蓬左文庫編著『名古屋と明治維新』（風媒社）、  
秦達之著『尾張藩草莽隊 戊辰戦争と尾張藩の明治維新』（風媒社）

別所 興一

## 特別企画

専門委員長からのひとこと（『愛知県史研究』第15号掲載特別企画「歴史の発展法則を追い求めて」部分的転載）

部会長からのひとこと

愛知県史現代編を担当して

中田 實

四半世紀を超える編さん事業を終えて

福岡 猛志

愛知県史・考古編、別編窯業の編集に関わって

柴垣 勇夫

『愛知県史』中世編纂の思い出

稲葉 伸道

『資料編8～10・14』の編さんをふりかえって

上村喜久子

『愛知県史』織豊編調査・編さんの思い出

播磨 良紀

織豊部会の生い立ち

三鬼清一郎

近世史部会三代目の思い

大塚 英二

愛知県史の編さんに関わって

羽賀 祥二

大正デモクラシー期の政治と女性の距離

伊藤 康子

県史編さんの残された課題—地域の多様性と生活史

春日 豊

文化財部会

伊東 史朗

「別編文化財」刊行の思い出と将来へ

宮治 昭

骨壺から日本文化の接合点を探る

伊東 久之

自治体史の中の「自然」

山田 正浩

平成30年度愛知県史を語る会抄録 あいちの現代史再発見

『通史編9 現代』の構想と構成

中田 實

占領の光と影—プランゲ文庫が語りかけるもの

西形 久司

ものづくりの戦後史

牧 幸輝

戦後文学の出発と名古屋豆本

木下 信三

近刊市町村史誌紹介 『新修豊田市史』（豊田市）、『新編西尾市史』（西

尾市)、『新編知立市史7 資料編 民俗』(知立市)  
編さんの動向／各部会の活動状況(2018年9月～2019年8月)  
県史編さん事業を総括して 愛知県総務局総務部法務文書課県史編さん室  
創刊号からの総目次・索引

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 TEL052-671-4151

<http://www.atsutajingu.or.jp>

◇264 2020.1 A5 40p

熱田雑集(20)

太田 正弘

創祀千九百年記念造営事業の回顧(21)

小久保雅広

奉納和歌にみる熱田信仰(1)

辻村 全弘

特別寄稿 令和の御代を迎えて

副野 均

◇265 2020.3 A5 36p

熱田雑集(21)

太田 正弘

奉納和歌に見る熱田信仰(3)

辻村 全弘

創祀千九百年記念造営事業の回顧(22)

小久保雅広

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-084西尾市亀沢町480 TEL0563-56-2459 2004年創刊

<http://iwasebunko.jp>

◇64 2019.12 A4 4p

第73回全国お茶まつり愛知大会協賛 岩瀬文庫企画展示「茶～岩瀬文庫資料にみる茶のさまざま～」／岩瀬文庫企画展示「ひいなあそび」

第14回にしお本まつり 文芸コンクール入賞作品 短歌部門

蔵書紹介

『指面草』(119-134) 1冊 山東京伝作・画 天明6(1786)年刊

◆郷土研究誌かりや 刈谷市郷土文化研究会

〒448-0852刈谷市住吉町4-1 刈谷市中央図書館内 TEL0566-25-6000

1980年創刊

◇41 2020.3 A5 115p

刈谷市郷土文化研究会設立四十周年を祝す

稲垣 武

四十周年を迎えた刈谷市郷土文化研究会

岡本 建国

文化講演会 女の子か？くまの子？ 『3びきのくま』はだあれの話？

一ひっくり返る観点の面白さ

David Dykes

第六代刈谷藩主・稲垣重昭と元刈谷八景	三ツ松 悟
養正館考(下)	加藤 修
泉田夜学校(下)	塚崎 千歳
近代史に見る地元刈谷の民主化運動	岡本 建国
名古屋無線電信局依佐美送信所と通信したワルシャワ無線電信局	鈴木 哲
地域のためにつくした久野長松先生	
—松本奎堂研究と幻り奎堂全集を中心に	山田 孝
森三郎「夜長物語」と森鉄三「梅津の長者」	神谷磨利子
モノづくりのための教養創り—歴史から引く技術と技能は車の両輪	山脇 正雄
市内研修会 刈谷市歴史博物館見学	矢田 直幸
県内研修会 鈴木正三と足助の古い街並みを訪ねて	長瀧 秀雄
刈谷市郷土文化研究会四十年小史	会誌編集担当

#### ◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155 名古屋市鶴舞中央図書館

TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊

◇233 (74-2) 2020.2 A5 119p 1500円

太原崇孚 今川義元の軍師を追う(1)	横山 住雄
新修 名古屋市史資料編 考古2 桶狭間の戦い	尾畑 太三
「武功夜話」の成立年について	松井 雅文
尾張徳川家寺院の塔頭 名古屋城下処々(3)	小林 元
西小路・富士見原の競合と伊勢音頭の成立	大野 健
小田井表の痕跡—旧春日井郡下小田井村の場合	半田 実
大惣(大野屋惣八)貸本屋印	
—『金府繁栄風流選』とその後、明治の雑誌の綴じ込み版画	服部 仁
尾張の俳句(1)	大野 哲夫
能楽藤田流笛方小島鉄次郎の周辺	
—故松田直子氏旧蔵資料と御遺族の聞き書きから	飯塚恵理人
見学研修会「小田井の市と山車祭礼」を案内して	半田 実

#### ◆新編西尾市史研究

〒445-0847西尾市亀沢町480 西尾市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会事務局

文化振興課 西尾市史編さん担当 TEL0563-56-6660 2015年創刊

◇6 2020.3 A4 146p 700円

口絵 三台七曜二十八宿星曼荼羅 宝珠院(吉良町吉田)蔵／一峰明一

宛一条経通御教書 実相寺(上町)蔵

## 古代参河国関係史料再考

- 一 波豆(播豆・幡豆)・青見(碧海)・穂(宝飫)の各郡を中心に 田島 公  
三河実相寺所蔵 一条経通御教書について
- 一 東福寺大檀那による長老職補任と九条流 村瀬 貴則  
堯雲寺記の復元とその内容の一考察—吉良上野介義定母の出自 小林輝久彦  
アジア・太平洋戦争期における海洋道場の建設
- 一 愛知県幡豆・塩津海洋道場を中心に 木村 美幸  
西尾市・宝珠院蔵「三台七曜二十八宿星曼荼羅」と朝鮮時代の星信仰 呉 永三
- 資料紹介 『吉良家日記』関連史料の翻刻と紹介(2) 水村民之/平井誠二  
調査報告
- 西尾市で採集したミジンコ類—東部丘陵地を中心として 小鹿 亨  
伝承の姿・形—「鳥羽の火祭り」を例にして 野本欽也/伴野義広

## ◆新編西尾市史だより

〒445-0847西尾市亀沢町480 西尾市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会事務局  
文化振興課 西尾市史編さん担当 TEL0563-56-6660 2015年創刊

### ◇6 2020.2 A4 8p

- 外来種タケオオツクツクを西尾市で確認 間野 隆裕  
こちら美術工芸・建造物部会です。 神谷 浩  
学童疎開と西尾 岡田 洋司

主な活動記録(平成31年4月～令和2年1月現在) 編さん委員会/編集  
委員会/考古部会/古代・中世部会/近世部会/近・現代部会/自  
然部会/美術工芸・建造物部会/民俗部会

『新編西尾市史 資料編1 考古』刊行記念行事 西尾市岩瀬文庫特  
別展「考古遺物の美と謎」/パネル展「写真から見た西尾市の発掘  
のあゆみ」/西尾市史講座 全4回/西尾市史シンポジウム「縄文  
時代の西尾」/西尾市史資料館企画展「にしおのいせき」/一色学び  
の館企画展「古墳時代の西尾」/古墳探検ツアー

## ◆豊田市史研究

〒471-0079豊田市陣中町1-19-1 豊田市教育委員会文化財課市史編さん室  
TEL0565-36-0570 2010年創刊

### ◇11 2020.3 A4 154p

- 口絵 猿投神社(山中観音堂)木造千手観音菩薩立像 修理後  
「大日本国誌」の編纂と地誌材料収集—愛知県西加茂郡を中心に 石川 寛

西三河地方における電気利用組合 日本一の集積が意味するもの 浅野 伸一  
愛知県松平公民学校の設立 杉浦由香里  
中条秀長と高橋庄 松島 周一  
岩倉村平藪宇野善右衛門家について 勝亦 貴之  
豊田市に棲息する貝類の分布と生態に関する考察 川瀬 基弘  
資料紹介

猿投神社(山中観音堂)の木造千手観音菩薩立像について 見田隆鑑/横川耕介  
旧紙屋鈴木家伝来屏風作品について 神谷 浩

◆名古屋民俗 名古屋民俗研究会

〒489-0867瀬戸市大坂町416-9 伊藤良吉方 TEL0561-84-7044 1971年創刊

◇61 2019.11 B5 41p

講演録

私の歩んできた道(1) 2018年10月例会 伊藤 良吉  
私の歩んできた道(2) 2018年11月例会 伊藤 良吉  
私の歩んできた道(3) 2019年1月例会 伊藤 良吉

◆蓬 左 名古屋市蓬左文庫

〒461-0023名古屋市東区徳川町1001 TEL052-935-2173 1980年創刊

<http://housa.city.nagoya.jp>

◇別冊 2020.1 A4 4p

特別展「尾張徳川家の雛まつり」/企画展「いつだって Kawaii 大好き」

◆まつり まつり同好会

〒496-8049愛西市塩田町砂山25 TEL0567-37-0441 年5000円

1961年創刊 <http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇81 2019.12 A5 64p 2000円

《特集 傘鉦と吊り下げ物》

口絵 茨城県稲敷市古渡の祇園祭 頭殿と扇人(昭和36年) 鉢巻き・陣羽織の頭殿が乗人に肩車され、傘が差しかけられ布状の吊り下げ物がある。/猪苗代町・関脇優婆夷堂の傘鉦と安産祈願(撮影・内山大介)/酒田市・瀧沢寺観音堂の傘福(撮影・内山大介)

傘鉦・差し傘・吊り下げ物 坂本 要  
奉納される傘鉦と吊り下げ物一東北日本海地域における傘鉦の展開 内山 大介  
表紙写真 秋田県由利本庄市・八幡神社祭礼絵馬(明治33年奉納 部分)

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛西市塩田町砂山25 TEL0567-37-0441 年5000円

<http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇605 (60-1) 2020.1 B5 8p 600円

表紙写真のことば

富士六斎祈祷念仏 山梨県早川町黒桂 1月3日 撮影：坂本要 坂本 要  
埼玉・銚子口の獅子舞 石川 博司  
柳田大祭—奥能登のキリコ祭りの一例 佐野 尚子  
新刊紹介 民間念仏信仰の研究 坂本要

◇606 (60-2) 2020.3 B5 8p 600円

表紙写真のことば

山ノ荘日枝神社流鏝馬祭 茨城県土浦市小野 四月第一日曜 坂本 要  
群馬・並榎町の獅子舞 石川 博司  
三信遠地域の民俗芸能から日本民俗学を学ぶ…  
「西浦田楽」再訪記(2)続き 米津 俊裕

民俗芸能情報 「世界無形文化遺産フェスティバル2019」

◇607 (60-3) 2020.5 B5 8p 600円

表紙写真のことば 博多どんたくの傘鉾

福岡県福岡市博多区上川崎 櫛田神社 5月3日～4日 坂本 要  
三重県志摩市 浜島・宇気比神社の「盤の魚」神事 小早川道子  
猩々と大人形 藤本 凌  
愛媛縣に残る史前遺石—上黒岩岩陰遺跡(刻證石)の解讀について 水原 渭江

◆MIXED MUSES 愛知県立芸術大学音楽学部音楽学コース紀要

〒480-1194長久手市岩作三ヶ峯1-114 愛知県立芸術大学音楽学部内(東谷研究室) TEL0561-62-1180

◇15 2020.3 A5 98p

18世紀ベルリンにおける亡命ユグノーの出版社たち—R.ロジェとA.デュサラによる『ダヴィッド詩篇集』の出版をめぐる 七條めぐみ  
近代フランスの音楽教育—フォーレのパリ音楽院院長就任をめぐる 井上さつき

コミュニケーションとしての音楽：

クラシック音楽とポピュラー音楽をめぐる—考察 安原 雅之  
戦後日本のポピュラー音楽をどう捉えるか  
—本物志向と「記憶」を手がかりとして 東谷 護  
「ミクスト・ミュージズ」第15号記念特集

- 音楽学コースの歴史をふり返る 永井 文啓  
 特別講座報告(1) フレデリック・ペリエ先生「音と画像による中世  
 の音楽—Web サイト Musiconis を使って」 七條めぐみ  
 特別講座報告(2)  
 芝崎裕典先生「敗戦国ドイツ音楽の越境性・非ナチ化・冷戦—」 東谷 護  
 レクチャーコンサート報告 ジャン・ジャック・バレ先生「レクチャー  
 ・コンサート 室内楽の夕べ—ジャン・ジャック・バレ先生をお  
 迎えして」 七條めぐみ

◆もりやま 守山郷土史研究会

〒463-0075名古屋守山区市場15-12 道木正信方 TEL052-791-2304  
 年3000円 1982年創刊

◇39 2020.1 B5 208p

- 衣ヶ原飛行場と富士滑空機 伊東 重光  
 「オカラネコ」考 伊東 重光  
 令和の梁山泊 西尾 春子  
 資料紹介 小幡村御觸留(31)—明治八年 御用留(7) 守山古文書の会  
 「御用留」を読み終えて 守山古文書の会(蟹江和子・坂口泰子・都筑敏人・利根  
 庵三郎・道木正信・西尾春子・中島孝司・和田富士雄)

資料紹介

- 春日井郡大森村文書四 道木 正信  
 村井空次郎日記抄二 道木 正信  
 寛文四年 大森村新田檢地帳 道木 正信  
 守山郷土史研究会の歩み(39) 守山郷土史研究会  
 平成年間守山区歴史年表 守山郷土史研究会  
 変貌する瀬戸線(11) 荒川 康彦

三 重 県

◆皇學館史学 皇學館大学史学会

〒516-8555伊勢市神田久志本町1704 皇學館大学文学部国史学科研究室  
 TEL0596-22-6456 1986年創刊 <http://kokushi.kogakkan-u.ac.jp>

◇35 2020.3 A5 60p

- 1930年代における満洲経営の宣伝—満蒙資源館と満蒙学術調査団 長谷川 怜  
 北京の二つの国際シンポジウムに出席して 多田 伊織

◆皇學館大学研究開発推進センター紀要

〒516-8555伊勢市神田久志本町1704 TEL0596-22-6466 2015年創刊

http://www.kogakkan-u.ac.jp

◇6 2020.3 A4 227p

平成30年度皇學館大学研究開発センター神道研究所公開学術講演会

大嘗祭一天皇祭祀権と在地性 岡田 莊司

平成30年度皇學館大学研究開発センター神道研究所公開学術シンポジ

ウム 鈴木重胤翁の人と事績

発題者 浦野綾子・佐野真人・加茂正典／司会・大平和典

鈴木重胤の足跡 浦野 綾子

鈴木重胤翁と日本書紀伝 佐野 真人

鈴木重胤の事蹟 加茂 正典

資料

日本後紀史料 番外編一『新撰姓氏録』氏族一覽

皇學館大学研究開発推進センター史料編纂所

神宮皇學館『修学旅行 熊野日記』(明治三十年)一神宮皇學館修学

旅行日記・満鮮旅行記(3) 皇學館大学研究開発推進センター館史編纂

資料紹介 「香川家関係史料」目録 梅田 優歩

◆三重県史研究 三重県環境生活部文化振興課 県史編さん班

〒514-0004津市栄町1-954 三重県栄町庁舎2階 TEL059-224-2057 1985年創刊

◇35 2020.3 A5 135p

棟札資料論一紀伊国牟婁郡入鹿八幡宮と地域社会の変遷 伊藤 裕偉

『作善日記』にみる作善対象地の再考察 石神 教親

九鬼氏の代替わりについて一嘉隆から守隆への家督交代 豊田 祥三

『忘筭竊記』と伊勢の山本読書室門人たち 小玉 通明

二大政党形成期(1923~32年)の政友会・民政党三重県支部 西川 洋

資料紹介 「三重県内寺子屋・私塾一覽表」について 松村 勝順

書評

『三重県史』「通史編 近現代2」

一現代三重への転換期、現代の三重 堀田 暁生

『三重県史』「通史編 近現代2」一産業・経済分野を中心に 宇都宮千穂

『三重県史』「通史編 近現代2」一教育・文化を中心に 吉川 卓治

◆三重の古文化 三重郷土会

〒514-2305津市安濃町清水1008 浅生悦生方 TEL059-268-2671

年4000円 1947年創刊

◇105 (通146) 2020.3 A5 185p

- 川越町高松の「足上げ祭」を通して見た富田地域祭礼の古層  
伊坂銅鐸についての覚書き  
横穴式石室図集  
『山雄田興廢記』を読み解く(下)  
松阪木綿商・紅屋平助の江戸進出  
平安読書室伊勢出身門人らの本草物産問答  
コラム 県内関連の刊行例から  
追悼 世界遺産「熊野古道」の保存に尽力された花尻薫先生  
本居宣長母の実家再考  
伊東富太郎の足跡(10)―多度大社銅鏡  
「大阿阪邨修池之碑」の訓読と考察  
米騒動時の三重県内米廉売(上)  
新刊紹介 浅生悦生著『続・知られざる郷土史 津とその周辺』  
紐育(ニューヨーク)からの手紙  
史料復刻 松阪市大足町「閨田家」文書(2) 三重郷土会古文書勉強会  
新聞記事から―2019年 下村登良男
- 久志本鉄也  
辻 直樹  
村上 喜雄  
辻本 豊  
松村 勝順  
小玉 道明  
藤田 明  
三石 学  
鶴川 貞二  
石神 教親  
杉本 喜一  
西川 洋  
湊 章治

## 滋 賀 県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

<http://www.biwako-arts.or.jp>

◇170 (44-1) 2020.1 B5 88p 600円

《特集 光秀 虚像と実像》

プロローグ

信長と光秀 そして琵琶湖 大沼 芳幸

光秀ゆかりの近江の地(地図と解説)

史料にみる光秀

「気配り」から「法治」へ 次代の先駆け、光秀の統治術 福島 克彦

光秀「多賀出身説」を追う 井上 優

光秀を歩く ゆかりの地ガイド 大沼 芳幸

光秀の城 坂本城と宇佐山城 光秀の湖の城と山の城 中井 均

光秀像の変遷 謀反人から悲劇の武将へ 橋本 章

眼差し変遷、英雄譚の誕生

光秀を読む 岡本光夫さんが選ぶ5冊 『明智光秀』(早乙女貢著  
1961年)／『昨庵』(中山義秀著 1963～64年)／『安土往還記』(辻邦  
生著 1968年)／『逆軍の旗』(藤沢周平著 1973年)／『鬼と人と』  
(堺屋太一著 1989年)

光秀を読む 光秀の暗号～愛宕百韻 岡本 光夫  
海から京へ 古の大動脈 報告・塩津港遺跡(2)

清盛時代の起請文、ざくざく 横田洋三／横田洋三  
ぶらり近江はっけん伝(10) 愛荘町 岸野 洋  
万葉の旅人(3) 塩津から敦賀へ、難所で家想う 文と曲・林博通／画・鈴木靖将  
芸術研究家 待文麻呂の芸能話(10)最終回 びわこ音頭 待文麻呂(松本敬三)  
歴史の玉手箱(14) 明治時代の城郭保存 杉原 悠三  
近江の懐(12) 北国脇往還 春照宿

太平観音堂の円空さん 加藤 賢治  
春照の水 石川 亮

北から南から

湖北の古民家に、再び差し込む光 長澤由香里  
草津でコハクチョウと出会いませんか? 大塚佐緒里  
様々な滋賀に出会う「ここ滋賀 SHIGA」 辻川 育子  
「来る者拒まず」上馬杉集落の心意気 中邨 奈津

◆戦国史と人 女風林火山 戦国史と人を学ぶ会／武田勝頼・松姫探究会

〒520-0528大津市和辻高城289-11 首藤義之方 年1400円 1987年創刊

◇64 2020.1 B5 76p

《特集 佐々木六角氏と信長・秀吉・家康(上)》

本能寺の変と木俣守勝・井伊直政

一信長暗殺の実行者だったのではないか 首藤 義之  
毛利高政(木曾義昌・真理姫夫妻の娘婿)は佐々木鯉江氏の出身だった  
のか一高政と豊臣秀次事件に連座した鯉江権之介女との関係 首藤 義之  
佐々木六角氏の「表記と系図」(定説)の誤りを正す一箕作義治跡を継  
いだ定治が日光東照宮に納めた「佐々木家系」が誤りの原因 首藤 義之

◆彦根城博物館だより

〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊

<http://www.hikone-castle-museum.jp>

◇127 2019.12 A4 4p

テーマ展 彦根藩井伊家の鷹狩り 表紙：御書留 当館蔵

展示案内 テーマ展 彦根藩井伊家の鷹狩り、テーマ展 蓬萊一壽ぎ  
の文様、特別公開 籠と籠道具、テーマ展 漆芸の精華—江戸時代  
を中心に／常設展示 “ほんもの” との出会い

研究余録 金亀玉鶴 鷹狩りの事前準備と村々 竹内 光久

◇128 2020.3 A4 4p

テーマ展 漆芸の精華—江戸時代を中心に  
銀地七宝衤文鞍 当館蔵

展示案内 テーマ展 漆芸の精華—江戸時代を中心に、特別公開 国  
宝・彦根屏風、テーマ展 伝承のなかの戦国—古城図・布陣図・合  
戦記、テーマ展 彦根藩御用絵師 佐々永海—写山楼から愛雪楼へ  
／常設展示 “ほんもの” との出会い

研究余録 金亀玉鶴 湖東焼における陶器制作 奥田 晶子

◇129 2020.6 A4 4p

企画展 拵—井伊家伝来刀装選 鶴足皮巻鞘大小拵 当館蔵

展示案内 2020年6月～2020年9月 テーマ展 彦根藩御用絵師・佐竹  
永海—写山楼から愛雪楼へ、企画展 拵—井伊家伝来刀装選、テ  
ーマ展 武家の備え—井伊家伝来の馬具、企画展 彦根藩井伊家と能  
楽／常設展示 “ほんもの” との出会い

研究余録 金亀玉鶴 井伊直弼の軍学修行 蔭山 兼治

## 京 都 府

### ◆京都府立大学文学部歴史学科 フィールド調査集報

〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL075-703-5491 2015年創刊

◇6 2020.3 A4 130p

第I部 地域の歴史と文化遺産の調査(京都府域)

京都市東山・三嶋神社文書調査と地域の文化財 水谷 友紀

京都市雲ヶ畑波多野家文書調査・成果報告会 有賀 陽平

祇園祭山鉾町・山伏町文書調査の成果 竹中友里代

京都市左京区北部山間地の集落維持と文化財

京都府立大学文学部地理学研究室

「京都の歴史を歩こう！西陣編」実施報告 篠原 光

京都文化博物館総合展示「道具と材料の職人譜」への企画協力 堀池 一希

綾部市君尾山光明寺の建造物調査 岸 泰子

綾部市君尾山光明寺の文化財調査と出前授業 正瑞 千幸

舞鶴市における高大連携と世代間交流の実践

—多門院ウォーク・東舞鶴高校授業・文書調査	橋本 空
第Ⅱ部 地域の歴史と文化遺産の調査(京都府外)	
奈良県十津川村史の歴史資料調査	藤岡 春那
滋賀県東近江市建造物調査	岸 泰子
兵庫県神河町における遺跡の発掘と活用	京都府立大学文学部考古学研究室
岐阜県関市建造物調査	岸 泰子
岐阜県関市小瀬の景観調査	京都府立大学文学部地理学研究室
愛媛県松野町芝家文書調査	山田 洋一
愛媛県松野町の文化的景観調査	京都府立大学文学部地理学研究室
熊本県天草市上田家文書調査	東 昇
沖縄県宜野湾市現地調査実習	京都府立大学文学部地理学研究室
台湾茶(テロワール)調査	岸 泰子
ジャマイカの砂糖プランテーション跡地	川分 圭子
第Ⅲ部 京田辺市・和束町史関連調査速報	
京田辺市シオ1号墳の調査	京都府立大学文学部考古学研究室
京田辺市シオ1号墳の石室石材	橋本清一／岡田大雄／鈴木康太
京田辺市堀切古墳群の再検討(1)	田口裕貴／岡田大雄
京田辺市松井窯の検討	稲本 悠一
京田辺市史の文書調査	窪田 竜也
京田辺市建造物調査	岸 泰子
和束町和束天満宮周辺における考古学的調査	京都府立大学文学部考古学研究室
和束町の文書調査—和束町の歴史と大嘗祭	藤本 仁文
和束町建造物調査	岸 泰子
和束町の文化的景観調査	京都府立大学文学部地理学研究室
第Ⅳ部 文化遺産フィールド研修報告	
福井県美浜町における文化遺産学フィールド実習の概要	諫早 直人
南伊夜山遺跡出土銅鐸の3次元計測	岡田大雄／守田悠
文化遺産周遊ルートをつくる—興道寺廃寺跡の活用へ向けて	諫早直人／土井悠紀
須可麻神社・麻気神社の建築	安部萌花／宮田匡
菅浜の組織と年中行事・盆行事	長谷川巴南／石橋茉莉
菅浜の精霊船	村井 九樹

◆史迹と美術 史迹美術同協会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内

TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

- ◇901 (90-1) 2020.1 A5 32p 916円  
日本庭園・石造美術あれこれ(4) 鹿苑寺(金閣寺)南池跡の性格 尼崎 博正  
干支(えと)と年号 品角阿止美  
第1060回例会 大津市西南の史跡・文化財を訪ねる 野崎小百合  
第46回「石像美術勉強会」報告 西宮市内一円の石造美術  
幹事：高橋浩行氏・品角阿止美氏 田中 康夫
- ◇902 (90-2) 2020.2 A5 30p 916円  
奈良市山陵・佐紀町の神社 迎春の風習 村田 和義  
京のまちな(町名)こぼれ話 品角阿止美  
第1061回例会 朝来市の文化財を訪ねる 高橋 浩行  
第47回「石造美術勉強会」報告 富川磨崖仏から草津市の石造美術 安田 成  
第42回 総会報告 田中 康夫
- ◇903 (90-3) 2020.3 A5 36p 916円  
鹿苑寺南苑に関する一仮説  
一尼崎博正氏「鹿苑寺(金閣寺)南池跡の性格」を読んで 加藤 繁生  
古建築調査ノート(8) 軒まわり その一 垂木と枯木(上) 矢ヶ崎善太郎  
第1062回例会 稲沢市の仏像 岩崎 幸一  
二〇一九年度例会活動記録  
史迹美術同致会「石造美術勉強会」第55回 京都市 北野天満宮境内  
と周辺の石造美術／史迹美術同致会「石造美術勉強会」第56回 八  
瀬蓮華寺～上高野～一乗寺へ石造美術と文化財を訪ねる
- ◇904 (90-4) 2020.5 A5 32p 916円  
日本庭園・石造美術あれこれ(5)  
修学院離宮・上御茶屋の浴龍池が語るもの 尼崎 博正  
古建築調査ノート(9) 軒まわり その一 垂木と枯木(下) 矢ヶ崎善太郎  
第1063例会 東福寺塔頭と伏見稲荷の周辺文化財 山田 隆之  
第48回「石造美術勉強会」報告 狛坂磨崖仏へハイキングする 山根 祥司

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0883福知山市本堀1430 中村邦夫方 TEL0773-22-2737

- ◇797 2018.8 B5 4p  
元伊勢・内宮と外宮の八朔祭礼由来 岡垣 清己  
資料紹介 福知山城の転用石 石燈籠 大槻 伸
- ◇798 2018.9 B5 4p  
福知山史談会・緑陰講座(9月9日)

上夜久野高原・放光院茶堂において	文責・岡垣清己
大工道具考(3) 玄翁・玄能(げんのう)／鏝(かすがい)	岡垣 清己
資料紹介 福知山城の転用石一二つに折られた石仏	大槻 伸
◇799 2018.10 B5 4p	
多保市「薬師堂」平成の大修復竣工～集い・祈り・憩いの場	芦田 八郎
二つの京街道	高橋 俊成
渡し舟(会報部よりのお願いです)	
◇800 2018.11 B5 6p	
山口正世司先生 安らかに	
追悼文	芦田 精一
追悼文	村上 政市
追悼文 山口正世司さんのある一面	塩見 昭吾
追悼文	藤田 薫二
山口前会長の思い出 会員が減るとる／楽しいお供	中村 邦夫
書斎訪問記 山口正世司先生	岡垣 清己
◇801 2018.12 B5 6p	
福知山音頭に唄われる「葵の御紋」の謎に関する憶測2018	尾松 克巳
大工道具考(4) 罫引(けびき)／掛矢(かけや)	岡垣 清己
資料紹介 福知山城の転用石一蓮華が開いた	大槻 伸
◇802 2019.1 B5 6p	
山の神「亥の子の餅」のお祝い	芦田 八郎
朝倉山椒について	大槻 伸

◆地名探究 京都地名研究会

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431  
 年3000円 2003年創刊 <http://kyotochimei.wix.com/kyotochime/>

◇18 2020.3 A4 92p	
巻頭言 二十周年にむけて	小寺 慶昭
講演	
『万葉集』の未詳地名を考える(京都編)	綱本 逸雄
浄妙寺跡発掘と藤原道長墓	杉本 宏
偽書の偽書性と資料価値ー『丹後国風土記 残欠』の場合	糸井 通浩
明治維新の京都を歩く	入江 成治
縄文アニミズムと人体語地名例ー梅原猛先生を偲んで	永田 良茂
環濠集落と地名ー南山城の場合	岩田 貢
二つの許波田神社	小寺 慶昭

近衛通考	清水 弘
壬生通の名称について	古谷 孝造
難波津の花	沖村 由香
幕末期の近衛家別邸「桜木町御殿」について	原田 良子
地名ウォーク	
木幡と淀の史跡と地名を訪れる	酒井 源弘
仏教の祖師の史跡めぐり	小西 宏之
提言 永田氏のアイヌ語地名論について	小寺 慶昭

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431  
年3000円 2002年創刊 <http://kyotochimei.wix.com/kyotochime/>

◇68 2019.12 A4 8p

第53回地名フォーラム報告

発表 「二つの許波多(こはた)神社」小寺慶昭氏 小寺 慶昭

講演 「浄妙寺発掘と藤原道長墓」杉本宏氏(当日レジュメより引用)

第54回地名フォーラム開催案内 発表1 テーマ「令和と万葉集—地名の語る梅の渡来—」沖村由香氏、発表2 テーマ「古代寺院の寺名と地名の考古学—山号・院号・法号・寺号—」中島正氏

仏教の始祖の史跡めぐり 第2回地名ウォーク報告 小西 宏之

報告 本町通りの歴史 清水 弘

第52回フォーラム発表要旨 環濠集落と地名—南山城の場合 岩田 貢

◇69 2020.3 A4 8p

第54回地名フォーラム報告 発表

発表「令和と万葉集—地名の語る梅の渡来」 沖村 由香

「古代寺院の寺名と地名の考古学—山号・院号・法号・寺号」 中島 正

地名随想 梅原氏のアイヌ語論(2) 小寺 慶昭

連載 新・地名ものがたり(4)「伊勢」のワード・ファミリー 糸井 通浩

新刊『近江の地名』の報告 『近江の地名』編集委員会

◆やましろ 城南郷土史研究会

〒619-0204木津川市山城町上狛南野田芝29 中津川方 TEL0774-86-3262  
年2000円 1953年創刊

◇33 2019.12 B5 130p 1100円

大正～昭和初期における地域メディアの役割とその変化

—南山城地域の『山城』を題材に 辺谷本圭祐

正徳の木津川水害と集落移転	中川 博勝
太平洋戦争下の京都飛行場	
一通信省京都地方航空機乗員養成所を中心に	仁張 真人
木津川市上粕出身 不屈のジャーナリスト・柳沢恭雄とその人生(下の3)	
レッドページから北京・自由日本放送へ	赤塚 康雄
追悼	
歴史学の成果を伝え、地域の歴史をともに考え合ってください若	
い研究者一井ヶ田良治先生 高取正男先生 熱田公先生	中津川敬朗
黒川直則さんの山城国一揆	田中淳一郎
山城文学誌のあわさい(11)	
永遠に眠れ、この地に一俳人・宝蔵寺久雄氏の松井遭難	古川 章
「浄瑠璃寺の春」の縁	佐伯 功勝
宇治 文学碑廻り(7)完	小西 亘
田原村の日露戦争(3)	
宇治田原町今西義彦家文書にみる戦地からの手紙(上)	橘 尚彦
回想 城南郷土史研究会入会前後(下)	赤塚 康雄
南山城地域の仏像 参考文献集成 十四世紀の仏像	八田 達男

#### ◆立命館大学国際平和ミュージアム日より

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TEL075-465-8151 1993年創刊

<https://www.ritsumekan-wp-museum.jp/>

#### ◇79 (27-3) 2020.1 A4 4p

新年のご挨拶	吾郷 眞一
ミュージアムの収蔵品(74) 年賀状	兼清 順子
ボランティアガイドコラム	幾波 素代
学生スタッフ活動記録 2階展示学生スタッフ編	学生スタッフ S
遊心雑記 思いがけないこと	安斎 育郎

#### ◇80 (27-4) 2020.3 A4 4p

2020年度のスケジュール 2020年度春季特別展 放射線像/Autoradiograph—放射能を可視化する／世界報道写真展2020—WORLD PRESS PHOTO 20／2020年度 秋季特別展 南京国際平和ポスター・ピエンナーレ／夏休み子ども企画 「へいわ」ってなに?? 2020

2020年度ミニ企画展示 第132回「中国人強制連行・強制労働と万人坑(人捨て場)」／第133回「京都の戦争展」／第134回「昭和初期の和服柄に宿る戦争」／第135回「第14回立命館附属校平和教育実践展

示ノ第136回「おなじ太陽のもとで一ペルーへ日本人移民の始まり」	
ノ第137回「第25回京都ミュージアムロード参加企画」	
ボランティアガイドコラム	高見 祥一
学生スタッフ活動記録 メディア資料室編	横瀬 沙耶
ミニ企画展示 第130回「世界一貧しい元大統領から学ぶ“本当の豊かさ”」ノ第131回「US～学生が見たロヒンギヤ～」	
遊心雑記 神と仏のラグビー	安斎 育郎

## 大阪府

### ◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204  
年1200円 <http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/>

#### ◇385 2020.1 B5 12p

焼芝大師、とじる	事務局
立石垂頼念典が生きた時代と人々(8) 五、家譜序を読んで思うこと	立石 元
土地台帳にみる土地利用(5) 俵屋	井田 寿邦
和泉の中世城郭(57)	井田 寿邦

新刊 地域の事典15 樫井川水系の農地開発

#### ◇386 2020.2 B5 12p

岸高和漢書の往来物—明治期の往来物	下村 欣司
室町幕府中枢の動きと和泉(17) 八 三好政権の成立と展開(続)	井田 寿邦
和泉の中世城郭(58)最終回	井田 寿邦
情報 相良藩天封と岡部・要家	

#### ◇387 2020.3 B5 12p

続・泉佐野顕如伝説の実相—教如が顕如に転化したのは何故か	伊藤 良清
蛇谷城址踏査見学に参加して	嶋中 佳輝
土地台帳にみる土地利用(6) 上之郷	井田 寿邦

新刊 百人の佐野物語103集(資料編184) 北山理編『浮世絵と佐野』

#### ◇388 2020.4 B5 12p

蛇谷城小考—野田山城(根福寺城)との関係を中心に	嶋中 佳輝
室町幕府中枢の動きと和泉(19) 八 三好政権の成立と展開(続)	井田 寿邦
史料 佐野村の寺社(1) 藤田家文書「佐野村寺社帳」(15-1)(1)	

#### ◇389 2020.5 B5 12p

天和三年の唐金家の小倉藩への大名貸しの史料	廣田 浩治
土地台帳にみる土地利用(7) 長滝ノ樫井	井田 寿邦

佐野の孝子越街道商店街  
史料 佐野村の寺社(1) 藤田家文書「佐野村寺社帳」(2)

北山 理

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所

〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333

1980年創刊 [http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page\\_id=871](http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=871)

◇89 2020.3 A5 98p 700円

口絵 見性寺 木造阿弥陀如来坐像・像内銘文

南都北室大仏師宗印の事績—大阪・見性寺阿弥陀如来坐像の調査から

川北 奈美

聖護院門跡所蔵「四天王寺別当職文書集」と中世前期の四天王寺別当

相馬 和将

古代における摂津と丹波を結ぶ長尾道

前田 豊邦

史料紹介 箏曲家：初世菊田歌雄関係史料

笠井純一／笠井津加佐

みおつくし 日本暦日原典

尾崎 安啓

新刊図書紹介 肥田皓三著『再見 なにわ文化』

古川 武志

口絵 見性寺 木造阿弥陀如来坐像

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-

1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇424 (37-1) 2020.1 B5 8p

新年のご挨拶

片倉 穰

令和元年12月例会報告(第398回) 「戦後大阪城天守閣展示資料収集に  
ついて」—在職中のいくつかの忘れがたいエピソードを手がかりに

渡辺武氏

(報告・井川)

「第八回活動資金支援交換会」開催

会員の書評 『病が語る日本史』(酒井シズ著 講談社学術文庫) 評者・加藤照也

◇425 (37-2) 2020.2 B5 8p

巻頭言 神のおやしろのこと(47) 敷津松之宮「狛ねずみ」

和久 敦也

令和2年1月例会報告(第399回) 「『平家物語』と『治承物語』」

浜畑圭吾氏

(報告・夏原)

追悼 吉井功兒氏 九十一歳でご逝去

松坂 定徳

会員の書評 『「生類憐みの令」の真実』(仁科邦男著 草思社) 評者・加藤照也

◇426 (37-3) 2020.3 B5 8p

巻頭言 神のおやしろのこと(48) 敷津松之宮(2) 木津勘助之墓

和久 敦也

3月15日例会中止のお知らせ 「身売りを斡旋する人たち」—金沢の芸  
娼妓紹介業と娼妓 人見佐知子氏

令和2年2月例会報告(第400回)

日本の神様入門—日本人は何を拜んできたか 和久敦久氏 (報告・井川)  
会員講座 第33回 神道について 白須一信氏 (報告・井川)  
会員の書評 『貨幣の日本史』(東野治之著 朝日選書574) 評者・加藤照也

◇427 (37-4・5) 2020.4 B5 4p

巻頭言 神のおやしらのこと(49) 難波八坂神社 和久 敦也

4月26日例会中止のお知らせ 「古代の境界意識」—『万葉集』を中心に  
— 竹本晃氏

会員の書評 『傀儡政権』～日中戦争、対日協力政権史(広中一成著  
角川新書) 評者・加藤照也

#### ◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7 成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇82 2020.3 A5 84p

巻頭写真 この言葉(34) 大地震両川口津浪記 翻刻

大地震両川口津浪記 長尾 武

講演録 江戸の災害史と大塩事件 倉地 克直

林良斎の学問と思想 塩野てるみ

吹田市立博物館令和元年度秋季特別展および関連イベントについて 内田 正雄

特別展「大塩平八郎展 四海困窮いたし候はば」 池田 直子

酒井一先生との思い出—「出会い」から「別れ」まで 松永 友和

資料翻刻 「大塩平八郎一軒科書 写」(1) 大塩の乱関係資料を読む部会

会員だより 大塩事件研究会との出会い 甲斐規予子

「野外フィールド(岸部)アンケート」集計

#### ◆かいづか文化財だより テンブス 貝塚市教育委員会

〒597-8585貝塚市畠中1-17-1 TEL072-433-7126 1996年創刊

◇70 2020.2 A4 8p

地域の文化財を守り伝えよう—釘無堂とぼっかんさんの修理から 国  
宝孝恩寺観音堂の修理／重要文化財願泉寺の修理

地域で守り続けられる櫛の神さま 八品神社

「貝塚市の伝統工芸 和泉櫛ストーリー—つげさんのルーツを訪ねて」

特別展／第121回かいづか歴史文化セミナー見学会

地域再発見！妙願寺から水間寺へ 第1部／第120回かいづか歴史文

化セミナー 現地見学会「水間街道を探訪しよう―行基と楠木正成のゆかりの寺院を訪ねて」

古文書講座―市内にのこる身近な古文書 江戸時代の凶作と歎願／古文書講座61(通算292回～296回)開催のお知らせ 「庄屋不帰依(ふきえ)―江戸時代の村内対立」

◇71 2020.6 A4 8p

表紙 国宝孝恩寺観音堂 令和の大修理

つげさんのルーツ 様々な「和泉櫛」

国宝孝恩寺観音堂 令和の大修理(1)

千石堀城跡の発掘調査(4)

地域史『貝塚市の70年』を読む会／地域史『貝塚市の70年』を読む会  
記念講演会一覧

東京オリンピックと貝塚―貝塚市歴史展示館の展示資料から(2)

水間街道沿いの道しるべ(8) 道陸神社里程標(水間)

#### ◆河内長野市郷土研究会誌

〒586-0032河内長野市栄町21-11 椋本進方 TEL0721-52-3394 年3000円  
1979年創刊

◇62 2020.4 B5 92p

A I・人工知能(じんこうちのう)と人工脳(じんこうのう)

浅井 五郎

加賀田と畠山氏

松尾巴瑠美

錦溪温泉油屋のちらし

松本弘(裕之)

連帯責任の呪縛！ 五人組制度と村落の暮らしについて

岩根 昭男

さやま池遊園のちらしについて

松本弘(裕之)

金剛山の町石

奥村 隆彦

『楠木正儀』の生涯についての考察

川中ひとみ

大念寺の西国三十三度供養塔と浄谷寺について

玉城 幸男

河内長野市郷土研究会会誌 竹鼻康次郎論考集録

椋本 進

報告 第20回知ったのはりまっか？河内講座(報告・資料)

椋本 進

#### ◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階  
TEL06-6775-3686 年2200円

◇842 2020.1 A4 10p 300円

伊勢参宮街道を訪ねて(7)―宮川柳の渡しから内宮へ

来村多加史

富雄・菅原の歴史の道を往く

鷺森 浩幸

- ◇843 2020.2 A4 8p 300円  
世界遺産としての古市古墳群の価値(1)―巨大前方後円墳と陪冢 森本 徹  
京都・東山の古刹 南禅寺と銀閣寺 矢ヶ崎善太郎
- ◇844 2020.3 A4 8p 300円  
奈良東山中西部の石造物 狭川 真一  
柳本古墳群を歩く 森下 恵介
- ◇845 2020.4 A4 10p 300円  
キトラ・高松塚古墳の風景を観る 来村多加史  
旧大和川を歩く(5)―旧川筋の新田開発 安村 俊史  
興福寺西金堂の仏像 戸花亜利州
- ◇846 2020.5 A4 16p 300円  
奈良時代の建築に和洋の源点をみる―葉師寺東塔と唐招提寺金堂 矢ヶ崎善太郎  
倭姫命の伊勢巡幸(6)―中伊勢から南伊勢へ 岡田 登  
春日の水船 中野 和正
- ◇847 2020.6 A4 8p 300円  
西陣及びその周辺の社寺をめぐる 米屋 優  
豊臣氏の栄枯盛衰をみつめた京の大仏―考古学からみた方広寺の実態 網 伸也

◆近畿民俗 近畿民俗学会

〒633-0223宇陀市榛原区石田558-1 浦西勉方 年5000円 1949年創刊

- ◇186 2020.3 A5 79p  
追悼文
- 恩師上井久義先生を偲ぶ 近藤 直也  
「民俗」を語るひと 行俊 勉  
上井先生の思い出―新たな学問への秘めた闘争 浦西 勉  
上井久義先生を偲んで 澤井 浩一
- 盆行事でご先祖を風呂へ  
―奈良県野迫川村池津川地区における聞き書きから 白石 太良  
キラキラネームはなぜ名づけられ、なぜ嫌われるのか―過去から変容  
しているメンタリティ、不変容のメンタリティの民俗学的解析 高田 伸彦  
史料紹介 叡山文庫所蔵正観院絵図『能舞台之図(十禅師)』・『御棧敷  
拵絵図(御神事能)』 池田 晶
- 書 評  
増崎勝敏著『現代漁業民俗論―漁業者の生活史とライフヒストリー―  
研究』 文・伊藤廣之

## ◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9 上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊

<http://www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/>

## ◇98 2020.1 A5 64p 1500円

巻頭言 『日本書紀』撰進一三〇〇年

上遠野浩一

詔からみた道鏡の動向

寺西 貞弘

大化改新と有間皇子事件

西川 寿勝

小休止・会員広場

アンデス通信(51) 高野潤『大地と人を撮る』を読む

市木 尚利

遺跡の破壊と保護と活用一岐阜県関市の「古町遺跡」で考える

尾関 章

一連の天皇代替わり儀式について

上遠野浩一

飛鳥仏における「気」の表現についての一考察 1 (釈迦三尊・救世観

音・百済観音における「気」の表現の進化について)

山下 輝幸

## ◇99 2020.4 A5 64p 1500円

巻頭言 『日本書紀』成立1300年後の復権

河越 尚司

道鏡と弓削浄人

寺西 貞弘

礼制—ユーラシア東方地域における国際規範

三浦 啓伯

飛鳥仏における「気」の表現についての一考察—二 (釈迦三尊・救世

観音・百済観音における「気」の表現の進化について)

山下 輝幸

小休止・会員広場

アンデス通信(52) ペルー考古学者ホルヘ・ムエジェの型式・様式

論(1950年代~60年代)

市木 尚利

前掲拙稿「尾張之相津」と「古町遺跡」への補稿

尾関 章

新刊紹介 原秀三郎 [述]、磯前順一・磯前礼子 [編]『石母田正と

戦後マルクス主義史学』

河越 尚司

## ◆塚研究 堺市立中央図書館

〒590-0801堺市堺区大仙中町18-1 堺市立中央図書館総務課図書館サービス係

TEL072-244-3833

## ◇42 2020.3 A5 76p 660円

表紙解説 「井上関右衛門(引札)」明治年代 堺市立中央図書館所蔵

堺台場の築造時期と柳河藩の堺警衛

小林 和美

堺版教科書の基礎的研究(2)

—土屋鳳洲の『入門一読』『人之基』について

和田 充弘

◆左海民俗 堺民俗会

〒593-8302堺市西区北条町2丁10-11 佐原浩二方 TEL072-275-8588 年3000円  
<https://ameblo.jp/skmz2014>

◇163 2020.5 B5 8p

曾根崎川とキタの大火 川村 淳二  
おもてなし—昭和の東京オリンピック 下谷 佐吉  
特集 ゴールデンウィーク 北国の春 佐原 浩二  
例会報告

12月例会報告

枚岡神社のお笑い神事と宮本順三記念館の見学 担当・下谷佐吉

1月例会報告 泉北散策 担当・米道綱夫

2月例会報告 早春の斑鳩に国宝の美を訪ねる 担当・佐原浩二

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511  
<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇613 2020.1 B5 30p

日本古城友の会 総会 令和元年度の例会(概要報告)

12月・第674回例会の報告 近江 虎御前山砦を訪ねて

案内講師：中井均教授 担当幹事：中西徹・森田又一 報告・森田又一  
巨大山城「七尾城」 二瓶 久美

北海道・道南の城を訪ねて(2) 戸切地陣屋／四稜郭／五稜郭／館山

チャシ／カムイチャシ／白老元陣屋／南部藩モロラン陣屋 坂本 昇

消えゆく二つの城(1) 備中南山城 高菅 純子

別冊 日本古城友の会総会 紀伊国における畠山氏の城造り 新谷 和之

別冊 第675回例会・研究発表 去年得たお城の知見2019 栢木 隆

◇614 2020.2 B5 24p

1月・第675回例会(総会)の報告／午後、講演会と研究発表

「テレビ放映、見ました」 水品 弘樹

備前の山城「天神山城」を訪ねて 坂本 昇

消えゆく二つの城(2) 撰津蒲公英城 高菅 純子

加越国境砦群と佐々成政(1) 松根城 二瓶 久美

別冊 第676回例会 令和2年(2020)2月2日 撰津 芥川山城を訪ねて

和歌山城郭調査研究会合同開催 担当幹事：木下修二・藪西旭

◇615 2020.3 B5 24p

1月・講演会の報告 「紀伊国における畠山氏の城造り」

講演：新谷和之氏

報告・川端義憲

2月・第676回例会の報告

撰津 芥川山城 担当幹事：木下修二・藪西旭

報告・木下修二

荒木城(細工所城)探訪

下岡 力

青春18キップで福山城

川端 義憲

加越国境城砦群と佐々成政(2)

二瓶 久美

別冊 第677回例会 令和2年(2020)3月1日 阿波 一宮城を訪ねて

担当幹事：中西徹・藤岡秀典

◇616 2020.4 B5 26p

寄贈図書紹介 『ふるさと和歌山城』水島大二著 ニュース和歌山

(株)編集・発行/『世界遺産・国宝 姫路城を歩く』中川秀昭著

神戸新聞総合出版センター発行

3月・第677回例会の報告

阿波 一宮城 担当幹事：中西徹(欠席)・藤岡秀典

報告・藤岡秀典

讃岐雨滝城を訪ねて

坂本 昇

久し振りの赤穂城

水品 弘樹

◇617 2020.5 B5 26p

豊後佐伯城を訪ねて

川端 義憲

石見浜田城を訪ねて

下岡 力

巨大横堀と丸馬出し 要塞丸子(まりこ)城

二瓶 久美

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/>

◇384 2020.1 B5 20p

新春万福 石宝殿(生石神社) 荊木美行先生撮影

『播磨国風土記』の巨石伝承—石宝殿をめぐる(下)

荊木 美行

二〇一九年度バス旅行 近江の遺跡を巡る(上)

小川 滋

◇385 2020.2 B5 18p

心合寺山古墳の調査とその被葬者像

—四半世紀の内乱と佐紀政権との関わりについて

米田 敏幸

二〇一九年度バス旅行 近江の遺跡を巡る(下)

小川 滋

◇386 2020.3 B5 18p

山陰における横穴式石室の受容と展開—東西出雲を中心に

仁木 聡

◇387 2020.4 B5 18p

墳墓構造からみた摂津前期古墳の特質 上田 真弥  
奈良県磯城郡の太子道と三宅古墳群を訪ねる 石塚 一郎  
読書室 日本史研究叢刊35『日本古代の思想と天皇』 水谷千秋著

◇388 2020.5 B5 18p

豊中歴史同好会のみなさまへ 森岡 秀人  
論文に新説を探る(1)「高松塚古墳の盗掘」(岡林孝作論文)を読んで 森岡 秀人  
方違神社と百舌鳥古墳群を訪ねる 古高 邦子  
新型コロナウイルス禍に対する当面の対応 小川 滋

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学文学部 井上研究室気付  
1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇277 2019.12 A5 253p 1800円

《2019年度 大会特集号》

部会報告

考古

甕からみた商業生産の萌芽 木村 理恵  
古代土師器生産の変質過程 飛鳥・奈良時代を中心に 森 暢郎  
ミニシンポジウム 討論記録 文責・道上祥武  
古代 八世紀における律令官司の機能と変遷—図書寮を事例に 山上憲太郎  
中世  
鎌倉期王家の構造と変容 曾我部 愛  
鎌倉後期の叙位・除目と公家政権 中井 裕子  
近世 近世中後期における幕府の代官配置原則 尾崎 真理  
近代

貴衆両院関係の出発—議会制度導入過程における二院制論の展開 吉田 武弘

トーキー移行期の映画館と社会  
—一九三二年神戸のトーキー反対争議を中心に 吉原 大志

書 評

藪部寿樹著『日本中世村落文書の研究』 坂田 聡  
池田さなえ著『皇室財政の政治史 明治二〇年代の御料地「処分」  
と宮中・府中』 西川 誠  
上田誠二著『「混血児」の戦後史』 横山 尊

◇278 2020.2 A5 115p 1800円

陳定の成立に見る公卿議定の変容 吉江 崇  
明治維新时期における士族の家経営—明石藩士から質屋へ 加納亜由子  
近世における神社と門跡の関係

—祇園社と青蓮院・妙法院を事例として 石津 裕之

2019年度大会部会報告コメント

尾崎真理「近世中後期における幕府の代官配置原則」について 久留島 浩  
地域の歴史を守り伝える “郷土冊子” の出版を回顧して

—『異史話』から横野万葉会の誕生まで 大東 道雄

書評 手塚雄太著『近現代日本における政党支持基盤の形成と変容—  
「憲政常道」から「五十五年体制」へ』 若月 剛史

新刊紹介

後藤敦史・高久智広・中西裕樹編『幕末の大阪湾と台場 海防に沸  
き立つ列島社会』 山田 裕輝

大阪民衆史研究会島田邦二郎史料集成編集委員会『『立憲政体改革  
の急務』島田邦二郎史料集成—淡路島の「自由民権」と憲法構想』  
濱田 恭幸

報告 『旧真田山陸軍墓地、墓標との対話』出版記念シンポジウムの  
記録 藤田 裕介

◇279 2020.4 A5 109p 900円

日本古代の廢朝について 小林 理恵  
伊賀国玉瀧柚と天皇家産制的建築生産 古尾谷知浩

山東問題に関する日中交渉

—一九二〇年一月から一九二一年十一月まで 楊 茜

地域の歴史を守り伝える 「平野歴史民俗研究会」の成りたち 黒瀬 杲  
書 評

溝口聡著『アメリカ占領期の沖縄高等教育 文化冷戦時代の民主教  
育の光と影』 櫻澤 誠

広川禎秀・山田敬男著『戦後社会運動史論③ 軍事大国化と新自由  
主義の時代の社会運動』 山本 昭宏

佐藤卓己・河崎吉紀編『近代日本のメディア議員 〈政治のメディ  
ア化〉の歴史社会学』 石川 徳幸

新刊紹介

佐々木虔一・武廣亮平・森田喜久男編『日本古代の輸送と道路』 向井 健悟

報 告

二〇一九年度の陵墓保全整備工事への立会 北山峰生／道上祥武／花熊祐基  
安楽寿院南陵・深草北陵の立入り観察 道上 祥武

◆枚方市史年報 枚方市教育委員会文化財課市史資料室

〒573-1159枚方市車塚2-1-1 枚方市立中央図書館内 TEL050-7105-8154

1996年創刊

◇22 2020.3 B5 64p

古代交野郡再考 吉川 真司  
水利普請と地域社会—北河内淀川縁六か村悪水抜井路組合を素材に 熊谷 光子  
平賀源内・芋大明神・楠葉  
—平賀源内宛中井万太郎書簡と幕領代官中井清太夫 窪田 頌

◆昔話 研究と資料 日本昔話学会

〒562-0022箕面市粟生間谷東8-1-1 大阪大学大学院言語文化研究科

近藤久美子研究室

◇48 2020.3 A5 160p

巻頭のことば イランの昔話とフィールドワーク余話 竹原 新  
講 演

文化観光資源としての昔話

—「ゆかり」めぐりとコンテンツツーリズム 天野 景太

鉄人英雄の最後—弁慶の「立往生」をめぐって 福田 晃

シンポジウム

「昔話とダイバーシティ(文化的多様性)」の企画概要 鶴野 祐介

アイヌの人々と弁論大会 志賀 雪湖

在日コリアンによる韓国朝鮮の民話

—教科書・絵本・バンソリを中心に 黒川 麻実

日本のろう教育の嚆矢と手話—ろう者コミュニティの誕生 前田 浩

日本における「ハーメルンの笛吹き男」の受容について

—明治期から昭和期まで 紋野 千尋

昔話横丁

子ども文庫から図書館へ—そして小学校の授業へ 土屋 知子

出会いに導かれて 大西登貴子

「今日のソリは今日限り」 安 聖民

学会小史(3) 「話型」から「語り」へ

—学会誌『昔話—研究と資料』第1～6号の頃 田中 瑩一

## ◆歴史考古学 歴史考古学研究会

〒580-0042松原市松ヶ丘2-12-16 奥村隆彦方 TEL072-331-6679

年3000円 1978年創刊

◇78 2020.1 B5 46p

菅原行長と心阿について

奥村 隆彦

朝鮮時代磨崖浮屠の特徴と造成背景

巖基杓／訳・松波宏隆

初発十三佛板碑とその背景について

奥村 隆彦

コラム 千々石ミゲル夫妻伊木力墓所

小林 義孝

天照寺石塔群

多田 準二

## 兵庫 県

## ◆あわじ 淡路地方史研究会

〒656-2334 兵庫県淡路市釜口2394-35 海部伸雄方 TEL0799-74-5810

年6000円 1984年創刊

◇37 (会報53) 2020.1 B5 122p

《創立60周年記念・庚午事変150年特集・山の神小特集号》

はじめに

海部 伸雄

江戸時代、淡路島の「棟付帳」から見た浦の構造と生業

一津名郡育波浦を対象に

海部 伸雄

南あわじ市・植賀家住宅の建築について

新谷 昭夫

幕末期の金屋村について

北山 學

江戸時代の江井浦と役人

廣田 晋也

庚午事変150年特集

明治三年五月十三日の証言

浦上 雅史

北海道帝国大学初代総長 佐藤昌介先生と稲田家

五島 清弘

庚午事変150年目の研究新視点

一庚午事変を戦史・軍事史として捉え直す

定本 義広

山の神小特集

山の神のことなど

谷池 親彦

沼島の山の神について

堀部るみ子

歴史紀行・活動紹介編

淡路・福良 竹島(煙島)

高松 新治

「福良学教室」後の遠足について

太田 良一

## ◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921  
年5000円 1981年創刊 <http://www.geocities.jp/kakenkyou/>

## ◇69 2020.5 B5 138p 1500円

土方歳三の祖系と遠江の素賀国造	宝賀 寿男
古書に見える珍姓・難読姓(1)	安原 繁利
山陰地方の湯一族について(3)	田村 紘一
話滴 明智光秀終焉の地小栗栖について	安居 隆行
萩藩土三井氏の系譜	三井 久安
定専坊の楠氏系譜の調査	岡田 有史
清和源氏新田一族の初期分立について	真野 信治
ウィンデシの何処	高原 裕司
紀姓平山氏寸考	平山 旦清
洪江氏の系図に関する疑問について(1)	
一南北朝期の公経、公重のこと	山邊 尚幸
掛川藩家老須貝氏の謎	須貝 隆弘
薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話 刀鍛冶の里(11-1)	浪平 博司
表紙家紋「桔梗」	馬原 浩一

## ◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921  
年5000円 2002年創刊 <http://kakenkyou.g2.xrea.com>

## ◇71 2020.2 B5 8p

「麒麟が来る」ってどういうこと?	馬原 浩一
家系研究協議会 令和元年度 夏の例会報告	
「柴田家の系図について」 本会会員柴田賢三氏	(馬原)
書評 『比叡山の僧兵たち』～鎮護国家仏教が生んだ武力の正当化	
成瀬龍夫著 別冊淡海文庫25	加藤 照也

## ◇72 2020.5 B5 8p

疫病の日本史	馬原 浩一
家系研究協議会 令和元年度 冬の例会報告 「熊野と三島～熊野本宮大社 謎の主祭神：家都御子神を追う～」 本会会員富田茂氏	(馬原)
書評 『戦国摂津の下剋上 高山右近と中川清秀』 中西裕樹著	
中世武士選書41	加藤 照也

◆会報むろのつ 「嶋屋」友の会

〒671-1332たつの市御津町室津457 たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595  
年3000円 1997年創刊 <http://www.maple.or.jp/~shimaya/>

◇27 2020.2 B5 41p

誌上ギャラリー 夢レンズ 牛尾 啓三

誌上インタビュー 人と自然をつなぐアート 北川 フラム

《特集 アートとまちづくり》

室津とアートプロジェクト 谷口 文保

アートとまちづくり 牛尾 啓三

アートとまちづくり 文献案内をかねて 編集部

博物館遊歩(26) あさご芸術の森美術館 柏山 泰訓

漂流地方史(1) その1『丸亀藩主の参勤交代』 三木 敏明

播磨の10人(7) 後藤又兵衛基次 千田 草介

町並み探訪(26) 新居浜 八木 雅夫

広告世相史 パラリンピック開会式 一言居士

絵本 朝鮮通信使(5) (16) 庶民との交流／(17) モノの交流

監修・仲尾宏／絵・綱本武雄／文・柏山泰訓

表紙写真の説明 「八潮のアート作品」(神戸芸術工科大学院生ら制作

龍野歴史文化資料館蔵) 柏山 泰訓

◆こうべ空襲だより 神戸空襲を記録する会

岡村隆弘方

◇19 2020.2 A4 8p

代表就任のご挨拶 岡村 隆弘

第48回神戸空襲合同慰霊祭

神戸空襲を記録する会第18回戦跡ウォーク

神戸空襲を記録する会の「戦災アーカイブコレクション」の構築に向  
けて (小城)

第49回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議 山梨大会

◆神戸史談 神戸史談会

〒654-0151神戸市須磨区北落合4-26-6 佐藤憲太郎方 TEL078-793-5348  
年3000円 1926年創刊

◇317 2020.1 A5 88p

表紙のしおり 言温而気和「言葉が穏やかにして初めて気心が和らぐ」

画・小阪美道

皇室と神戸—平成を振り返って	加藤 隆久
宗教新聞寄稿文 古儀を復興し近代天皇の起点に	加藤 隆久
追悼 復刻(会誌275号) 兵庫 柳原天神社	森本 武範
追悼 復刻(会誌283号) 豪農古民家探訪・その一	荒木 政男
追悼 復刻(会誌286号) 文明開化と三田藩の人びと	前田 章賀
歴史人物静思 北垣国道(きたがさくにみち)(1836~1916)	須田 京介
「穂積勝次郎」について	佐藤憲太郎
兵庫県内の城跡について	小阪 美道
例会概要	
新年例会	
3月例会 「明治の神戸と世界の科学技術」	村井 勉
5月例会 「第十三回在神・仏閣めぐり」	濱田 論稔
6月例会 神戸市 戦後復興の原点を探る一昭和十三年勝田銀次郎 市長にその源泉を求める	吉田 昭彦
9月例会 六甲山南麓で栄えた水車産業について 一かつては身近で活躍した動力水車	望月 浩
形見分けの大辞泉	増田 順一
「吟詠会と歴史談義」イン妙法寺 開催報告	佐藤憲太郎

#### ◆嶋屋友の会だより 「嶋屋」友の会

〒671-1332たつの市御津町室津457 たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595  
年3000円 <http://www.muro-shimaya.jp>

◇68 2020.2 A4 4p

室津よもやま話(34) 北前船と室津(1)	柏山 泰訓
カタカナ語あれこれ 応援するカタカナ語	柏山 泰訓
かえりみち 播磨の日本遺産港めぐり(2) 飾磨津	新宮 義哲

#### ◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004高砂市荒井町千鳥2-23-12 TEL079-442-0658 1986年創刊

◇81 2020.3 B5 8p

顕宗天皇の即位の背景—ヲケ王の「詠辞」を通路として 紹介 『「播姫太平記」を読む』	熊谷 保孝 曾根 文省
--	----------------

#### ◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321  
<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇622 2020.1 B5 8p

一月行事 西宮神社境内末社 百太夫神社及び新年茶話会のご案内  
／「宝船(ふの字尽くし)」岡本吉勝版

新春の「謡初之式」 森村 暁子

秋の見学会「丹波綾部の郷の旅」 11月14日ご報告 森田 正樹

秋の見学会「丹波綾部の郷の旅」 木村 明恵

会員活動報告

西宮神社で令和奉祝の御奉仕(文化活動) 中村宏／山本純子

◇623 2020.2 B5 8p

二月行事 文化講演会「アニメ聖地の西宮とファン心理」 地域情報

サイト「西宮流(にしのみやスタイル)」編集室代表 岡本順子氏

大阪で国立銀行を設立した今津の酒造家 藤田卯三郎

千歳の再会 えびすさまと鳴尾の黒松 小西 巧治

会員活動報告

天皇陛下御即位奉祝・御堂筋「提灯行列」 中村宏／山本純子

◇624 2020.3 B5 8p

三月行事 見学会 ぶらり尼崎 案内人・堀内陽光

ブラジル、コチア産業組合と下元健吉・亮太郎兄弟のこと(3) 二宮 健

平成三十一・令和元年度 会報総目次

会員活動報告 「お笑い神事」で年忘れ・一陽来福 中村宏／山本純子

◇625 2020.4 B5 8p

四月行事 令和二年度定例総会／記念講演会 神戸大学先端医学担当

副学長 中村俊一氏「神戸が魁ける基礎医学研究と高度先進医療」

尼崎藩医堀内家 堀内 陽光

二月行事、岡本順子さん、地域情報サイト「西宮流(にしのみやスタイル)」編集室代表大いに語る 江寄健一郎

会員活動報告 西宮神社で「元旦～十日戎」まで御奉仕 中村宏／山本純子

◇626 2020.5 B5 8p

会長挨拶 山下 忠男

舞楽・能楽公演にみる「日本の文化」 森村 暁子

えびすかき道中記 フランス編 国際人形劇フェスティバルで深まる絆 武地 秀実

会員活動報告 和田岬周辺視察、「一遍聖絵」原典研究 中村 宏

◆日本文化論と民俗学 流通科学大学民俗学研究会

〒651-2188神戸市西区学園西町3-1 流通科学大学人間社会学部

藤原喜美子研究室内

◇3 2019.12 B5 104p

天皇家の水軍・甕島の隼人のこと  
筑後川の水天宮と河童への信仰  
卒業論文

田中 久夫  
藤原喜美子

我がまち鹿の子台を探る—魅力発見と今後の発展を考察して  
高度経済成長期の世の変化

安見茉莉子  
内田 裕貴

◆LINK 地域・大学・文化

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター年報

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 TEL078-803-5566 2009年創刊

<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/>

◇11 2019.12 B5 232p

《特集 地域歴史遺産の「活用」を問い直す—地域資料館の可能性》

特集にあたって

編集委員会(文責・井上舞)

歴史分野における公的セクターの、地域社会・市民社会へのコミット

メントー尼崎の事例から

辻川 敦

週二日の史料館詣で—デジタル化作業の経験から

武田 壽夫

歴史を面白がり共感を生むために

若狭 健作

尼崎地域研究史料館と大学—地域を志向した教育・研究

大江 篤

ミュージアムの社会貢献としての学校所在資料の発掘と活用

村野 正景

インタビューシリーズ 歴史研究の隣人たち(1)

家じまいアドバイザー 屋宜明彦さん

司会・市沢 哲

小特集 文書群の活用にむけて

小特集へのまえがき

木村 修二

神戸大学大学院人文科学研究科古文書教室架蔵御影村文書について

室山 京子

村の年代記と災害—「御影村年代記」の紹介をかねて

木村 修二

小野出身近衛兵から見た竹橋事件—鎮台入営から近衛兵除隊まで

津熊友輔／出水清之助

フィールドレポート

五年目に入った「ひょうご歴史研究室」の歩み

坂江 渉

三木家住宅の保存・活用をめぐる取り組み

長谷川幸子

利神城跡の史跡指定と歴史遺産の保存活用

藤木 透

LINKを読む

「地域への歴史アプローチ」の多様性—『LINK』第一〇号を読んで

- 村田 路人  
久野 洋
- 〈地域史づくり〉に寄せて
- 時評・書評・展示評
- 古代・中世史学界の片隅で起こっている注目すべき出来事について  
—大山喬平・三枝暁子編『古代・中世の地域社会—「ムラの戸籍簿」  
の可能性』(思文閣出版、二〇一八年)に触れて 田村 憲美  
『ふるさと丹波の歴史を読む—小ばなし30話—』を読んで 青木 正文  
シンポジウム参加記「学校資料の活用を考える—学校資料の価値と  
可能性」 小澤みのり  
「古写真からたどる深江」を見学して 加藤 明恵
- 活動報告
- 新刊紹介 内田雅夫編『わたしたちの住吉』  
一般社団法人住吉学園住吉歴史資料館 加藤 明恵  
「地理歴史科」教員養成プロジェクト—概要・現状・課題 河島 真  
人文学研究科古文書室架蔵文書群の紹介(8) 木村 修二  
人文学研究科古文書室収蔵文書一覧(2018年度購入分) 吉川 圭太

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551  
年3000円 1962年創刊

◇337 (58-6) 2019.12 A5 49p 600円

《特集 赤松氏研究の最前線》

- 播磨赤松氏研究の現在 大村 拓生  
「赤松家風条々事」の再検討 藤岡 琢矢  
続・赤松円心私論—赤松氏の素性についての再検討 依藤 保  
赤松姓を名乗る講釈師たちと市井の文人三木通識 渋谷 武弘  
—偽作『播州英城日記』は誰の手になるものか  
本誌掲載の赤松氏関係文献  
兵庫県西国街道一里塚(3) 神戸市中央区脇浜 中村 和男  
地域から  
受講者が指導役に「宝塚の古文書を読む会」の活動について 藤本 清志  
台風15号・19号で被災した歴史資料保全活動  
支援募金のお願い 歴史資料ネットワーク  
新聞新聞地域版を読む  
神戸新聞の文化財記事(2014年8月8日～8月23日) 大国正美／有吉康德

◇338 (59-1) 2020.2 A5 49p 600円

《特集 播磨風土記と記紀研究》

ラフカディオ・ハーン神戸時代の眼科医

一墓地、国籍、姓名、生・没年月日等発見 楠本 利夫

三条西本『播磨国風土記』印南郡総記条について 垣内 章

『日本書紀』に思うこと

絶対年代・漢風諡号・初代天皇・「神功紀」と『魏志』 寺本 躬久

本誌掲載の風土記などの文献

地域から 東灘区住吉と住吉歴史資料館 富豪の村の地域遺産を守り

活用する試み 内田 雅夫

新子さんの手紙 今村 欣史

兵庫県西国街道一里塚(4) 赤穂市有年横尾 中村 和男

二〇一九年台風・台風一九号で被災した歴史資料保全活動への支援募

金のお願い 歴史資料ネットワーク

新聞新聞地域版を読む

神戸新聞の文化財記事(2014年8月24日～8月27日) 有吉康德／大国正美

◇339 (59-2) 2020.4 A5 41p 600円

《特集 新視点で考える近世史》

新出の兵庫津絵図一琴平海洋博物館所蔵本について 大国 正美

「一国一城」令の綻び… 秀忠が拘った明石新城 濱田 明生

浄土宗法善寺一大坂の都市構造をもとに 木村 美菜

尾芝静所著『静所詩鈔』について(下)

一『静所詩鈔』の更なる詳細・考察 三枝 正平

兵庫県西国街道一里塚(5) 相生市若狭野町野々 中村 和男

新聞新聞地域版を読む

神戸新聞の文化財記事(2014年8月28日～8月30日) 大国正美／有吉康德

◇340 (59-3) 2020.6 A5 57p 600円

《特集 一ノ谷の合戦の再検討》

延慶本『平家物語』一ノ谷合戦話の創作性

一鶴越の地理的矛盾について 渋谷 武弘

『吾妻鏡』生田の森・一の谷合戦記事の再検討 田畑 豪一

須磨・一ノ谷にはなかった鶴越一脚色された平家攻略の逆落とし 羽床 正明

賀茂別雷神社と網干 柳生 勝志

兵庫県西国街道一里塚(6)一姫路市・姫路城下 中村 和男

宮崎修二郎翁と落合重信師のこと 今村 欣史

宿南保氏が逝去／宮崎修二郎前神戸史学会代表が逝去／編集部から一

宮崎さんが残した「神戸史学会」誕生前夜のメモ

## 奈良県

### ◆大美和 大神神社

〒633-8538桜井市三輪 TEL0744-42-6633 <http://www.oomiwa.or.jp>

◇138 2020.1 B5 80p

『日本書紀』の神代—『古事記』の神代と比較しつつ 毛利 正守

第十五回三輪山セミナーイン東京講演録・後半

大三輪の神の神格の展開 寺川真知夫

第十六回三輪山セミナーイン東京講演録

『日本書紀』における大物主神と三輪 神野志隆光

大直禰子神社より発見された乾漆像片の塗膜分析 岡田 文男

大直禰子神社社殿から見つかった丈六乾漆仏(断片)の意義 鈴木 喜博

### ◆水平社博物館研究紀要

〒639-2244御所市柏原235-2 TEL0745-62-5588 1999年創刊

<http://www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/>

◇22 2020.3 A5 54p 1000円

高松結婚差別裁判糺弾闘争を研究するための第一級史料—『高松地方

裁判所検事局差別事件／闘争日誌』の紹介にあたって 山下 隆章

史料紹介 高松地方裁判所検事局差別事件／闘争日誌

### ◆奈良県立同和問題関係史料センター研究紀要

〒630-8133奈良市大安寺1-23-1 TEL0742-64-1488 1994年創刊

◇24 2020.3 A5 105p

浦上キリシタンの配流と郡山 谷山 正道

高山の鳥居前に皮を干す—中世奈良辺の宿者の一考察 山村 雅史

中世声聞師と新浄土寺銭湯 竹田 祥子

研究ノート 神功皇后陵、日葉酢媛陵と地域社会 竹中 緑

史料紹介 多様な被差別民の祝銭受納 奥本 武裕

### ◆奈良学研究 奈良学学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学奈良学総合文化研究所

TEL0742-48-8842 1997年創刊

◇22 2020.2 A5 139p

聖地としての春日山とその信仰 松村和歌子

経覚私要鈔にみる年中行事と風流 赤田 光男

地域における宗教文化財の現状と保護の在り方	関根 俊一
楊貴氏墓誌発見の周辺	伊藤 純
久留春年探索序章	杉崎 貴英
身狭の屯倉と蘇我氏	鷺森 浩幸
報恩大師伝承の伝播に関する試論	
—大和から備前への伝播と備前における伝承の確立	平松 典晃
資料報告	
永野鹿鳴荘ガラス乾板資料の整理と撮影画像の特徴について	服部 敦子

◆日本文化史研究 日本文化史学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学奈良学総合文化研究所

TEL0742-48-8842 1977年創刊

◇51 2020.3 A5 224p

齊明天皇の「越智岡上陵」と牽牛子塚古墳

    —山陵治定の矛盾と足りなかった史料

大矢 良哲

元号—存続をめぐる攻防

井戸田博史

経覚私要鈔にみる異常世相

赤田 光男

賀茂祭の変遷と平安朝廷

伊藤 純

神尾克巳著『青少年萬葉集』とその周辺

    —戦時下の万葉集をめぐる、一青年教師の軌跡といとなみ

杉崎 貴英

宮井廃寺の尊像構成についての—考察—出土塑像片を中心として

戸花亜利州

一九七〇年大阪万博と奈良

鷺森 浩幸

瓦職人の系譜と生産活動—奈良県生駒郡斑鳩町神南 孫七瓦の事例

西連寺 匠

久留春年編『正倉院式文様集』・『古代芸術拓本稀観』について

平松 典晃

備前における報恩大師の口碑—芳賀坊快賢と清水の伝承を中心に

平松 典晃

史料紹介・翻刻

    寛政十年「山ノ内俊温公越國大浦御墓参道中日記」大竹門蔵扣

川口 洋

日本文化史研究(第41～第50号) 既刊目録

## 和歌山県

◆熊楠研究 南方熊楠顕彰会

〒646-0035田辺市中屋敷町36 南方熊楠顕彰館内 TEL0739-26-9909

1999年創刊 <http://www.minakata.org>

◇14 2020.3 A5 287p 3000円

特集 腹稿の謎を探る

腹稿の謎を探る	松居 竜五
南方熊楠の腹稿の現存状況について	平川恵美子
南方熊楠「腹稿」は、いつ頃から作成され始めたのか	田村 義也
虎に関する腹稿の解説	松居 竜五
虎の腹稿における田辺拔書の利用—『太陽』掲載版への採用数の少 なさを中心 南方熊楠の識緯的知識について—中国類書『淵鑑類 函』の利用を中心に	司 志武
南方熊楠と本山桂川の交流—『土の鈴』から『南方閑話』へ	三村 宜敬
南方熊楠のジャイナ教理解と評価	宇野 智行
南方熊楠と長野県内の研究者たちの交流について	
—胡桃沢勘内、矢沢米三郎との関わりを中心にして	一條 宣好
日記と書簡にみる熊楠と庭の植物との関わり	
—「ゴジカ(午時花)」の事例を通じて	大内 規行
南方曼陀羅に至る過程	
—「神跡考」に「名」と「印」の萌芽を読み解く	大和 茂之
南方熊楠自筆の新史料である和歌山県の神社合祀についての建議案草 稿	武内 善信
在英時代初期の南方熊楠と比較宗教学	
—熊楠の英文資料の扱い方の問題点について	嶋本 隆光
資料紹介	
幻の徳富蘇峰宛書簡—南方熊楠の情報戦略の一側面	岸本 昌也
南方熊楠書簡資料 日野国明来簡(大正二年)	
	郷間秀夫／岸本昌也／千本英史／川島昭夫編
書 評	
伊藤慎吾・飯倉義之・広川英一郎『怪人熊楠、妖怪を語る』	鈴木 正崇
中沢新一『レンマ学』	小田 龍哉

◆熊野 紀南文化財研究会

〒646-0051田辺市稲成町392 高山寺 曾我部大剛方 TEL0739-22-0274  
年3000円 1969年創刊

◇157 2019.12 A5 49p

部落史素描(7) 牟婁郡西向浦被差別部落の成立と展開	藤井 寿一
楊貴妃と熊野信仰—中世の熊野信仰の正体に関する仮説	蓑 虫
郷土関係新刊紹介 漱石と熊楠／幸徳・大石ら冤罪に死す／フリゲー ト・エルトゥルル／倭人熊楠、妖怪を語る	

◆熊歴情報 熊野歴史研究会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市役所商工観光課 山本殖生  
TEL0735-23-3333 年3000円

◇216 2020.2 B5 2p

阿須賀神社の御正体シンポジウム／熊野川河口部遺跡の検討会(伊勢  
中世史研究会)／九鬼水軍ツアー実施報告／句集『星糞(ほしくそ)』  
刊行 谷口智行先生／事務局より

◇217 2020.4 B5 2p

総会は延期／『熊野歴史研究』23号／高圓寺本「那智参詣曼荼羅」/  
DVD「いわき・御宝前 熊野神社の祭礼」／事務局より

◆国際熊野学会会報

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課  
TEL0735-23-3368 年3000円 2005年創刊

◇33 2020.5 A4 4p

国阿上人が結ぶ絆—京都霊山正法寺大会に向けて 内山裕紀子  
2020年度大会について／国際熊野学会委員選挙について(告示)／会費  
納入について／2020年度例会(予告)「旅と文化と～寺社縁起と西行  
伝承～」／情報提供について／会誌『熊野学研究』

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊  
<http://wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp>

◇78 2019.12 A5 108p

特集 改正文化財保護法と和歌山の文化・文化財の未来  
特集にあたって

夢をつなごう—改正文化財保護法と賢くつきあう方法 岩崎奈緒子  
歴史的建造物とヘリテージマネージャーの役割 中西 重裕  
和歌山市寂光院緊急調査の展開 藤本真名美  
災害から文化財をまもるために—県内の動き 藤 隆宏  
古代玉津島の地形環境と近世「奠供山碑」(下) 藤本清二郎  
紀州における新田開起—伊都郡・那賀郡の場合 廣本 満  
箕島町とその周辺の正月用引札について 木谷 智史  
丹生郡比売神社と玉津島神社 寺西 貞弘  
動向 2019年度和歌山県内展覧会情報(追録)

## 鳥 取 県

### ◆鳥取県立公文書館研究紀要

〒680-0017鳥取市尚徳町101 TEL0857-26-8160 2005年創刊

◇10 2020.3 A5 95p 500円

特集 明治150年特別企画展記念講演会

- |                            |           |
|----------------------------|-----------|
| 開会挨拶                       | 平井 伸治     |
| 講演録 公文書と日本人—日本の公文書制度の変遷と課題 | 松岡 資明     |
| 講演録 公文書から見た近代日本の歩み         | 加藤 丈夫     |
| 対談 明治時代の鳥取—中央と地方の相克        | 加藤丈夫／松岡資明 |
| 鳥取県立公文書館の評価・選別について         | 島谷 容子     |
| 千代川水系の水害と改修工事—鳥取県の水災史・その二  | 伊藤 康      |
| 『鳥取県震災小誌』と公文書              |           |
| —総力戦下の災害はどのようにアーカイブされるか    | 田中やよい     |

## 鳥 根 県

### ◆郷土石見

〒697-0017浜田市原井町1023-9 森脇晋平方 1976年創刊

◇112 2020.1 A5 152p 1200円

《創立45周年記念号》

表紙写真 国の重要無形民俗文化財 大元神楽「御座」

(江津市桜江町市山 市山神友会) 文・平野勇治／写真・市山神友会

先輩諸氏の辛勞が育んだ『郷土石見』—創立四十五周年によせて 岩町 功

司馬遼太郎さんの『石見人』 岩町 功

大内義弘の益田退治と二つの向城

—遺跡と周布家文書(萩藩閩閩録)から 岩崎 健

安芸国に残る石見氏の墓—源平時代の石見兵 中川 平介

石東安濃郡における米作・麦作の近代史(5) 池田 誠一

鎮守の森—津和野・青原八幡宮の歴史 登米 茂行

大庭住松の日記—昭和七年の日原 内谷 知

石見地方東部農村における戦後の民俗(4) 長尾 英明

方言で読む民話 三隅編(5) 鳥島伝説 神本 晃

町から村から

祝詩—浜田開府四百年記念住民参加創作ミュージカル『群青～濱田

誕生、そして明日へ』の上演を祝して 俵 元昭

- 郷里点描(9)―三隅町中組民謡同好会の『石見盆踊口説』 田中 寿朗  
 尊敬する山根俊久先生 今田 泰  
 日貫の記録(1)―我が家のこと 山田 明子
- 第一回「大元・石見神楽調査研究賞」優秀賞受賞作  
 「続・神楽太鼓に魅せられて」―故・竹内幸夫先生を偲んで 石河 重馬  
 令和元年度 石見郷土研究懇話会 江津・桜江支部合同研究大会報告 岩町 功
- 第二十五回 郷土石見文化賞 受賞の言葉  
 ー西中国山地民具を守る会の活動五〇年 隅田 正三
- ◇113 2020.5 A5 128p 1200円
- 表紙写真 野口鉦山石灰炉跡(鹿足郡津和野町河村) 文・写真 内谷知  
 海洋学者・丸川久俊の研究を読む(6) 北洋の漁業調査 森脇 晋平  
 「鏡山事件」―新資料による考察 岩町 功  
 トンネル工事に石見銀山間歩掘削 高橋 悟  
 多胡辰敬伝承を考える 吉川 正  
 出雲部にある有肩楯円形の古丁銀 鳥谷 芳雄  
 石見地方東部農村における戦後の民俗(5) 長野 英明  
 町から村から  
 宇野のもみ医者と幻の今福線 年ちゃんとの思い出 水津 正治  
 一通の葉書 澤田 重明  
 児島高德顕彰碑 久保 和宏  
 三つ石さん 田城謙二郎  
 浜田城跡、壘ヶ浦 豊かな歴史・自然遺産 国永 昭二  
 資料 下張り資料の確保について 根ヶ瀬 孝
- 第一回「大元・石見神楽調査研究賞」優秀賞受賞作 ふるさと浜田に  
 生きる私の石見神楽論 演目「神楽」から見る通説に対する質問提  
 起と浜田の未来への提言 小川 徹  
 神本晃君を悼む 大橋 忠正

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966  
 年2500円 1974年創刊 <http://www.taisha-shiwa-kai.jp>

◇201 2020.2 B5 34p

出雲大社の宝物シリーズ(7)(最終回) かむだから―出雲大社教機関  
 紙『幽頭』より 土佐光起筆「三十六歌仙函額」/「出雲大社并神郷  
 図」/「寛永御絵図」 出雲大社教務本庁幽頭社

『後拾遺往生伝』良範伝から探る平安時代の稲佐の浜像

—「日が沈む聖地」についての仏教史的考察(下) 杉原 諒  
「戦後大社町の子供の遊び」シリーズ(3) 聞き書き「赤塚の遊び」 編集部  
「大社の文化を学ぶ・受け継ぐ・創る」シリーズ(13)

次世代に継げたい「短歌」を詠む 大社くすの木短歌会  
大社町の町内巡り(1) 原町 かつては「飴町」とも呼ばれた原町 古福 克彦  
古代出雲歴史博物館のリフレッシュオープンと展覧会のご案内 再オ  
ーペン記念特別展「行列 雲州松平家と出雲国造家」、企画展「大  
地に生きる～しまねの災と幸」、企画展「編纂一三〇〇年 日本書  
紀と出雲」、特別展「しきしまの大和へ」

島根県立古代出雲歴史博物館(文責・熱田貴保)  
手銭記念館の四季 出雲今昔Ⅲ～学ぶ、遊ぶ 佐々木杏里  
ミニ企画展 出雲の縄文文化と交流—京田遺跡をひも解く 出雲弥生の森博物館  
読者コーナー 近況から 私の近況 滝川 泰治

◇202 2020.4 B5 48p

原山遺跡から弥生時代のはじまりを考える 坂本 豊治  
赤塚談義 岩成 俊策  
「出雲地域の歴史と文化」シリーズ(17の1) 出雲そばと杵築 川上 正夫  
「大社の文化を学ぶ・受け継ぐ・創る」シリーズ14 音楽を通じて情

操豊かな町づくり—大社町音楽協会四十九年の歩み  
大社町音楽協会

大社町の町内巡り(2) 富屋町 富屋町の成り立ち 馬庭 孝司  
大社町の町内巡り(3) 仮の宮 仮の宮の今昔 藤原 慧  
再オープン記念特別展「行列—雲州松平家と出雲国造家」

島根県立古代出雲歴史博物館(文責・岡宏三)  
手銭記念館の四季 古文書講座のご紹介

古文書講座「古文書を読もう！」 佐々木杏里  
春季企画展「日本書紀1300年記念 硯から見た古代の出雲」出雲弥生の森博物館  
ギャラリー展「田儀櫻井家のたたら製鉄 その1 宮本鍛冶山内遺跡」

出雲弥生の森博物館(文責・石橋紘二)  
コラム 大社町の小字名について 山崎 裕二

## 岡山県

### ◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28 光珍寺内 TEL086-222-2028 年2000円

2002年創刊

◇73 2020.1 A4 10p

平成三一年宇喜多家史談会総会記念講演

河本家版宇喜多家譜について(5・最終) 矢吹 壽年  
近年の宇喜多氏研究をめぐる(3) 大西 泰正  
関ヶ原合戦において宇喜多勢はどう戦ったか?(4) 小川 博毅  
軍記物・地誌等が語る宇喜多直家の「仇討談」について(3・前号継承)  
島村 豊

会員サロン 宇喜多秀家公鎮魂祭 多彩に一前田家2当主も参列 墓  
前で「ふるさと」歌う(南海タイムス 第3738号 2019年(令和元年)  
11月22日)

宇喜多秀家ゆかりの蘇鉄が亀山城跡へ 矢部 隆正

◇74 2020.4 A4 10p

本多政重～関ヶ原を秀家と共に戦った強者 内池 英樹  
武人・宇喜多直家の敬愛した愛染明王 皆木 依歌  
軍記物・地誌等が語る宇喜多直家の「仇討談」について(四・前号継承)  
島村 豊

物語直家記伝 西大寺辺の城 第44回 姻戚(8) 山重十五郎

会員サロン 秀家公ゆかりの蘇鉄 植樹式 矢部 隆正

#### ◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36 村上岳方 TEL086-942-6156  
年1500円 1986年創刊

<http://homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm>

◇149 2019.12 B5 44p

特集 西日本豪雨災害と歴史資料(3)

編入自治体の歴史的公文書の保存—岡山市立図書館の収蔵経過から

飯島 章仁  
昭和九(一九三四)年室戸台風被災文化財から今学ぶこと 野田 繭子  
文化財レスキュー活動について 福富 幸  
天神山文化プラザでの「大切なもの」無償応急処置活動 加藤 淳子  
岡山史料ネット活動参加記—地域の遺産を守るために 岡田 康佑  
ボランティア参加記—できる人ができることをするのが大事 桐部 恵子  
被災資料救出・保全その後—岡山史料ネットの取り組み 上村 和史  
備前岡山の東照宮祭礼—藩主光政の時代、寛文五年まで 田中 豊

◇150 2020.4 B5 32p

戦国期の内氏と備中国赤木氏

- 一年未詳赤木藏人宛大内義隆書状の検討から 魚屋 翔平  
史料紹介  
旗本小堀家一族から庄屋へ宛てた書状 首藤ゆきえ  
合評会 『「生存」の歴史と復興の現在—3・11分断をつなぎ直す』  
『「生存」の歴史と復興の現在—3・11分断をつなぎ直す』をめぐって 山下 洋  
コメント 沢山美果子  
合評会での報告とコメンを聞いてト 大門 正克

◆岡山 naturally 郷土文化講座から 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 Tel086-233-2505 1982年創刊

◇39 2020.3 A5 300p

- 私が出会った歴史資料—資料を次世代につなぐ営みとともに 内池 英樹  
岡山の昆虫—いちばん身近でいちばんわからない生き物 奥島 雄一  
近代の後楽園 万城 あき  
第17回おかやま県民文化祭参加 第9回おかやま文化フォーラム  
「近世の実像を求めて 世界の中の近世日本」  
趣旨説明 「鎖国」をめぐる問い 倉地 克直  
講演1 近世日本の国際関係と言説 荒野 泰典  
講演2 洋学は如何にして受容されたのか—資料からみた美作の洋  
学者たちの動静 下山 純正  
パネルディスカッション「近世の実像を求めて 世界の中の近世日  
本」 司会 倉地克直／パネラー 荒野泰典・下山純正  
特別講演会 内田百閒文学碑建立とその後の展開 高山 雅之

◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-8051東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学教育学部 大橋研究室気付  
<http://okayamahanwaseda.seesaa.net/?1465280813/>

◇88 2020.2 B5 8p

〈第48回全体会の記録〉

- 報告要旨 島津氏にみる宗教政策—キリスト教と一向宗禁制から 濱島 実樹  
参加記 村井早苗／深谷克己

◆岡山人俗 岡山人俗学会

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14 難波俊成方 年4000円

1949年創刊 <http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com>

◇240 2019.12 B5 66p

地域歴史遺産としての民俗文化—改正文化財保護法と民俗学の課題 大江 篤  
岡山市東区金田・塩浜の百万遍行事 安倉 清博  
備前大賀島寺と権現祭りにみる寺と村落  
—大智明大権現の祭礼と祭祀組織 平松 典晃  
備前岡山、御後園の初午祭礼—額行燈・作り物・獅子太鼓の賑わい 田中 豊

#### ◆岡山民俗学会会報

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14 難波俊成方 年4000円

<http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com>

◇224 2020.5 B5 10p

学会記事

11月例会報告／民俗歩く会 倉敷市児島／2月例会報告  
令和元年度・第四十九回岡山民俗学会賞選考委員会について  
令和二年度役員会開催／令和二年度総会・研究発表大会(中止)  
総会議決事項(報告)

吉原 睦

#### ◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505

<http://www.o-bunka.or.jp>

◇156 2020.1 A5 14p

年頭にあって 波田 善夫  
随想 継続は力なり 万城 あき  
岡山の人物(95) 江川三郎八 森 俊弘  
岡山の自然(151) 千手院の浪形岩 高田 知樹  
岡山の文化財(151) 倉安川・百間川のかんがい排水施設群 樋口 輝久  
わが町・わが村の自慢 ポートアート&デザイン津山(津山市) 飯綱 洋平  
ふるさとの思い出 ツボジョーワールド探検隊(岡山市) 山根 知子  
会員だより 現代医学の源流—蘭方 大濱 文男

◇157 2020.3 A5 14p

随想二題

岡山大学医学部創設一五〇周年に想う 槇野 博史  
和文化体験!? 國塩 多嘉  
岡山の人物(96) 生田安宅 万城 あき  
岡山の自然(152) 大野の整合 日下 隆春

岡山の文化財(152) 羽山トンネル 小西 伸彦  
 わが町・わが村の自慢 岡山市造山古墳ビジターセンター(岡山市)  
 ふるさとの思い出 旧閑谷学校創学三五〇年へ向けて 「論語かるた」  
 と「閑谷学校紙しばい」を制作(備前市) 田原 義大  
 会員だより 全国良寛会玉島大会の開催に当たって 森石 武士

◆倉敷の歴史 倉敷市総務局総務部総務課

〒710-1398倉敷市真備町箭田1141-1 総務課歴史資料整備室 TEL086-698-8151  
 1991年創刊 <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/1438.htm>

◇30 2020.3 A5 132p

特集—災害をみつめ直す

特集にあたって

真備町域における江戸時代～明治初年の水害治水史 畑 和良  
 明治二年東高梁川洪水と地域社会 倉地 克直  
 明治一三年の高梁川水害について 山下 洋  
 倉敷市における水損公文書修復処置の取り組みについて 山本 太郎  
 西日本豪雨被災資料救出保全活動の成果と課題 上村 和史

ノート

倉敷市連島町・宝島寺所蔵「白衣観音像」について 前田 興  
 玉島出身の茶人・白神宗吾について 井上 秀二  
 旧倉敷町役場の設計者小林篤二について 山崎真由美

史料紹介 古川古松軒の扇面 中山 薫

アラカルト 由加山に奉納された阿波石工の狛犬 藤原 好二

展示会記録

令和元年度資料展示会 真備の記憶—写真と資料でたどる

報告 平成30年度歴史資料講座 第1回目「幕府代官陣屋元村倉敷・大原壮平の幕末維新」山本太郎、第2回目「おかやまの橋～人・もの・ところをつなぐ～」前田能成、第3回目「豪商未亡人不義密通事件～幕末倉敷の諸様相～」大島千鶴、第4回目「村役場日記にみる戦中・戦後」山下洋

報告 令和元年度古文書解説講座 第1回目「旅人来たる」山下洋、第2回目「江戸の役人からの書状」山本太郎、第3回目「書状の特徴を学ぶ」大島千鶴

新刊紹介

小谷英太郎『日清戦争従軍日記』／『薄田泣菫読本』／『衣笠豪谷』

コラム 長野のムーブメント

(定兼)



広島県の地方史研究 雑誌目録／研究活動

芸備揭示板

開館40周年記念 令和元年度秋の特別企画展「守屋壽コレクション  
の精華—国内最大級の古地図コレクション」

みよし風土記の丘ミュージアム(広島県立歴史民俗資料館)

秋の企画展「戦国の争乱から太平の世へ—戦国時代から江戸時代初  
期の芸備」

広島県立歴史博物館

特別展 浅野氏広島城入城400年記念事業「『広島町新開絵図』にみ  
る浅野時代の広島城下」

広島市郷土資料館

史跡をあるく 木江巖島神社

◆備陽史研究 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 Tel.084-953-6157 1982年創刊

<http://bingo-history.net>

◇27 2019.03 A4 78p

備後戦国史の一断面 神石郡北部の中世山城と宮一族の盛衰  
福山城下町南の干拓地における新たな視点

田口 義之

—江戸時代初期の干拓事業を実証的に再検討する

瀬良 泰三

晩翠舎と阿部家の職制

根岸 尚克

築城400年記念事業「シンポジウム福山城」福山城の謎に迫る

第1部 意見発表

近世城郭史上での福山城の位置付け

—特に北面防備についての通説を検討する

木島 孝之

櫓の名称について

野毛 幸司

謎の神辺櫓

田中 伸治

福山城北辺周辺について—主に切岸を中心に

山岡 渉

第2部 公開討論会

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 Tel.084-953-6157 <http://bingo-history.net>

◇211 2020.1 A4 16p

備後国安那郡茨城考

田口 義之

研究レポート

神辺城の惣構を考える(3)—地形から見た神辺城下の構造

瀬良 泰三

駅家郷土史研究会より 『駅家の辻堂』 発刊のお知らせ

調査報告 中世石造物の調査報告

文責・篠原芳秀

近世福山の歴史講座 福山藩西部開拓者 本荘重政 第一章 本荘重政の名／第二章 諸国遍歴／第三章 福山藩水野家へ勤仕	高木 康彦
ワンショット・レポート～2019年忘年会 in 湯殿	
調査報告 山手銀山城跡測量調査報告	杉本 憲宏
田口義之の備後山城50選(36) 三吉氏が築いた近世山城 比熊山城	
研究ノート 尾市古墳と備後国府・国分寺 二、備後国府の建設	若林 啓文
例会報告 バス例会「晩秋の北房路を歩く」について	岡田宏一郎
辻堂百景(21) 福山市駅家町「オトウジ堂」	秋山 由実
根岸氏遺稿 明治三十七年の石造物	根岸 尚克
読者便り 後藤組先祖祭＝覚帖一六〇年	後藤 匡史
◇212 2020.3 A4 24p	
溪谷の山城	田口 義之
調査報告	
中世石造物の調査報告	文責・篠原芳秀
山手銀山城跡測量調査報告	杉本 憲宏
研究ノート 進化する縄張り図―神辺町大内山城跡を例に	杉本 憲宏
田口義之の備後山城50選(37) 連続堅堀が発掘された 牛の皮城	
研究レポート	
神辺城の惣構を考える(4)―地形から見た神辺城下の構造	瀬良 泰三
備後史談 定光山中興寺	桑田 幹夫
近世福山の歴史講座 花開いた水野時代の文学 第一部 初代鞆町奉行 萩濃新右衛門重富が綴る鞆の歴史／第二部 福山の俳諧を導いた野々口立画	高木 康彦
根岸氏遺稿 臨死体験を考える	根岸 尚克
ワンショット・レポート～2020徒歩例会「銀山城」	
研究ノート 尾市古墳と備後国府・国分寺 二、国分寺の建立	若林 啓文
山城探訪 古墳の怪(虎御前山の怨霊)	末森 清司
読者便り 伊予(愛媛県)河野水軍の末裔たち	後藤 匡史
読者便り 総会に参加 会の発展を喜ぶ	末森 清司
◇213 2020.5 A4 20p	
備後国衆列伝(1) 甲奴郡の有福氏	田口 義之
研究ノート 「渡辺先祖覚書」後半部についての私見	川内 和夫
研究レポート 草戸千軒と水路(6)―水路の水の供給源	瀬良 泰三
田口義之の備後山城50選(38) 山上に井戸が残る 椋山城	
研究ノート 山手町の長峰城跡(2)	杉本 憲宏
近世福山の歴史講座 花開いた水野時代の芸能	

第一章 水野時代の能楽／第二章 水野時代の民俗芸能	高木 康彦
福・山珍道中／現在の南蔵王鍋蓋の常夜灯	
備後史談 吉備の四城 大廻小廻城・鬼ノ城・常城・茨城	若林 啓文
辻堂百景(22) 笠岡市「用之江四ツ堂」	秋山 由実
山城探訪・番外編 明智光秀近江出生伝説	末森 清司
読者便り 別府・大分沿岸海道	後藤 匡史
備陽史探訪の会NEWS 水野勝成城下ゆかりの地 散策マップ完成	
付録「水野勝成城下ゆかりの地 散策マップ」	

◆広島民俗 広島民俗学会

〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24 岡崎環方 TEL082-818-3497

1974年創刊 <http://fs-hiroshima.net>

◇93 2020.3 A5 112p 700円

令和元年度総会・研究会

広島民俗学会会長就任にあたり「令和の民俗学」	岡崎 環
シンポジウム「広島赤と暮らしー生活の中の色を考えるー」	
基調講演 赤のチカラを探るーカープ・モミジの広島から	小沢 康甫
話題提供 出雲孫揃え湯上げから紐解く衣類の赤	水野 恵子
話題提供 生活の中の色を考える	前田ひろみ
ディスカッション	コーディネーター・岡崎環
御調地方の民話に学ぶ	住貞 義量
広島県における管弦楽の研究Ⅱ 山間部の管弦楽と全体の比較考察	大久保聖子
尾道市「浦崎神楽」の現状と課題	藤笠原望恵
妖怪と生きるまち	秋田 萌花
福山市千田町「千塚おどり」	八幡浩二／原田紗歩／赤堀美咲／加藤陽介／ 岡田明日花／高橋江梨子／細田真衣／横内梨乃
雪隠取締規則	上田 輝馬
山田次三と峰田民俗の会～会誌「青掛山」を読む	正本真理子
民俗点描 秋鹿町(現・島根県松江市秋鹿町)での聞き取り(会誌『青掛山』12号より)	

◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304三次市三良坂町三良坂2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753

1987年創刊

◇110 2019.12 A4 16p

「藝眼録」から見えた庶民の近代史	原田 隆雄
------------------	-------

浅野長晟による社領寄進について	中畑 和彦
三次盆地の前方後円墳(18) 野稲南第三号古墳—調査報告	加藤 光臣
史料紹介 「芸備郡要集」—広島藩士の分析する広島藩諸郡の現況	立畑 春夫
三次地方の石造物 清正公一字一石塔	
みよしこぼれ話(1) 行儀の悪さを憂う	中畑 和彦
◇111 2020.4 A4 12p	
広島藩三次における新影流について—「原田家文書」を中心に	森本 邦生
資料紹介 「学徒動員一件」	立畑 春夫
三次盆地の前方後円墳(19) 西ヶ谷古墳—調査報告	加藤 光臣
向江田町和田家墓地の「題目塔」について	中畑 和彦
民具が語る先人の知恵—三良坂民俗資料館における展示を通して	原田 隆雄

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇346 2020.1 B5 12p

今月の各地 新年のご挨拶	上田 嘉信
令和元年度市郷連歴史講演会記録 「小早川隆景と乃美宗勝」(1)	秋山 伸隆
令和元年 秋のバス研修旅行の感想文	
「因島史跡・レキカン調査チーム行動記」	正田 哲夫
碁聖秀策を想う	川上 哲司
因島巡り	且 悟

付録 三原市郷土文化研究団体連合会 歴史講演会記録

県立広島大学名誉教授 秋山伸隆「小早川隆景と乃美宗勝」資料

◇347 2020.2 B5 12p

今月の各地 観光について考える	桧山 幸三
令和元年度市郷連歴史講演会記録 「小早川隆景と乃美宗勝」(2)	秋山 伸隆
講演録「秀秋の真実の姿に迫る」	
小早川秀秋終焉の地、岡山城を訪ねて 経緯説明	対馬 敏子
小早川秀秋の岡山城府建設—誹謗毀貶の功績者	
2004年5月19日の講演録	出宮 徳尚
小早川秀秋に思ふ	伊藤 英治

◇348 2020.3 B5 12p

今月の各地 生きるということ	大坪 一夫
令和元年度市郷連歴史講演会記録 「小早川隆景と乃美宗勝」(3)	秋山 伸隆
2020春のハイキング「旭町・古浜めぐり」ご案内	西村 雅幸
令和元年 春のハイキングコースにあった思い出(3)	高杵 勉

- ◇349 2020.4 B5 12p  
 今月の各地 ラグビーワールドカップ雑感 行長 啓三  
 令和元年度市郷連歴史講演会記録 「小早川隆景と乃美宗勝」(4) 秋山 伸隆  
 謎の古石塔(後日談)(1) 大谷 和弘  
 令和元年 春のハイキングコースにあった思い出(完結編) 高杵 勉
- ◇350 2020.5 B5 12p  
 今月の各地 「変わらないもの」「変わりゆくもの」 山本 公恵  
 令和元年度市郷連歴史講演会記録 「小早川隆景と乃美宗勝」(完結編) 秋山 伸隆  
 謎の古石塔(後日談)(2) 大谷 和弘  
 三原市のカワウ対策―第1報(1) 行長 啓三
- ◇351 2020.6 B5 12p  
 表紙 天空に舞う鯉のぼり 青空高く泳ぐ鯉のぼり  
 沼田町本谷川川岸 2020.4.29撮影 鈴木健次(宮浦)  
 今月の各地 「水無月」を今更考える 津島 敏子  
 謎の古石塔(後日談)(完結編) 大谷 和弘  
 三原市のカワウ対策―第1報(完結編) 行長 啓三  
 日本の牛と馬、交通の歴史(1) 三好 邦範

## 徳 島 県

### ◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

1990年創刊 <https://www.museum.tokushima-ec.ed.jp>

- ◇117 2019.12 A4 8p  
 刀 銘(表) 寛文七ヒノトノ未凡三百八十ヶ日八月日  
 (裏) 阿州於福島惣左衛門尉永次造 大橋 俊雄  
 Culture Club 徳島藩と大井川―徳島藩家老が寄進した石碑探訪 松永 友和  
 令和元年度部門展示 博物館所蔵の刀剣  
 野外博物館 暖かい森の木になるシダ〜ヘゴ 茨木 靖  
 情報BOX 太宰府天満宮のおふだ 庄武 憲子  
 レファレンスQ&A 弥生時代や古墳時代には、どのような方法でお  
 米を炊いていたのですか? 岡本 治代
- ◇118 2020.3 A4 8p  
 光格上皇修学院御幸儀仗図巻 大橋俊雄／岡本治代  
 Culture Club 外来植物とのつきあい方 小川 誠

文化の森総合公園開園30周年記念 蔵出し!とくしま“宝もの”展  
 収蔵品紹介 世界に一つだけの『じんぞく』 井藤 大樹  
 速報 2019年度の恐竜化石含有層(ボーンベッド)の本格発掘調査を  
 実施 辻野 泰之  
 レファレンスQ & A 遺跡から出土した鉄製品はどのように保存する  
 のですか。 植地 岳彦

## 愛媛県

### ◆いせき ニュースレター 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 FAX089-905-2925

#### ◇135 2020.1 A4 24p

四国中央市の古墳(14) 経ヶ岡古墳 正岡 陸夫  
 愛媛県の19・20世紀の考古学史 十亀 幸雄  
 法隆寺五重塔秘宝の調査(上) 名本二六雄

#### ◇136 2020.2 A4 32p

四国中央市の古墳(15) 瑞華の森古墳 正岡 陸夫  
 安養寺裏山古墳出土方格八鳳鏡と中国製方格T字鏡 徳富 孔一  
 松山市八反地・櫛玉比売神社古墳採集の埴輪 清水 真一  
 松山市釣島の近世石切場 十亀 幸雄  
 法隆寺五重塔秘宝の調査(中) 名本二六雄

### ◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

#### ◇396 2020.1 A5 52p 750円

松山城の大手口ー中世商業路との関係 井上 正夫  
 伊予三島宮の社領構造と諸国一宮との比較 山本 高志  
 細川京兆家と伊予国宇摩郡 山内 譲  
 書評 永松実編著『花月楼主人の巡礼道中 安政七年『道中手扣帳』  
 と庶民の旅』 井上 淳

報告 芸備地方史研究会二〇一九年度大会 山内 治朗

郷土その日その日 自令和元年5月至令和元年8月 編集部(柚山俊夫)

例会記事 第1252回 丸山定夫巡礼 篠原孝明氏、目黒山模型に見る  
 十七世紀の景観 宮本春樹氏／第1253回 豊臣政権と河野氏のゆく  
 え 西尾和美氏／第1254回 能島村上氏に関する覚書ーさらなる  
 「海賊」理解を目指して 大上幹広氏、加藤嘉明と初期松山藩関係

史料 山内治朗氏

◇397 2020.4 A5 41p 750円

- 明治六年作成の高岸村絵図について 柚山 俊夫  
豊後森藩主久留嶋通祐と伊予・京都の三嶋信仰 東 昇  
歴史余話 「瀬戸内ヒストリア」で展示された伊予ゆかりの中世史料  
について 内池 英樹  
報告 第一二回四国地域史研究連絡協議会(高知大会)参加記 永井 紀之  
郷土その日その日 自令和元年8月至令和元年12月 編集部(柚山俊夫)  
例会記事 第1255回 江戸時代の地震被害に見る絵図と古文書の活用  
一字和島伊達家の宝永と安政の資料から 志後野迫希世氏、地図に  
見る愛媛の近代都市一松山・今治・宇和島を中心に 平井誠氏/第  
1256回 伊予が生んだ実業界の巨人 八木亀三郎②~そのとき八木  
亀三郎は動いた 大成経凡氏、愛媛の定数名所略史 松友武昭氏/  
第1257回 松山領伊予郡絵図と外山村地図、高岸村地図 柚山俊夫  
氏、時宗奥谷派の盛衰~時衆奥谷道場(宝厳寺)・松前道場(金蓮寺)  
三好恭治氏

◆小松史談 小松史談会

〒799-1101西条市小松町新屋敷甲3007-1 西条市立小松温芳図書館  
郷土資料室 TEL0898-72-5634

◇146 2020.1 A5 239p 500円

《小松史談会創立70周年記念号》

- ご挨拶 更に「親しみやすい史談会」を目指して 石丸 敏信  
祝 辞  
小松史談会創立七十周年を祝して 一柳 直智  
小松史談の古い号から 柚山 俊夫  
小松史談会創立七十周年を迎えて 近藤 勝志  
小松史談会創立七十周年を祝す 塩出 皓治  
小松史談会総目次で見る星加先生の思い出 重松 二郎  
小松史談会七十年のあゆみ(創立六十年の歩みとこの十年の歩み) 編 集 部  
石根の子どもの郷土学習 織田 義彦  
邪馬台国時代の小松 松木 武彦  
小松周辺の明治時代前期の県道について 柚山 俊夫  
小松 道物語(10) 伊藤 敏昭  
大宮司 鴨重忠物語 石丸 敏信  
婚姻・養子から見る小松藩士と今治藩士の関係性 伊津見孝明

近藤篤山と黒河丹次(石漁)について	眞鍋 達夫
彼岸花と姥捨山伝説	渡辺 裕二
北海道移住者の軌跡	島谷 美雪
檜垣善六茶の袴 小松藩のお抱え刀鍛冶	濱本 雄大
調査報告 長福寺南明東湖像	那須 望
長福寺所蔵南明東湖像について	河野 徳峰
道場遺跡の発掘調査成果	岡島 俊也
第一回史跡めぐり報告(善通寺方面)	近藤 中子
第二回町内史跡めぐり報告(プラブラ町内めぐり)	竹井 賢二
おもしろ昔話シリーズ(1)	
たぬきの言い伝え／天神様の白へび／ひょうたん池の柳の木	曾我部研二
コラム	
小松の椿 第4回「小松姫」	越智 敏雄
歴史小話 in 篤山邸について	三宅 紗代
小松の歴史4コマ漫画(4)	處友香(小松)
小松藩主墓所を守る会設立に当たって	伊藤 敏昭
維新の勇士・元山源太の墓標建立	石丸 敏信
小松高校へ「小さな藩の奇跡」五十冊贈呈	三宅 紗代
七十周年記念「ふるさと街並みマップ」完成	石丸 敏信
西条高校に伝わる篤山先生の書	西原 俊基
小松史談会行事一覧(平成21年度～令和元年度)	三宅 紗代



\*小松史談会は1949年7月に近藤延始(論弘)氏を会長に71名の会員により設立され、めでたく古希を迎えた。「小松史談会に尽くされた人々を辿る」によれば、前史は1938年頃に、実用女学校校長の一柳春二氏を中心に、女学校内に新設された温芳図書館館長兼司書の近藤氏らが同館を事務所として創立した「小松郷土史

編纂研究会」にある。機関誌『小松史談』は早くも2か月後の9月に創刊されている。会則の事業内容に、郷土史の編纂、史跡の保存、郷土史の普及、資料の蒐集、機関誌の発行、月例会、講演会、研究発表会、実地調査を掲げ、そのとおりの活動を続け、会員も350名近くに膨らんで今日に到っている。複数の会員の研究成果として、2001年に刊行された小松藩1万石の善政を記録した『伊豫小松藩会所日記』（集英社新書）は全国的にベストセラーになったという。

現会長の石丸敏信氏は、公民館と共催の歴史講座や、図書館と共催の「歴史小話in篤山邸」、ふるさとマップ作成、高校への図書寄贈のような市民に喜ばれる活動を通じて、より親しみやすい史談会にしていきたいという。次は喜寿、傘寿といわず米寿、白寿を目指して欲しい。

#### ◆四国遍路と世界の巡礼

愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター

〒790-8577松山市文京町3 TEL089-927-9312 2016年創刊

<http://henro.11.ehime-u.ac.jp>

◇5 2020.3 A4 72p

特集 四国遍路の歴史的景観

四国遍路道の景観と巡礼路	稲田 道彦
古代中世における辺地修行のルートについて	寺内 浩
四国遍路が歩いた近代の道路	中川 未来

論考 四国遍路編

四国遍路と札所寺院—香川県の札所寺院調査から	上野 進
四国遍路における現代の「お接待」	
—四国遍路巡拝記における「お接待」の諸相	竹川 郁雄

論考 世界の巡礼編

サンティアゴ巡礼路「フランス人の道」	大原 志麻
メキシコにおけるカトリシズム、聖ヤコブ、聖地巡礼	井上 幸孝

## 福 岡 県

#### ◆季刊邪馬台国 椋書院

〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 TEL092-643-7075 年5400円 1979年創刊

◇137 2019.12 A5 228p 1350円

《創刊40周年記念号》

グラビア 表紙で振り返る『季刊邪馬台国』の歴史  
巻頭言

古史通を編む	編集部
創刊の経緯と野呂邦暢のこと	田村 明美
編集部の思い出	編集部
40周年記念祝辞	
『季刊邪馬台国』 刊行四〇周年記念 祝辞	福岡市長 高島宗一郎
『季刊邪馬台国』 創刊40周年記念号に寄せて	北九州市長 北橋健治
刊行40周年に寄せて	朝倉市長 林 裕二
『季刊邪馬台国』 刊行40周年に寄せて	西日本新聞社代表取締役社長 柴田建哉
邪馬台国の航海祭祀	九州大学名誉教授 西谷 正
40周年記念エッセイ	
思い出残る掲載一九編の論考	新井 宏
糸高歴史部座談会～邪馬台国はどこにある？	福岡県立糸高高等学校歴史部
記紀と考古学—アマチュア歴史家の願望	井上 筑前
卑弥呼の墓は、朝倉の山田にあった!?	井上よしふみ
歴史番組と古代史	遠藤 正雄
世界遺産宗像大社と吉備地方の宗像神	岡 崇
私の古代史研究	奥野 正男
『魏志』が語る邪馬台国の位置	小澤 毅
肥後はいつから「肥後」だったのか	木崎 康弘
卑弥呼の刀？—奈良・東大寺山古墳出土「中平銘鉄刀」	清原 倫子
「王」の推移	古賀 英毅
神々のふるさと遠賀川から邪馬台国へ	志村 裕子
宗像海人の尻尾	白木 英敏
邪馬台国と中山平次郎	関川 尚功
そろそろ「北部九州説」の諸説をまとめるための議論を始めては…	関家 敏正
倭人の結婚習俗	高倉 洋彰
古代史大統一理論の構築を	田中 文也
今こそ大六さんに聞いてみたい	豊田 滋通
邪馬台国論争と報道～『季刊邪馬台国』創刊40年に寄せて	中村 俊介
邪馬台国時代の一考察	原田 青夜
荒神谷遺跡と『魏志倭人伝』の国々	
—荒神谷博物館特別展シリーズから	平野 芳英
幻の邪馬台国～理系学者が読み解く『魏志』倭人伝	宮崎 照雄
神籠石と邪馬台国	向井 一雄
台与(壺与)時代の邪馬台国と西晋の通行	桃崎 祐輔

三つの海につながっていた古代の大宰府	
ートンネルの無い西鉄天神大牟田線から古代の交通を考える	若林 宗男
40周年記念投稿論文	
魏志倭人伝・考古学・記紀から読み解く邪馬台国時代の年代論	内野 勝弘
昨冬発見の咸安末伊山古墳群13号墳 天井石刻天文図を観る	
ー裝飾古墳は安羅国古墳から始まったか？	平井正則／李瑤馥／崔景圭
時事古論(10) 『魏志倭人伝』記載の「黄幢」について	安本 美典
〈総力特集 邪馬台国論争最前線〉	
邪馬台国の条件を探る	高島 忠平
邪馬台国時代、吉備と出雲連合は大和に新王権を樹立したか	石野 博信
弥生時代王権論(補足)	柳田 康雄
邪馬台国論争の経緯と展望	原田 実
邪馬台国は見えてきたか? 「平成」の発掘回顧	編集部
ご当地「邪馬台国」論争一諸説紛々、卑弥呼もいろいろ	編集部
私の邪馬台国研究50年の旅	安本 美典

◆九州史学 九州史学研究会

〒819-0395福岡市西区元岡744 イースト一号館 九州大学文学部日本史学研究室内 TEL092-802-5098 1956年創刊

[http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~his\\_jap/kyushusigaku/](http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~his_jap/kyushusigaku/)

◇184 2019.12 B5 60p

巢鴨監獄の誕生ーある公共建築事業を政治史として	赤司 友徳
2018年度九州史学研究会大会公開講演	
神になった武士	高野 信治
問い直される大正時代像ー大衆化の諸相から	季武 嘉也
2018年度九州史学研究会大会公開講演・研究発表要旨	
公開講演 神になった武士	高野 信治
公開講演 問い直される大正時代像ー大衆化の諸相から	季武 嘉也
研究発表	
王政復古3/5	
ー慶応期における「王政復古五脚」の政治活動について	安 浚鉉
明治政府の「復古」と「博物館」ー出品検証を介したアプローチ	高久 彩
宝暦～天明期の鷹場と自然環境ー熊本藩を事例に	丸山 大輝
近世中津藩における医療活動ー種痘活動を中心に	中村 友紀
耳川合戦以降の太友権力と領国支配	広津留三紗
黒田荘の一円寺領過程における私領主と郡司源俊方	張 思捷

◇185 2020.5 B5 91p

鎌倉期少弐氏による対馬支配と代官宗氏  
松尾 大輝  
応仁・文明の乱における大内政弘の政治的役割  
野下 俊樹  
一西幕府・地域権力間の意思伝達を通して  
顧 明源  
壬辰戦争における佐賀の従軍僧是琢明琳について

◆市史研究ふくおか 福岡市博物館市史編さん室

〒814-0001福岡市早良区百道浜3-1-1 TEL092-845-5245

2006年創刊 <http://www.city.fukuoka.lg.jp/shishi/>

◇15 2020.3 A4 128p

特集 近世都市の記憶

近世都市の記憶—江戸と博多、そのイメージを問う

講演 幸せな江戸像を問う 岩淵 令治

講演 近世における「博多」ブランドの消長 中野 等

資料紹介 「諸用日記録 二」(1) 八嶋 義之

小特集 中世都市博多の後背地について

小特集 中世都市博多の後背地について 伊藤 幸司

論文 筑前国早良郡における信仰形態の変遷について  
—鎌倉～戦国期まで 吉良 国光

論文 御笠川流域の中世村落—貿易都市博多の周辺(2) 朝岡 俊也

「新興写真」と福岡のメディア—歴史と同時代性の交錯 有馬 学

博多遺跡群出土人骨について 富岡直人／米田穰／覚張隆史

『特別編 活字メディアの時代』連動企画実施報告 文林堂活版見学

会について

## 佐賀県

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇220 2019.12 B5 20p

唐津市指定重要文化財 銅造如来坐像 唐津市西寺町1369

中台寺大聖寺 高麗時代(14世紀) 座高46センチメートル 志佐 暉彦

『有浦文書』研究断片2 文永の役と佐志氏(下) 青木 隆

訃報 故藤崎伸太様

小笠原長光の功績 山田 洋

大阪法雲寺と寺沢堅高の娘 寺沢 光世

書籍紹介 宮島清一『時代を拓いた唐津の先人』、『大石町の歴史』大

石町史編集委員会編、藤崎伸太『栄町雑記』

唐津・発掘・発見の話(8)

増田による四方塚火ノ口古墳の視察について

徳富 則久

歴史に忘れられた人—友常典膳覚書(6)

田島 龍太

大洲城・大山祇神社・村上水軍を訪ねる伊予の旅

松本 和典

川柳が往く伊予の旅

坂本兵八郎

◇221 2020.3 B5 20p

佐賀県重要文化財 銅造菩薩形坐像 唐津市西寺町1225 曹洞宗雙嶽

山長得寺 高麗時代(14世紀始め頃) 座高75.5センチメートル

志佐 惲彦

『有浦文書』研究断片(2) 文永の役と佐志氏

青木 隆

訃報 青木隆様

寺沢時代の野母・高浜・川原(上)

寺沢 光世

郷土唐津の歴史的な文化財を守る

松浦史談会の伝統に尽くした人々(1)

中里 紀元

唐津・発掘・発見の話(9)

増田らによる宮の原古墳、谷口古墳調査について

徳富 則久

幕末の一枚の書状

山田 洋

松浦党研究連合会 唐津総会・研究会の開催／訃報 故佐々木市太郎

様

歴史に忘れられた人—友常典膳覚書(7)

田島 龍太

うき(浮木)うきむらおこし(村起)のあや 参考文献 ほつまつたえ

鏡邦男謹注 溪声社、イザナギ・イザナミのころ 池田満編著 展

望社、国語学概論 兼頼米太郎著 東洋大学

式島 若彦

## 長 崎 県

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0052五島市松山町604-10 筑田俊夫方 TEL0559-74-2667

◇109 2020.5 A5 140p

巻頭 石田城再発見シンポジウム

京の片隅で(6)

伴 靖子

ある偶然(3)

竹山 和昭

七 景

大坪 昇平

翁頭山植物紀行

山田恵美子

令和の福江島を旅して

櫻井 隆

「平和道75年」を、更に長きへ(1)―「反核・平和」への日々	片山 圭弘
五島列島の五島家の系譜を糺す	尾崎 朝二
草創期の五島中学校史	内海 紀雄
追悼 有川一男理事を偲ぶ	筑田 俊夫

## 宮 崎 県

### ◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊  
<https://hakkouitiunotou.jimdo.com>

#### ◇94 2020.1 A4 12p

石の証言 牡丹江省塩川隊 満洲国牡丹江省東京城塩川部隊

新年の挨拶

税田啓一郎

「天皇制」と日本人〈大嘗祭〉に思うこと

南 邦和

「戦争の記憶を風化させない貴重な報告」

第6回「空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会」

田原 実

「平和」を学ぶ島 沖繩

土岐 宗春

新田原基地の米軍基地化を許さない

佐川 嘉正

ベルリンの壁崩壊から30年―中欧・ドイツの旅(1)

追立 敏弘

掩体壕の文化財登録についての宮崎市の現状

「八紘一字」の塔建設80年の記念イベント企画案

村上 直巳

#### ◇95 2020.3 A4 8p

石の証言 間島省琿春県公署

『間島パルチザンの歌』／南邦和氏「『尹東柱覚え書』“獄死五十年”を  
迎えて」より／序詩(尹東柱)

2020年が節目となる歴史的“紀年”／「八紘一字」の塔を考える会結成

30周年／第6回空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流  
 会報告書を発刊／「赤江あの日あの頃」第2集を発刊 佐藤正信  
 氏／私たちの町でも戦争があった―アジア太平洋戦争と日向市 福  
 田鉄文著(鉦脈社) 第30回宮日出版文化賞

ベルリンの壁崩壊から30年(2) オーストリア・ウィーン

追立 敏弘

宮崎県日中友好運動懇談会 写真で見える戦争遺跡・フィールドワーク

塔の礎石と文化財の返還問題について

追立 敏弘

「八紘一字」の塔建設80周年記念イベント／「八紘一字」の塔を考える

会結成30周年 記念イベント

平和委員会

佐川 嘉正

宮崎県内日中友好運動懇談会の戦跡フィールドワーク  
武漢について

◇96 2020.5 A4 8p

石の証言 厦門日本居留民会・厦門台湾居留民会

「八紘一宇」の塔を考える会 2020年度総会のために／総会 記念講

演「魂の詩人 尹東柱」 講師：南邦和さん

日名子実三の“神話”考

税田啓一郎

ベルリンの壁崩壊から30年(3) ベルリンからポツダムへ

追立 敏弘

## 鹿 児 島 県

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会

〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18 阿多利昭方 TEL099-253-1775 年4000円

1950年創刊

◇156 2019.12 B5 91p

表紙写真解説 三島村黒島大里の黒島流れの犠牲者の墓石

松原 武実

わたしの昭和

追想の奄美

名越 護

ラジオとテレビ

所崎 平

青春の小遣帳

所崎 平

昔話「猿蟹合戦」

内田 賢作

奄美の風葬再考

名越 護

大敷網の漁業騒動概略

所崎 平

尺八桶のこと

所崎 平

旧郡山町の盆行事

牧島 知子

三島村の盆踊り概観

松原 武実

来訪神ボジェ(ボゼ)・メンドン・トシドンは、なぜユネスコ文化遺産

になったのかー来訪神出現のナゾ解きとその意義について

下野 敏見

みんぞく・かわらばん

親モロコ(1)

松原 武実

地蔵像の「千匹塚」

名越 護

親モロコ(2)

松原 武実

水掛婚

名越 護

霧島修験 本山派愛甲修験資料『異賊調伏御祈禱日帳』読み解き(10)

森田 清美

## 沖 縄 県

### ◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

#### ◇236 2020.1 B5 8p

- 1月定例会レジュメ 西欧列強の沈没船遺跡と宮古島 片桐千亜紀  
2月定例会レジュメ 「砂川双紙」について考える 下地 和宏  
総合博物館開館三十周年記念特別展示「宮古の宝 三十選展」展示案  
内—11月定例会のまとめ 與那覇史香  
最近の発見にみる旧西中共同製糖場煙突について  
—12月定例会を終えて 久貝 春陽  
第19回博物館講座「宮古 R-1 抗井・八重干瀬から見た大神島の地形、  
地質学的イベント」の紹介 砂川奈美子  
第36回企画展「平成29・30年度新収蔵品展」開催について 新田 由佳  
宮古上布は紺色でなければならないか 大西 威人  
砂川猛さん・沖縄県文化功労者受賞 事務局  
第1回八重山・宮古歴史文化交流会議開催 久貝 弥嗣  
『最新科学が明かす明和大津波』発行 久貝 弥嗣  
「宮古郷土史研究会」設立45年！ 仲宗根將二

#### ◇237 2020.3 B5 8p

- 3月定例会レジュメ 「降り井を訪ねて～鏡原・地盛・七原～」 案内・森谷大介  
西欧列強の沈没船遺跡と宮古島〈HMSプロビデンス号〉の調査と研  
究～12月定例会を終えて 片桐千亜紀  
「砂川双紙」と「大雑書」～2月定例会を終えて 下地 和宏  
伊波普猷の二論と稲村賢敷の双紙論 二月例会下地和宏報告に寄せて  
大西 威人  
遺跡巡検 ミャーカにみる石造技術 久貝 弥嗣  
第36回企画展「平成29・30年度新収蔵品展」の紹介 與那覇史香／新田由佳  
『宮古島市総合博物館開館30周年記念誌』発刊 新田 由佳  
第41回博物館友の会学習会  
森谷大介「埋もれかかった石碑」を紹介 下地 和宏  
「郷土史研究会」設立への胎動 仲宗根將二

#### ◇238 2020.5 B5 8p

- 5月定例会レジュメ 「城辺・友利を訪ねて」 事務局  
6月定例会レジュメ 「下地・川満を巡る(仮)」 案内・久貝春陽

「降り井を訪ねて」を終えて～3月定例会をまとめ 宮古郷土史研究会 WEB版(試験運用) 第45回定期総会開かれる	森谷 大介
市指定文化財 佐事川嶺の凝灰岩層と佐事川の障地壕 「おきなわ県民カレッジ」のご案内	久貝 弥嗣 池城 直
『宮古島市総合博物館紀要』第24号発行／博物館における新型コロナ ウィルスの影響と感染拡大防止対策の取り組み	與那覇史香
伊良部・下地地区の戦争遺跡	久貝 弥嗣
下地和宏著『宮古の御嶽と鳥居』を読む	仲宗根將二

#### ◆宮古島市総合博物館紀要

〒906-0011宮古島市平良字東仲宗根添1166-287 TEL0980-73-0567

◇24 2020.3 B5 292p

宮古・池間島カツオ産業文化誌(2)

一じょしょく「魚職」からみた生活世界	若林良和／川上哲也
宮古島の牧と沖縄北部のマキ(続)ーまきよ(マキ)と牧 島尻層群天然ガス貯留岩(層)の堆積構造と掘屑サンプル展示の意義に ついて	長濱 幸男 安谷屋 昭
宮古の鳥文化	久貝 勝盛
蒸し蛸の料理	本永 清
研究ノート 野城式土器に関する一考察ー土器の焼成実験を通して	久貝 弥嗣
宮古諸島フデ岩で確認された昆虫類	小浜継雄／砂川博秋
宮古諸島のカマキリ類(カマキリ目：カマキリ科)	小浜継雄／砂川博秋
宮古諸島のトンボ相	小浜継雄／砂川博秋
琉球国後期(近世)末先島の貢布・琉球産物と大坂市場 ー「弘化二年出物積登送状」を中心に	平良 勝保
近代宮古島旧慣期の人口・耕地・貢租・貢布	平良 勝保
『御嶽由来記』・『雍正旧記』にみえる御嶽の伝承から ートーテムと王権	上原 孝三
宮古島市総合博物館制作紙芝居『平良市の三大事業』	與那覇史香
研究余滴 文化行政(=活動)の遠因をなす1947年 ー総合博物館開館30年に寄せて	仲宗根將二
宮古の現代史を駆け抜けた先人	仲宗根將二

## 寄贈図書紹介

### ◆近世武士道論—山鹿素行と大道寺友山の「武士」育成

中嶋英介著 東北大学出版会 (〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1 TEL022-214-2777) 2019年11月 A5 266頁 5700円+税

山鹿素行(1622～85)と大道寺友山(1639～1730)による近世武士道論を「武士」育成の面から捉え直し、定説化された近世士道・武士道論の枠組みの見直すとともに、そこからの脱却をはかる意欲的論考。序(近世武士道論研究をめぐる、本書の構成)／山鹿素行(武教への道—山鹿素行の修養論、山鹿素行の職分論再考、山鹿素行の旧臣観、山鹿素行の教化論—『武教小学』・『山鹿語類』の差異を中心に、山鹿素行の「民兵」育成論—「農」から「士」へ)／大道寺友山(問題の所在、大道寺友山の生涯、大道寺友山『武道初心集』考、高田法古謄写本『武道初心集』再考、大道寺友山の士道論)／結／あとがき／初出一覧／索引

### ◆山形市旅籠町 大久保家文書目録

藤方博之編 (〒980-8576 仙台市青葉区川内41 東北大学東北アジア研究センター 上廣歴史資料科学研究部門助教 TEL022-795-3140) 山形十日町史料調査会 (〒990-0031 山形市十日町3-10-36 佐藤松兵衛商店気付) 2020年3月 A4 72頁  
旧山形藩(水野家)に仕えた重臣大久保家に伝来する文書(一部、奥田家の文書を含む)385点の目録。三河以来の譜代重鎮 大久保一族に連なる大久保知方が寛永12年(1635)に駿河田中藩主 水野忠善に仕えて以降、幕末まで水野家に奉公した大久保家に伝わる貞享5年(1688)から昭和37年(1962)まで、江戸時代後期のものが中心の史料群である。はじめに(藤方博之)／刊行にあたって(大久保靖彦)／目次／大久保家の来歴(藤方博之・佐藤正三郎)／調査と史料群の概要(佐藤正三郎)／目録／大久保家文書の武芸・兵学史料(田中大輔)／史料翻刻(藤方博之)

### ◆福島県歴史資料館収蔵資料目録51 県内諸家寄託文書45

福島県文化センター歴史資料課編 福島県文化振興財団 (〒960-8116 福島県福島市春日町5-54 TEL024-534-9193) 2020年3月 B5 54頁

昭和45年の開館以来、約24万点の歴史資料を収集・保存してきた福島県歴史資料館。昭和46年度から刊行を開始した収蔵資料目録の51冊目として、平成31年(令和元年)度に整理を終えた3件の文書群の目録を収録する。序(大沼博文)／下鳥渡区有文書(その一)(455点、福島市)(小野孝太郎)／今村文直家文書(75点、伊達市)(山田英明)／丹治昭夫家文書(179点、伊達市)(山田英明)

### ◆茨城県立歴史館史料叢書23 一橋徳川家文書 徳川治済期関係史料

茨城県立歴史館史料学芸部編 茨城県立歴史館 (〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 TEL029-225-4425) 2020年3月 A5 295頁

茨城県立歴史館所蔵史料を紹介する史料叢書第23巻。茨城県立歴史館所蔵の一橋

徳川家文書のうち、「最樹院様御筆写」上・中・下をはじめ、二世徳川治済(宝暦元年(1751)～文政6年(1823))期の史料19点と参考史料2点を収録する。解題／最樹院様御筆写 上／最樹院様御筆写 中／最樹院様御筆写 下／最樹院様教訓御書写 全／巖恭院様御筆写 完／題帳 申合議定／題帳 申合議定(二)／題帳 席順之部／題帳 表方之部／題帳 紅葉山御参詣之部／題帳 奥向之部／題帳 御途中之部／題帳 非常之部／御黒印切手鑑札之部／女中出方之部／雑之部／一橋之方非常御定書／神田橋御逗留中取扱方／御広敷御条目／参考史料 御屋形様御方々様御誕生并御忌日附(御三卿家族戒名)

#### ◆近代日本とキリスト教

大濱徹也著 同成社(〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 東京中央ビル内TEL03-2129-1467)2019年12月 B6 179頁 2500円+税

2019年2月に急逝した筑波大学名誉教授・大濱徹也氏の、女子学院同窓会(東京・千代田区)の日本史講座「日本史を学ぶ会」における講座「日本のキリスト教」(全6回、2012年5月～2013年3月)の講演をもとにまとめる。はじめに—キリスト教から日本の近代をみる／序章 歴史を読み解く作法／第一章 攘夷—文明との出会い(攘夷、文明・進歩の原理、第二維新への思い、文明国をめざす国家の器としてのキリスト教)／第二章 新国家の構造(復古革命の世界、大教の下で、「天子」、天皇という存在、結社の時代)／第三章 富家・富村・富国という夢—天に宝を積む営み(失意の果てに、信仰と経済、都市教会と農村教会の乖離、地の塩として、地方改良運動を担ったキリスト者)／第四章 北の大地で—辺境に生きた人びと(開拓と宗教、北海道開教事始、キリスト教の軌跡、入植者の相貌、開拓地の文化)／第五章 女たちの立志(家刀自の世界、『メレイライラン—代記』という問いかけ、生きる力を、「家庭」「ホーム」にこめた思い、「国民」への道)／第六章 国家と宗教の間で(「国家の器」たらん、「愛国心」をめぐる相剋、「社会の器」をめざし、日本へ向ける眼、「日本主義」「国体」に向き合い)／おわりに—「私」が主語となって歴史を語る／あとがき(大濱良代)

#### ◆寧楽の善僧と悪僧—行基と道鏡を対照する

根本誠二著(〒305-0817 茨城県つくば市研究学園5-11-1-213)2020年3月 A5 166頁

奈良時代における悪僧の代表とされる道鏡(?～772)と高僧・名僧の典型とされる行基(668～749)。二人の仏教者の行実を対照しながら、善なる僧と悪なる僧の見直しを試みる。はじめに／寧楽の仏教者と天皇・貴族層(平城京の寺々と僧尼、古代仏教の転機、東アジアの仏教と日本)／行基と聖武天皇(行基の知識結と聖武天皇の知識結、行基と『靈異記』、多様な行基像)／道鏡と称徳天皇の「密教」(道鏡の行実、道鏡と貴族層の相克)／行基と道鏡の対照(寧楽の善僧と悪相、奈良仏教者という官僧、善僧と悪僧の対照)／おわりに／史料引用主要参考文献—

覧／あとがき

◆常陸二の宮静神社文書 全4冊

静神社編・刊（〒319-2106 茨城県那珂市静9 斎藤隆宮司 TEL029-296-0029）

問合せ：高橋裕文（那珂市史編纂専門委員 TEL029-298-8067） 各2000円

古代以来、常陸国二の宮として広く信仰され、江戸時代には水戸藩の支援を受け、幕府・水戸藩だけでなく民衆からも鬼頭や平磯渡御・酉の市`人気を博してきた静神社。本史料集は、静神社文書を中心に静神社の全盛期の姿をよみがえられる近世文書を全4冊に収録する。上巻 静神社文書、萩庭家文書他、静神社の歴史・年表／中巻 静神社文書／下巻(1) 萩庭家文書／下巻(2) 萩庭・柏家文書他

◆湊十分所史料集

菱田忠義・吉田ゆり子編 東京外国語大学出版会（〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 TEL042-330-5559）2020年3月 A5 1129頁 18000円＋税

湊川河口の上総国天羽郡湊村に置かれ、嶺上山入会五二か村から津出しされる米穀をのぞく諸荷物に付加される「十分一」を徴取するための「湊十分所」。17世紀前半、寛永年代から明治6年(1873)1月に廃止されるまでの役人を務めた菱田家伝来の役所関係史料655点を翻刻・収録する。十分一役所と村々／十分一改めと抜荷取締り／十分一の算用と御用荷物／湊村の分郷と十分一役所／御触書留・願書留／御山の管理／船の管理／菱田家関係／解題(吉田ゆり子)／湊十分所と菱田家(菱田忠義)／菱田家のこと(菱田敏子)

◆赤水の「蝦夷之図」と「蝦夷松前図」の制作時期と時代背景

三浦邦明編 長久保赤水顕彰会（〒318-0103 茨城県高萩市大能341 佐川春久方 TEL0293-28-0405）2019年11月 A4 28頁 非売品

長久保赤水の「赤水図」(改正日本輿地路程全図)以後、個別に出版された「蝦夷之図」(個人所蔵)と「蝦夷松前図」(明治大学蘆田文庫所蔵)を取り上げ、その制作時期や時代背景を明らかにする。大判の「蝦夷之図」と小判の「蝦夷松前図」は江戸幕府の蝦夷地調査隊からの依頼で作られたか？(佐川春久)／蝦夷の図の調査報告するに当たって(三浦邦明)／赤水の「蝦夷之図」と「蝦夷松前図」の制作時期と時代背景(長久保赤水顕彰会総会)／全国測量・地図 史跡探訪 第5回 近代測量150th 茨城は地図と測定の揺籃(ゆりかご)の地(その1)、インフォメーション 長久保赤水顕彰会『改正日本輿地路程全図』原寸大レプリカの発行について(日本測量協会「測量」2019年10月号・9月号)

◆續長久保赤水書簡集 現代語訳

高萩郷土史研究会編（〒318-0034 茨城県高萩市高萩258-7 神永久米男方 TEL0293-22-4445）長久保赤水顕彰会（同上）2019年11月 A4 193頁 1000円

伊能忠敬にさきがけて「改正日本輿地路程全図」を完成させた長久保赤水(1717～1801)の書簡を集めた高萩郷土史研究会の横山功氏による『續長久保赤水書

簡集』(2017年)の現代語訳。前編・續編に続く三冊目として、93点の書簡を収録する。『續續長久保赤水書簡集 現代語訳』の発刊に寄せて(大井川和彦)／『續續長久保赤水書簡集 現代語訳』出版に寄せて(大部勝規)／『續續長久保赤水書簡集 現代語訳』刊行を祝して(小野寺淳)／長久保赤水先生のお人柄かせ知れ渡ることを期待したい(草間吉天)／『續續長久保赤水書簡集 現代語訳』出版を祝う一中学生にも読める赤水の手紙(長久保片雲(源藏))／“積善の家には必ず余慶あり”(横山功)／續續長久保赤水書簡集 現代語訳／関係資料編／あとがき

#### ◆村会雑組1 佐倉市史料叢書

佐倉市史編さん委員会・佐倉市編・刊 (〒285-0038 千葉県佐倉市弥勒町78 佐倉市総務部行政管理課市史編さん担当 (担当：日暮) TEL043-486-3478) 2020年3月 A4 205頁

佐倉に関わる貴重な文献史料を紹介する佐倉市史料叢書。本書には、根郷村会議員や同村長を歴任した渡辺庄治氏が、根郷村会に関する書類や通知を丹念に綴り作成した史料「村会雑組」(渡辺庄一郎家文書)のうち、明治37年(1904)から42年までを収録する。以降、明治43年から大正2年までを「村会雑組2」として刊行の予定。刊行にあたって(西田三十五)／「村会雑組」解題(中村政弘)／渡辺庄一郎家文書と佐倉市史編さん事業(中澤恵子)／村会雑組1 明治三十七年、明治三十八年、明治三十九年、明治四十年、明治四十一年、明治四十二年

#### ◆四街道市の歴史 資料編近現代3

四街道市史編さん委員会編 四街道市 (〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡2001-10 四街道市役所第二庁舎 四街道市教育委員会教育部社会教育課 市史編さん室 TEL043-424-8934) 2020年3月 A4 259頁

千葉県四街道市史『四街道市の歴史』の最新刊。戦後、四街道市(旭村・千代田町)の昭和20年代、特に開拓を中心とする資料142点を収録する。ごあいさつ(佐渡齊)／戦処理(軍隊の解体、町村の動向)／「地方自治」のなかで(旭村、村議会、千代田町、農業委員会)／下志津原の開拓(県の政策、大日開拓、「思ひ草」、鹿放ヶ丘開拓、「しらつゆ・大地」、コラム もうひとつの開拓)／農家の日記(1)(コラム 昭和二九(一九五四)年は、こんな年だった)／新聞に出た地域(新聞目録 千葉新聞、自由新聞)／資料解説／あとがき

#### ◆江戸の祭礼 角川選書

岸川雅範著 KADOKAWA (〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3 TEL0570-002-301) 2020年2月 B6 262頁 1700円+税

『江戸天下祭の研究』(岩田書院、2017年)で神道文化会賞を受賞した著者が、神田祭や山王祭など、江戸時代から現代へ連綿と続く伝統文化ひもとく。プロローグ 江戸から現代、祭礼はどうなったのか／「江戸の華」イメージと東京の祭礼一祭礼文化の持続と変容／江戸と秋葉原、その近世近代史／江戸の伝統文化、廃

絶と復活／創造された祭祀／江戸東京、神社と民俗の融合／伝統と今／新たな伝統文化なのか？ 神社とアニメコラボ／江戸祭礼の歴史／伝統とは何かを明らかにする／あとがき／註・参考文献

#### ◆たば塩コレクションに見るポスター黄金時代

たばこと塩の博物館編・刊（〒130-0003 東京都墨田区横川1-16-3 TEL03-3622-8801）2019年12月 A4 16頁

たばこと塩の博物館展覧会（2019年12月14日～2020年2月16日）のパンフレット。館所蔵のポスターコレクションから、広告メディアの花形だった1890～1960年代に製作されたポスターを中心に展示し、あわせてサビニヤックほか有名デザイナーの作品を含む海外のたばこポスターなども紹介する。ポスター黎明期／COLUMN 多色刷り石版印刷／たばこポスター全盛期(1) 明治たばこ宣伝合戦／COLUMN 岩谷松平と凸版印刷株式会社／収蔵品に見る明治期ポスターの作り方／「図案」という概念／ポスターは時代を写す鏡／たばこポスター全盛期(2) 名コピーとグラフィックデザイン／世界のたばこポスター

#### ◆都市と農の民俗―農の文化資源化をめぐる

安室知著 慶友社（〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-48 TEL03-3261-1361）2020年2月 B6 258頁 2600円＋税

現在、農の世界で進む文化資源化を切り口に、都市と農村という二つの視点からのアプローチを通して、農をめぐるそれぞれの枠組みの意味を問い直す。まえがき／第Ⅰ部 都市における農の文化資源化（都市生活者の田園イメージ、都市における「もう一つの農」、市民農園に学ぶ）／第Ⅱ部 都市と農村を結ぶ文化資源（都市農のゆくえ、環境問題としての食と農）／第Ⅲ部 農村における農の文化資源化（農の変貌と農村生活、在来農法の文化資源化、文化資源化される農耕儀礼―地域アイデンティティとしてのお田植祭と赤米）／あとがき／索引

#### ◆日本の歴史を解きほぐす―地域資料からの探求

シリーズ地方史はおもしろい01

地方史研究協議会編 文学通信（〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-35-6-201 TEL03-5939-9027）2020年4月 新書判 270頁 1500円＋税

地域を考えるうえで重要な資・史料に焦点をあてて、学際的な面白さを広める地方史研究協議会の創立70周年記念新シリーズの第1冊。シリーズ刊行にあたって（廣瀬良弘）／地域に残された史料からなにがわかるのか（廣瀬良弘）／第1部 地域を歩くのはおもしろい 面白い研究をするには（山崎久豊）、江戸周辺地域の長屋門（野本禎司）、「河川台帳」に遺されていた幻の中世城郭を追う（新井浩文）、蔵からのぞくまつりの文化（山澤学）、行徳塩浜と「災害」（菅野洋介）／第2部

資料を読み込むのはおもしろい 「御札」から読み解く秋田藩の山林（芳賀和樹）、下総と武蔵の埴輪（鬼塚知典）、浅草寺の西仏板碑（伊藤宏之）、借用証文の

読み方(荒木仁朗)、千葉県庁に伝来した文書の謎(平野明夫)／第3部 歴史を再発見するのはおもしろい 能登の仏事の一齋(生駒哲郎)、長崎阿蘭陀通詞本木家のアイデンティティ(鍋本由徳)、偶然ではない必然(原淳一郎)、ワッパ騒動の裁判と法(長沼秀明)、「山国隊」隊名をめぐるあれこれ(吉岡拓)／第4部 教材として役立つ地域資料 写真絵葉書にみる風景へのまなごし(萩谷良太)、筆子塚から読み解く庶民教育(工藤航平)、お江戸のキャラクター(富澤達三)、『足利持氏血書願文』を一緒に読もう(風間洋)／あとがき

◆袋村松澤家文書調査報告書 文化財研究紀要別冊28

東京都北区教育委員会教育振興部飛鳥山博物館事業係編 (〒114-0002 東京都北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133) 東京都北区教育委員会 (〒114-8546 東京都北区滝野川2-52-10 TEL03-3908-9279) 2020年3月 B5 165頁

平成27年度から令和元年度にかけて北区古文書調査会・北区教育委員会事務局が行った旧袋村松澤家文書の調査報告書。松澤家は江戸時代に袋村(現赤羽北周辺)の幕府直轄領の名主をつとめ、明治時代には副戸長をつとめるかたわら沢庵漬物業を営んでおり、寛永10年(1633)から昭和45年(1970)までの多岐にわたる1971点の文書群である。ごあいさつ(野尻浩行)／刊行の辞(加藤貴)／調査報告 袋村松澤家文書について(田中葉子)／資料目録／史料翻刻(25点)／研究報告 御鷹野御用負担における触次の実態—文化・文政期の岩淵齋を中心に(黒滝香奈)、明治初期の宗教政策と袋村の寺院(鈴木三美子)、松澤家と明治前期東京近郊の沢庵商い(菊地智博)／調査関係者一覧／研究会記録

◆万葉集と東アジア世界 上

川勝守著 汲古書院 (〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-5-4 TEL03-3265-9764) 2020年4月 A5 492+26頁 6000円+税

万葉歌人たちがいかなる環境で歌を詠んだか、その環境を天平時代当時とその直近の時代に即して、東アジアの国際的環境との関連で広く捉える。はじめに／日本古代国家の成立と東アジア世界—万葉集卷一について／飛鳥藤原期の政治変動と土婚及び葬送儀礼—万葉集卷二の相聞・挽歌について／律令文武官人の任務と作歌活動—万葉集卷三の雑歌・譬喩歌・挽歌について／日本型相聞歌と律令文武官人の作歌活動—万葉集卷四の相聞歌について／遠の朝廷大宰府・九州官人の作歌と東アジア世界／良京朝廷官人の公務と作歌／万葉集における宮廷歌の古典とその分類 その一／万葉集における宮廷歌の古典とその分類 その二／万葉集における宮廷歌の古典とその分類 その三／『万葉集と東アジア世界』上巻のあとがき／万葉集読み方用例索引／索引

◆法城山高圓寺蔵「那智参詣曼荼羅」—熊野比丘尼の絵解きをめぐって

林雅彦著 法城山高圓寺 (〒387-0023 長野県千曲市八幡2368 TEL026-272-1528) 2019年12月 B5 41頁 1000円

平安中期の長元年間(1028～37)、浄活阿弥真光寺入道の開創とされる長野県千曲市八幡の名利・法城山高圓寺に伝わる新発見「那智參詣曼荼羅」について、同じく長野市篠ノ井横田の東横田公民館に伝わる「熊野觀心十界曼荼羅」とともに、絵解き風に詳しく解説する。

◆養老名所案内（復刻版）

佐藤愛之助著 岐阜県郷土資料研究協議会（〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111）2019年9月 B6 116頁

明治29年(1896)7月に発行された『養老名所案内 全』（岐阜県図書館所蔵）の復刻版。明治13年に、新たな神社仏閣を建立し、道路を修繕するなどして養老公園として整備された岐阜県養老山のさまざまな名所を、多数の挿図とともに紹介する名所案内。発行者：田中正兵衛 印刷者：川口房太郎 印刷所：高田活版所 木版彫刻者：松谷重蔵 発売所：岡安慶助

◆菊田日記2 第七番～第十四番 富士吉田市歴史民俗博物館資料叢書3

富士吉田市立歴史民俗博物館(ふじさんミュージアム)編(〒403-0032 山梨県富士吉田市上吉田東7-27-1 TEL0555-24-2411) 富士吉田市教育委員会刊 2020年3月 A4 279頁

1979年「富士吉田市郷土館」として開館した富士吉田市立歴史民俗博物館の資料叢書第3集。令和元年度に実施した古文書調査の成果として、御師菊田(菊屋)の当主菊田式広道による享和3年(1803)から天保6年(1835)までの『菊田日記』(市指定有形文化財)全36冊のうち、第2集につづき文化4年(1807)2月から同6年7月、第七番から第十四番(御師聞菊田家所蔵)を翻刻・収録する。口絵／序(溝口絵三郎)／資料 菊田日記 第七番(文化4年2月～6月)、第八番(文化4年6月～9月)、第九番(文化4年9月～11月)、第十番(文化4年11月～文化5年2月)、第十一番(文化5年3月～8月)、第十二番(文化5年8月～11月)、第十三番(文化5年12月～文化6年正月)、第十四番(文化6年3月～7月)

◆2019(第32回)平和のための富士戦争展の記録

「平和のための富士戦争展」の会編・刊(委員長:小長谷保 事務局:加藤善夫) 2019年12月 B5 58頁

1988年の第1回開催から32回目を迎えた「平和のための富士戦争展」(2019年8月13日～18日)の記録集。「戦争と子どもたち—子どもたちに 平和のバトンを わたしたい」をテーマに、森住卓写真展「戦禍の中の子どもたち」とあわせて2部構成で展示する。第32回平和のための富士戦争展を終えて(核兵器廃絶平和富士市民の会)／二〇一九 富士戦争展から(写真・記事)／二〇一九 富士戦争展・展示品一覧／二〇一九 富士戦争展の展示内容から(大芝裁縫女学校の廃校と勤労働員、沖繩戦と子どもたち)／歴史民俗資料館の常設展示から お祭り騒ぎから戦争は広がった—富士地域の「紀元二六〇〇年」を見る／地域の戦争記録 富士

飛行場と中国人強制連行(三) (加藤善夫)／アンケートにみる参観者の声／高校生ボランティアの感想文から／二〇一九 富士戦争展・実行委員の感想／二〇一九年 活動の記録／平和富士市民の会／富士市「核兵器廃絶平和都市宣言」

◆愛知県史 通史編9 現代

愛知県史編さん委員会編 愛知県 (〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2 自治センター8階 総務部法務文書課県史編さん室 TEL052-972-9171) 2020年3月 A5 843+11頁 5000円+送料

平成6年度に着手した新『愛知県史』編さん事業の通史編(10巻)・資料編(36巻)・別編(12巻)全58巻の完結となる第22回・最終回配本。1945年(昭和20)の敗戦から1989年(昭和64・平成元)頃までの愛知県域に関わる歴史を叙述する。

現代愛知の概観／第一章 占領政策とその転換／第二章 戦争被害からの経済的復興／第三章 戦禍からの暮らしの再生／第四章 県土の基礎整備／第五章 高度成長への助走／第六章 県民生活の構造の転換／第七章 伊勢湾台風と社会整備／第八章 高度成長期の県政／第九章 高度経済成長期の産業発展／第十章 都市化の進行と大衆社会化／第十一章 安定成長期の県政／第十二章 安定成長期の産業経済／第十三章 新たな県民社会の模索／あとがき／執筆分担／引用・参考文献一覧／掲載図版一覧／索引／付録CD-ROM(通史編9 現代 電子版)

[愛知県史のしおり] A5・8頁

愛知現代史への記述に寄せて(塩見治人)／戦後の愛知県の産業発展に果たした自動車の役割(林 上)

◆愛知県史 通史編10 年表・索引

愛知県史編さん委員会編 愛知県(同上) TEL052-972-9171) 2020年3月 A4 696頁 5000円+送料

愛知県域に関わる原始から1989年(昭和64・平成元)までの歴史事項の年表、歴史災害の特集、通史編の総索引・総目次を収録する。

年表／目でみる愛知の災害と人々の暮らし／通史編総索引／通史編総目次／あとがき／引用・参考文献一覧／掲載図版一覧／資料提供者及び協力者／愛知県史編さん関係者名簿／付録CD-ROM(通史編10 年表・索引 電子版)

[愛知県史のしおり] A5・8頁

近現代における自治体史編纂の歴史的意義(白井哲哉)／歴史文化の継承と資料絵保存(天野真志)

◆東海の仏教民俗 名古屋民俗叢書5

名古屋民俗研究会編・刊(〒489-0867 愛知県瀬戸市大坂町416-9 伊藤良吉方 TEL0561-84-7044) 2017年3月 B5 41頁

平成28年6月12日名古屋市博物館で開催された第46回東海民俗研究発表大会の公開講演・発表の内容を収録する。東海の「仏教と民俗」―廃仏毀釈と真宗門徒、

ダイホンサンと野仏・野袈裟(蒲池勢至)／知多の虫供養と阿弥陀坊主の今(津田豊彦)／清正公信仰と名古屋(田中青樹)／僧侶と公共事業(大山英治)／洲原神社信仰と尾張(蓑島一美)／後記(伊藤良吉)

◆トルコ・アナトリアの「歴史的重層性」と文化遺産

京都府立大学文化遺産叢書17

阿部拓児・田中英資・守田正志編 京都府立大学文学部歴史学科(〒606-8522

京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL075-703-5259) 2019年10月 A4 150頁

京都府立大学文学部歴史学科による地域の歴史や文化遺産についての研究成果報告第17集。トルコ・アナトリアの都市遺跡・文化遺産を対象として、科学研究費「遺跡・遺構からみるアナトリア都市文化の通時的分析」の調査・研究成果をまとめる。メリエム・アナ・エヴィの「再発見」とエフェソスのマリア伝承にかんする予備的考察(阿部拓児)／現代セルチュクにおけるエフェソスの位置づけ(田中英資)／アリンダ遺跡と「カリアの王女」(阿部拓児)／ウズン・ユヴァの「ヘカトムノス廟」—発見、整備とその真正性(阿部拓児)／ベチン城塞の建築遺構の調査報告(守田正志)／ストラトニケイアの古代(阿部拓児)／クサントスの王墓—チャールズ・フェローズの記録と現状(阿部拓児)／パターラ遺跡とゲレミシュ村の人々(田中英資)／ディルゲンレル村近郊のデアアウズに残る中世ビザンツ教会堂の調査報告(守田正志)／デムレ近郊に残るビザンツ教会堂遺構(守田正志)

◆京都東山・三嶋神社文書調査報告 京都府立大学文化遺産叢書18

東昇・水谷友紀編 京都府立大学文学部歴史学科(〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL075-703-5259) 2019年12月 A4 158頁

京都府立大学文学部歴史学科による地域の歴史や文化遺産についての研究成果報告第18集。京都市の神社文書に関する科学研究費「聖地・霊場の成立についての分野横断的比較研究」の調査・研究成果をまとめる。刊行によせて(友田重臣)／三嶋神社文書の調査と概要(水谷友紀)／論考編 妙法院領における三嶋社と友田家(梅田千尋)、近世三嶋神社の信仰—三嶋明神・妙見宮・神使の鰻(東昇)、近世・近代三嶋神社周辺の土地利用について(水谷友紀)、三嶋神社文書(中世分)の翻刻と考察(萩原大輔)、三嶋神社妙見神像について(児島大輔)／祭礼編 祭礼調査の記録(水谷友紀)／目録編 三嶋神社文書目録／奥付・文化遺産叢書リスト

◆京都雲ヶ畑・波多野六之丞家文書調査報告 京都府立大学文化遺産叢書19

東昇編 京都府立大学文学部歴史学科(〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL075-703-5259) 2019年12月 A4 158頁

京都府立大学文学部歴史学科による地域の歴史や文化遺産についての研究成果報告第19集。京都府立大学地域貢献型特別研究「地域文化財を活用した山間地区コミュニティの維持方策の研究、科学研究費補助金「聖地・霊場の成立についての分野横断的比較研究」の調査・研究成果をまとめる。波多野六之丞家文書の概要

(有賀陽平)／文書調査・研究成果の報告・公開(東昇)／波多野富之助と近代雲ヶ畑一山林・御獵場・志明院(東昇)／波多野六之丞家文書目録(京都府立大学文化情報研究室)／資料翻刻 (1)仙洞御所関連、(2)菖蒲役関連、(3)鮎御用関連、(4)横成山山論、(5)岩屋山志明院関連

◆御用録 上 大阪市史史料88

大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会 (〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333) 2019年10月 A5 151頁 1800円

大阪市史編纂所所蔵の『御用録』(全五冊)のうち、一・二冊目を収録する。大坂東町奉行所組与力六代目八田五郎左衛門が記録を始め、七代目の伴右衛門が書き継いだと想定され、明和元年(1764)7月から天明3年(1783)3月にかけての約20年間の組触814件を、ほぼ編年順にまとめたもの。解題(野高宏之)／『御用録』一(149件 明和元年～同5年)／『御用録』二(136件 明和6年～同8年7月)

◆古文書徒然

はらだおさむ(原田修)著 (〒665-0836 兵庫県宝塚市荒神4-11-7 TEL080-6167-2551) 2019年11月 A5 274頁 1500円+税

宝塚の古文書を読む会の世話人を務める著者の古文書学習15年を記念して、これまで『源右衛門藏』(宝塚の古文書を読む会会誌)、『遊心』(伊丹・古文書を読む会会誌)、『むくるま』(NPO法人とよなか・歴史と文化の会『古文書を読む』部門編)に掲載された論文を編纂する。発刊に寄せて(直宮憲一)／壺(「雪の殿様」と天保土地令、保科正貞の家出)／式(金持ちケンカせず?、「岩屋村」のこと、鳥取藩智頭宿を訪ねて)／参(猪名川の氾濫、クサイおはなし、元文五年の富田村(小部)、忍藩のこと)／四(もうひとつの米谷村、ふたつの米谷村、ある定免制の事例、ふたつの郷帳、豊中市域における飯野藩保科氏領のこと)／五(「原田村明細帳」を読む、梨井村の宗門(人別)改帳、「野口家文書」のこと、「旗本鈴木兵九郎」のことなど、ある村の事件簿、村に帰ってきた藤右衛門)／六(一枚の古文書から一①飯野藩濱陣屋のことなど・②飯野藩丹州天田郡領のことなど・③「御殿様頼母子講」のことなど、二郎村管見)／あとがき

◆奈良学研究的現在Ⅱ 奈良学叢書3

帝塚山大学奈良学総合文化研究所編 帝塚山大学出版会 (〒631-8501 奈良市帝塚山7-7-1 TEL0742-48-9122) 2020年2月 A5 72頁 700円+税

文部科学省「平成二十九年度 市立大学研究ブランディング事業」において採択された『「帝塚山プラットフォーム」の構築による学際的『奈良学』研究の推進』により実施する各プロジェクトの研究成果にもとづく成果。叢書第3集として、帝塚山大学・三郷町共催講演会「法隆寺の瓦を求めて～聖徳太子と古代の三輪～」(2019年3月23日)、帝塚山大学奈良学総合文化研究所公開講座「奈良学への招待XⅦ」(2019年11月2日・9日)における講演をもとにまとめる。聖徳太子と古代

の三輪(清水昭博)／遼時代の皇族墓についての新知見(牟田口章人)／帝塚山大学所蔵の古文書(鷲森浩幸・花田卓司)／大和野菜の魅力(新宅賀洋)

◆備陽史探訪の会会報 備陽史探訪 復刻版7 第176号～第188号

備陽史探訪の会編・刊(〒720-0824 広島県福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157) 2020年4月 A4 334頁

昭和55年9月の創立以来、「備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する」備陽史探訪の会の会報『備陽史探訪』176号(2014年2月)～188号(2015年2月)の合本復刻版。168号から175号までを収録した復刻版第6集(2016年1月)にひきつづいての刊行であり、巻頭には今回収録号の総目次を掲載する。

◆水軍と海賊の戦国史 中世から近世へ

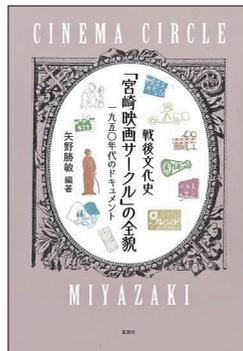
小川雄瀧 平凡社(〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29 TEL03-3230-6573) 2020年4月 B6 239頁 1800円+税

戦後期の徒花のように語られることみ多い水軍や海賊は、中近世を通じ、列島全体で重要な役割を担った海上勢力だった。史実を俯瞰的に論ずることで、その存在の本質を描き出す。はじめに一多様な海賊のあり方。彼らはどこからきて、どこに消えたのか／戦国時代の水軍と海賊／瀬戸内海の水軍と海賊／巻頭・東海の水軍と海賊／海上戦闘の広域化・大規模化／豊臣政権下の水軍と海賊／朝鮮出兵における水軍と海賊／江戸時代における水軍と海賊／おわりに／戦国期水軍・海賊関連年表／主要参考文献

◆戦後文化史「宮崎映画サークル」の全貌—1950年代のドキュメント

矢野勝敏編著 鉾脈社(〒880-8551 宮崎市田代町263 TEL0985-25-1758) 2020年6月 B5 295頁 2000円+税

戦後宮崎にあった会員1500名を擁する民主的文化団体「宮崎映画サークル」について、機関紙『宮崎映画サークル』『シネ・フレンド』全50号を復刻、解説し、その歴史を辿る。貴重な〈戦後文化史〉—『「宮崎映画サークル」の全貌』発刊に



寄せて(南邦和)／図書館員の魂(飯澤文夫)／「宮崎映画サークル」について／「宮崎映画サークル」の愛読者であった者からの想い(日高脩)／「宮崎映画サークル」の連載を終えて一日高脩さんの厚意に謝す(矢野勝敏)／「宮崎映画サークル」「シネ・フレンド」主要記事項目一覧／「宮崎映画サークル」「シネ・フレンド」—「宮崎映画サークル」の機関紙／あとがき／自分史略年表

#### ◆後記

「寄贈図書紹介」に掲載した『戦後文化史「宮崎映画サークル」の全貌—1950年代のドキュメント』の編著者矢野勝敏さんは、元明治大学の図書館員で、私の2世代上の先輩である。退職後、郷里の宮崎市に戻り、卒寿を迎えた今も、平和運動や宮崎市に戦中に建立された八紘一字の塔の史実を考える会など、地域活動を熱心にされている。この本は映画を通じて、終戦によってもたらされた自由と文化を守り、時代を後戻りさせてはならないという若者たちの3年間の力強い行動の記録である。今では殆ど目にするのできない50号に及ぶ当時のサークル紙が、全号全頁復刻された史料的意義も高い。矢野さんはあとがきで、事実の記録を、次世代に残るよう確実に保存したいとの思いで取り組み、「極端に言えば、国会図書館で保存してもらうために上梓したと言ってもいい。」と述べている。保存は勿論であるが、歴史の証言として活用され、次代の礎となることを願うものである。(飯澤)

地方史情報 144 2020年(令和2年)7月1日 発行  
編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp  
ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>  
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

\*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。